

- (1) Nordenburg (5) Deutsch Eylau
- (2) Insterburg (6) Bischofsburg
- (3) Lötzen (7) Bischofstein
- (4) Allenstein (8) Gr. Schwansfeld

シ、二十三日既ニ徒歩行軍ヲ以テ「ノルデンブルグ」⁽¹⁾「インステルブルグ」⁽²⁾道ニ沿フ地區及其西方ニ達シアリシ獨第十七軍團、豫備第一軍團並「レッツェン」⁽³⁾附近ノ守備ニ任シアリシ後備混成第六旅團(以上ノ諸兵團ヲ第八軍東部兵團ト稱ス)ヲ「アッレンシュタイン」⁽⁴⁾方向ニ招致シ、騎兵第一師團ヲシテ其轉進ヲ庇掩シ且露第一軍ノ拒止ニ任セシメ、鐵道輸送中ノ第一軍團ヲ「ドイッチ・アイラウ」⁽⁵⁾南方ニ集結セシム。

- 軍司令官 (1) Nordenburg
- 東部兵團 (2) Insterburg
- 第一師團 (3) Lötzen
- 騎兵第一師團 (4) Allenstein
- 騎兵第一師團 (5) Deutsch Eylau
- 騎兵第一師團 (6) Bischofsburg
- 騎兵第一師團 (7) Bischofstein
- 騎兵第一師團 (8) Gr. Schwansfeld

然ルニ二十四日ニ至リ軍司令官ハ露第二軍ノ一部約一軍團ト騎兵約一師團南方ヨリ「ビショーフスブルグ」ニ向ヒ前進中ニシテ、其企圖ハ第二軍主力ト分離シ、湖沼地帯西側ニ於テ近ク第一軍ト連繫セントスルニ在ルカ如キヲ知り、豫備第一軍團ヲシテ此敵ヲ求メテ擊破セシメ、同時ニ後備混成第六旅團ヲシテ該軍團ニ近接セシメ、第十七軍團ニ對シテハ二十五日「ビショーフシュタイン」⁽⁷⁾及「グロース・シュワンスフェルト」⁽⁸⁾ニ前進シ、少クモ南方師團ヲ以テ豫備第一軍團ノ戰鬪ニ協カスヘキヲ命セリ。

- (5) Dadey

- (1) Seeburg
- (2) Lautern
- (3) Sensburg
- (4) Gr. Bössau

協定
司令官
部
ノ

二十五日夕豫備第一軍團ハ「ゼーブルグ」⁽¹⁾以北ニ、第十七軍團ハ強行軍ヲ以テ「ビショーフシュタイン」⁽²⁾以北ニ達シ、後備混成第六旅團ハ「ラウテルン」⁽²⁾ニ進ミ豫備第一軍團ニ接近セリ。

此日軍司令官ハ重ネテ東部兵團ノ兩軍團ニ命令ヲ下シ、二十六日全力ヲ擧ケテ「ビショーフスブルグ」⁽³⁾附近ノ敵ニ向ヒ攻勢前進スヘキヲ命セリ。

當時二十五日夕迄ニ兩軍團司令官ノ獲タル敵情左ノ如シ。

露一軍團ハ尙「ビショーフスブルグ」⁽⁴⁾附近ニ止マレルカ如ク其東方「ゼンズブルグ」⁽³⁾附近ニ露騎兵第四師團在リ。

湖沼地帯ノ中間「グロース・ベッサウ」⁽⁴⁾「ビショーフスブルグ」⁽⁴⁾西北方約十二吉米ニハ午後諸兵連合ノ敵部隊アルヲ認ム。

茲ニ於テ兩軍團司令官ハ「ビショーフスブルグ」⁽⁵⁾附近ニ存在スヘシト思惟セラ
ルル露軍團ニ對シニ二十六日ノ爲相互ニ協議シ、豫備第一軍團及後備混成第六旅
團ハ大「ラウテルン」⁽⁵⁾湖及「ダダイ」⁽⁵⁾湖ノ西方ヨリ、又第十七軍團ハ其東方ヨリ露

第五 一九一四年八月、タンネンベルヒ會戰ニ於ケル獨第八軍東部兵團ノ「グロース・ベッサウ」附近ノ遭遇戰

獨豫備第一軍團長ノ企圖

(1) Seeburg
(2) Wartenburg

獨第十七軍團長ノ企圖

露軍ノ情

軍ノ右側ヲ攻撃スルコトニ一致セリ。豫備第一軍團長「フォン・ベロウ」中將ハ右協議ニ基キ二十六日「ゼーブルグ」ヨリ廣正面ヲ以テ「ワルテンブルグ」ニ向ハンコトヲ企圖セリ、蓋シ此ノ如クセハ敵兵其主力ニ合センカ爲「ビシヨーフスブルグ」ヨリ西進セントスル場合ニ在リテモ尙之ヲ捕捉シ得ヘケレハナリ。軍團長ハ其部隊ノ疲勞ニ鑑ミ且第十七軍團ノ近接ヲ待タンカ爲午前十時ヲ以テ前進開始ノ時刻ト定メ、後備混成第六旅團ハ同時迄ニ軍團ニ招致スルコトトセリ。

第十七軍團長「フォン・マッケンゼン」大將ハ二十五日異常ノ行軍ヲ爲シタルニモ拘ラス、二十六日ニ於テ亦早朝出發シテ「フォン・ベロウ」將軍ヲ援助セントシ、湖水東方ノ地區ヲ一縱隊トナリ「ラウテルン」ヲ經テ「ビシヨーフスブルグ」ニ向ヒ前進セントセリ。

露軍ニ在リテハ第二軍ハ第一軍ト策應シ獨第八軍ヲ挾撃スヘキ目的ヲ以テ二十四日「ゼンスブルグ」「アッレンシュタイン」ノ線ニ向ヒ前進シ、右翼第六軍

(1) Osterode
(2) Rothfliess
(3) Rastenburg

團及騎兵第四師團ヲ以テ「ゼンスブルグ」附近及「ビシヨーフスブルグ」東南地區ニ達ス、次テ軍司令官「サムソノフ」大將ハ軍主力ヲ左翼ニ集結スルト共ニ目標ヲ「アッレンシュタイン」⁽¹⁾「オステローデ」ノ線ニ變更シ、第六軍團及騎兵第四師團ヲシテ「ビシヨーフスブルグ」⁽²⁾「ロートフリース」附近ニ停止セシメシヲ以テ同軍團及騎兵師團ハ軍主力ヨリ稍々離隔シテ位置スルニ至レリ。

露第六軍團長「ブラゴエシユチェンスキイ」將軍ハ騎兵第四師團ヲ併セ指揮シ二十五日歩兵第四師團ヲ以テ「ロートフリース」附近ニ、同第十六師團ヲ以テ「ビシヨーフスブルグ」附近ニ位置シ、レツツエ「方向ニ對シテ「ナレウ」軍右側ノ掩護ニ任セリ。此日軍團長ハ騎兵第四師團ヨリ有力ナル敵兵「ラステンブルグ」ヲ通過シテ西進シツツアリトノ報ヲ得、尙新ニ「アッレンシュタイン」方向ニ前進スヘキ軍命令ヲ受領セシヲ以テ、二十六日新ニ「ラステンブルグ」方向ヲ警戒シツツ「アッレンシュタイン」ニ前進スヘキ企圖ニ在リ。

一、戰 闘(附圖第一、第二參照)

第五 一九一四年八月「タンネンベルヒ」會戰ニ於ケル獨第八軍東部兵團ノ「グロース」一〇九

(1) 第十七軍團方面

第十七軍團ハ「グンピンネン」附近ノ會戰ニ於テ二百ノ將校、七千以上ノ下士卒ヲ失ヒ敗戰ノ印象尙新タルモノアリ、加フルニ同戰以後ニ於ケル急速ナル行軍ノ遂行ハ一部ノ軍隊ニ對シテ若干ノ惡影響ヲ與ヘシモ、既ニ退却ヲ中止シテ新敵ニ向フ攻勢前進ニ移ルト共ニ幾分志氣ノ緊張ヲ恢復セシカ如シ。

軍團ハ先頭師團(步兵第三十六師團)ノ前衛ヲ以テ午前四時十五分「ビシヨ」フスシュタイン」ヲ發シテ南進シ、師團長亦前衛ノ許ニ在リ、前衛「ラウテルン」ヲ通過スルヤ、恰モ後備混成第六旅團ハ同地ヨリ西方豫備第一軍團所在地方向ニ前進中ナリ、然ルニ奇怪ニモ前衛司令官ハ同後備旅團ト連絡ヲ求メサリシヲ以テ、步兵第三十六師團長ハ該旅團ノ前哨カ前夜(二十五日夜)「グロース・ベツサウ」方向ヨリスル敵ノ前進ニ對シテ退避シ、旅團主力カ午前三時警急集合シ防禦ノ態勢ヲ整ヘシコト竝敵ノ一部カ既ニ「ラウテルン」東方僅ニ六

第十七軍團先頭部隊ト接ス

步兵第三十六師團長ノ部署

(5) Rudorfswald

- (1) Gr Köllen
- (2) Gerkendorf
- (3) Kckitten
- (4) Teistimmen

第十七軍團長ノ部署

吉ナル「グロース・ケツレン」鐵道踏切ヲ占領セル事實ヲ知ラス、仍テ同師團長ハ「ラウテルン」附近ニ於テ主力ノ休憩ヲ實施セントシ、前衛ヲシテ同地南方高地上ニ於テ之カ掩護ニ任セシメシカ此時初メテ「ゲルケンドルフ」⁽²⁾「ケキッテン」中間地區ニ敵兵アリトノ報ヲ受領セリ、是レ敵ニ關スル第一報ナリ。兎角スル内ニ師團長ハ「ゲルケンドルフ」ニモ敵兵アルヲ知リシヲ以テ步兵第七十一旅團ニ「ラウテルン」⁽⁴⁾「タイスチンメン」⁽⁴⁾「グロース・ベツサウ」街道ノ兩側ニ跨リ展開ヲ準備スヘク命シ、之ニ基キ旅團長ハ步兵第二百二十八聯隊ヲ擲彈兵聯隊(第五聯隊)ノ左方ニ進出セシメ、砲兵隊ヲシテ街道ノ東側ニ陣地ヲ占領セシム。

師團長ハ強大ナル敵兵更ニ南方「タイスチンメン」ノ兩側ニアルカ如キ印象ヲ得タルヲ以テ、後尾旅團(步兵第六十九)ヲシテ先頭旅團ノ左翼ニ進出セシメ師團砲兵ノ殘餘ヲシテ「ルドルスワルド」附近ニ陣地ヲ占領セシム。次テ軍團長「フオン・マツケンゼン」大將「ラウテルン」南方ノ戰場ニ到著シ、步

第五 一九一四年八月「タンネンベルヒ」會戰ニ於ケル獨第八軍東部兵團ノ「グロース」
「ベツサウ」附近ノ遭遇戰 一一一

兵第三十六師團長ノ決心處置ニ同意ヲ與フルト共ニ後尾師團タル步兵第三十五師團ヲシテ「ラウテルン」ノ東方「グロース・ケッレン」ニ向ヒ分進セシム。

(1) Bansen
步兵第三十六師團ノ持久戰

當時豫備第一軍團トノ電話連絡開通シ、同軍團ヨリ「後備混成第六旅團ヨリ」ノ報告ニ據レハ砲兵ヲ有スル敵步兵二十五日夕「ビシヨーフスブルグ」ヨリ「バンゼン」(1)「タイステンメン」東東南約七吉)方向ニ前進セリ、豫備第一軍團ハ午前十時前進ヲ開始スル旨ノ通報ヲ得、且此頃後尾師團長ヨリ軍隊疲勞セル結果「ビシヨーフスブルグ」附近ニ於テ休憩ヲ要スル旨ノ報告到達セシヲ以テ軍團長ハ此情況ニ於テ步兵第三十六師團ノミヲ以テ攻撃スルヲ猶豫シ、同師團ニ暫ク戦闘ヲ持久スヘキヲ命セリ。

諸隊ノ展開ハ地形ノ庇護ヲ受ケ何等ノ妨害ヲ受クルコト無ク遂行セラレタリ、戦闘ハ右翼ニ於テ互ニ小銃火ヲ交ヘタル外主トシテ砲戰ヲ惹起セルノミ。「ゲンピンネン」附近ノ戦闘ノ影響ハ尙慮エサルモノノ如ク午前十一時稍

前步兵第七十一旅團長カ立射散兵壕ヲ掘開スヘク命スルヤ、諸隊喜色アリシト云フ。

午前十時迄ニ得タル飛行機ノ報告ニ據レハ約一師團ノ敵ハ「オルテルスブルグ」附近ニ、他ノ一師團ノ敵ハ「ロートフリース」及「ビシヨーフスブルグ」附近ニ在ルモノノ如シ。軍團長ハ諸兵團ノ協同ヲ律セント欲シ正午豫備第一軍團長ニ提議スルニ後備旅團ハ「ダダイ」湖北側ヨリ、豫備軍團ハ同湖ノ南側ヨリ敵ヲ攻撃センコトヲ以テシ、其承諾ヲ得タリ。次テ軍團長ハ午後一時步兵第三十五師團ヲシテ「グロース・ケッレン」方向「ベルゲンタール」及「バンゼン」ニ向ヒ攻撃スヘキヲ命セリ。

步兵第三十六師團ノ戦闘正面擴大セル結果同師團ノ左翼ハ敵ノ部分的攻撃ヲ受ケ一時窮境ニ陥レリ、然ルニ其左翼ニ進出スヘキ步兵第三十五師團ハ疲勞甚シク中途ニ於テ休息スルノ已ム無キニ至リ、其前衛ヲ以テ漸ク「グロース・ケッレン」ニ到着セシ時ニ於テモ主力ハ其後方五吉「シエーネベルグ」以北

- (1) Ortelsburg
- (2) Bergental
- (3) Schöneberg

第五 一九一四年八月「バンゼン」ベルヒ「會戰」ニ於ケル獨第八軍東部兵團ノ「グロース・ケッレン」附近ノ遭遇戰

(1) Krausen

步兵第三團
及同第三團
十五師團
一部ノ
攻撃前進

敵兵既ニ
退却ス
第十師團
ノ戦績

ニ於テ再ヒ休憩ヲ必要トスル状態ナリキ、軍團長ハ此情況ニ於テ少クモ步兵第三十五師團ノ砲兵ヲ參戰セシメ、步兵第三十六師團左翼ノ急ヲ救ハントセシカ、該方面ノ歩砲兵部隊ハ此間獨力ヲ以テ敵ノ攻撃ヲ擊退スルヲ得タリ。午後四時軍團長ハ豫備第一軍團カ西方ヨリ「グロース・ベッサウ」附近及「ダダイ」湖南側ニ向ヒ前進中ニ在ルヲ知り、且步兵第三十五師團ノ先頭亦「グロース・ケッレン」附近ニ到達セルヲ豫期セラレシヲ以テ、時機到レリト爲シ、步兵第三十六師團ニ「タイステンメン」及「クラウゼン」ニ向ヒ攻撃前進ヲ命セリ。然レトモ同師團諸隊ハ先ツ砲撃ノ成果ヲ待タントシ、午後六時以前ニ於テハ何レノ隊モ未タ攻撃前進ニ移ラス、步兵第三十五師團ニ於テハ先頭ノ步兵一聯隊ノミ砲火ノ援助ヲ受ケツツ午後六時稍前ヨリ攻撃前進ニ移レリ。敵上ノ如ク兩師團ノ攻撃遲延セシヲ以テ第一線歩兵突撃ヲ敢行スルヤ、既ニ時機ヲ失シ敵ハ悉ク其陣地ヲ棄テテ退却シ去レリ、獨軍ノ死傷二百ヲ上ラス獲得セル捕虜亦數百ニ過キス。

(2) 豫備第一軍團方面

豫備第一軍團ニ於テハ二十六日早朝既ニ露軍ノ夜間前進ニ關シ相當明瞭ナル情報ニ接セリ、即チ騎兵ノ報告ニ依レハ「一旅團若ハ師團ヲ算スル敵ハ」ピシヨーフスブルグ」「グロース・ベッサウ」ラウテルン」道ヲ前進シ、其本隊ヲ以テ午前二時「グロース・ベッサウ」附近ニ達セルカ如ク、一部ハ「グロース・ベッサウ」ヨリ西方「クライン・ベッサウ」方向ニ轉進セルモ「クライン・ベッサウ」⁽²⁾「ザウエルバウム」ノ線ヲ越エテ遠ク進出セス、「ワルテンブルグ」附近ニハ敵ヲ見ス」ト。

軍團ハ豫定ノ如ク午前十時「ゼーブルグ」附近ヲ發シ敵ニ遭遇スルコト無ク午後零時三十分頃⁽³⁾「アルト・フィールチヒーフエン」⁽⁴⁾「キルシュドルフ」ノ線ニ達ス、軍團長ハ第十七軍團長「フォン・マッケンゼン」將軍同意ノ下ニ其軍團ノ主力ヲ以テ更ニ南方ニ進出シ、以テ「ダダイ」湖ノ南側ニ於テ敵ノ後方ヲ捕捉セント欲シ、豫備第三十六師團ノ有力ナル一部ヲシテ「グロース・ベッサウ」

- (1) Kl. Bössau
- (2) Sauerbaum
- (3) Alt Vierzigfuben
- (4) Kirschdorf

豫備第一軍團長ノ部

第五 一九一四年八月「タンネンベルヒ」會戰ニ於ケル獨第八軍東部兵團ノ「グロース・ベッサウ」附近ノ遭遇戰

豫備歩兵第三十六師團ノ大部
「グロース・ベッサウ」
方面ノ戦
ヲ吸引
セラル

附近ニ進出シ、直接第十七軍團正面ノ敵ノ側背ヲ衝カシム。然レトモ實際ニ於テ軍團ノ諸隊ハ「グロース・ベッサウ」附近ノ敵ヲ認メテ多ク此方面ニ吸引セラルルコトナレリ、即チ豫備歩兵第三十六師團長ハ軍團長ノ承認ヲ得師團ノ大部及後備混成第六旅團ヲ以テ「グロース・ベッサウ」方面ニ進撃セリ。

豫備歩兵第三十六師團ノ戦況

豫備第三十六師團ノ歩兵第六十九旅團ハ右翼後ニ強大ナル梯隊ヲ配置シテ「ザウエルバウム」ヲ攻撃シ難無ク同地ヲ占領シ、次テ歩砲火ノ威力ヲ發揮シ「グロース・ベッサウ」ヲ奪取セリ、然レトモ左方ニ於テ後備旅團ノ前進遅延シ露軍ノ側射ヲ蒙リシヲ以テ、其一部(歩兵一大隊ト一中隊)ヲ「クライン・ベッサウ」方向ニ轉向シ、次テ砲兵火力ヲモ該方面ニ指向セシカ午後四時三十分以後ニ至ツテ後備旅團ノ該方面ニ前進スルヲ認メ得タリ。

後備混成第六旅團ノ戦況

後備混成第六旅團ハ砲兵火及機關銃火ヲ冒シツツ「クライン・ベッサウ」西方ノ敵ニ向ヒ攻撃前進セシカ、敵前約千二百米ニ達シテ初メテ敵ノ位置ヲ認識

豫備第三十六師團ノ戦績
後備混成旅團

スルヲ得タリ、敵ハ頑強ニ抵抗シ加フルニ獨第十七軍團ノ砲兵遙ニ北方ヨリ湖水ヲ隔テテ第一線ヲ誤射スルアリ、攻撃一時難色アリシカ既述ノ如ク豫備歩兵第六十九旅團ノ一部南方ヨリ、又後備旅團左翼聯隊ノ後方梯隊北方ヨリ敵ヲ包圍スルニ及ヒ露軍ノ抵抗挫折シ、守兵約五百、機關銃八銃ヲ獨軍ノ手中ニ委シテ敗走セリ。

「グロース・ベッサウ」及「クライン・ベッサウ」附近ニ於テ豫備第三十六師團及後備混成旅團ノ手中ニ歸シタル露軍捕虜約一、七〇〇、機關銃八銃、火炮三〇門ニ達ス、而モ獨軍ノ犠牲亦少カラス、其死傷兩兵團ヲ合シ殆ト千五百ニ達セリ。

(1) Kunzheim
(2) Wieps

豫備第三十六師團ノ殘餘ハ「ダダイ」湖南側ニ向ヒ前進中命令ニ依リ東方ニ轉向シ、約半部ハ「クンツハイム」ニ突進シ、夕刻同地前ニ達シテ停止シ、他ノ約半部ハ「ウイールブス」附近ニ停止シテ直接師團右側ヲ掩護セリ。

豫備第一師團ノ行動

豫備第一師團ハ午後一時二十分「アルト・フィールチヒフーフエン」ヲ發シ、一

第五 一九一四年八月、タンネンベルヒ會戰ニ於ケル獨第八軍東部兵團ノ「グロース・ベッサウ」附近ノ遭遇戰 一一七

部ヲ以テ「グロース・ラムザウ」ニ通スル道路ヲ、主力ヲ以テ「グロース・クロナウ」ヲ經テ「ワルテンブルグ」ニ通スル道路ヲ前進シ、「グロース・ラムザウ」南方ニ於テ西進中ノ敵ト衝突セリ、敵ハ退避セシモ夜ニ入りシヲ以テ之カ追撃ヲ中止セリ。

露軍ノ情況 (3) 露軍ノ情況

露軍ニ在リテハ獨軍ハ「ワイクゼル」河畔ニ向ヒ退却中ナリト判斷シアリ、從テ歩兵第四師團長ハ「ラウテルン」附近ニ現出セル敵ヲ以テ「ラステンブルグ」ヨリ西進中ナル敵ノ側面掩護ナリト判斷シ之ヲ攻撃スルニ決シ、二十六日天明前行動ヲ起シ、師團ヲ「ダイスチンメン」兩側ニ展開シ茲ニ獨第十七軍團ト遭遇戰ヲ交フルニ至レリ。又歩兵第十六師團ハ命令ニ依リ正午運動ヲ開始シ「マルチンスドルフ」ヲ經テ「ワルテンブルグ」ニ向ヒ前進セシカ、歩兵第四師團ノ急ヲ知り、軍團命令ニ依リ「ビシヨーフスブルグ」附近ニ歸還スルコトトナレリ。

- (1) Gr. Ramsau
- (2) Gr. Cronau
- (3) Martinsdorf

三、露軍ノ退却及獨軍ノ追撃

露軍退却ノ動機

露第六軍團ハ前面ニ於テ獨第十七軍團ノ優勢ナル砲兵猛威ヲ逞ウスルアリ、一方其左側背ハ獨豫後備兵團ノ攻撃ニ依リ情況時ト共ニ險惡ヲ加ヘ來リシヲ以テ、午後五時頃ヨリ戰線ヲ撤シ、「ビシヨーフスブルグ」東南方ニ退却ス、獨第十七軍團ハ敵線ヲ占領スルヤ、夜暗ヲ冒シテ四、五吉ノ戰場追撃ヲ行ヒ、夜遅ク「グロース・ベッサウ」「バンゼン」ノ線ニ達シ、爾他ノ獨軍諸兵團ハ夜ニ入りシ爲前進運動ヲ起スコト無ク概ネ其戰場附近ニ停止セリ。

獨軍ノ追撃

獨軍ハ翌二十七日「ビシヨーフスブルグ」南方ニ露軍ノ停止ヲ豫想シ再ヒ「マツケンゼン」大將ハ正面ヲ、「フォン・ペロー」中將ハ其西側面ヲ攻撃センコトヲ企圖セシモ到ル處敵ノ抵抗ニ會セス、軍命令ニ依リ近ク露第二軍主力ノ右側背ニ向ヒ轉進セリ。

四、本戰鬪ニ關スル觀察

1 本例ノ如ク對者カ戰鬪前夜間ノ機動ヲ行フコトハ將來大ニ有リ得ヘキコ

第五 一九一四年八月「タンネンメルヒ」會戰ニ於ケル獨第八軍東部兵團ノ「グロース」
「ベッサウ」附近ノ遭遇戰 一一九

トニ屬ス、而モ斯ノ如キ企圖ハ必スシモ常ニ適時ニ發見シ得ヘカラサルヲ以テ、將來晝間ニ於ケル空中搜索ノ周到ヲ期シ得ル場合ニ於テモ、不期的遭遇戰發生ノ絶無ヲ期シ難カルヘシ。

2 二十五日夕獨第十七及豫備第一兩軍團長ハ露ノ一軍團尙「ビシヨ」フスブルグ「附近ニ孤立シテ止マレルヲ知レリ、此情況ニ於テハ、獨東部兵團トシテハ之ヲ捕捉殲滅センカ爲ニ二十六日ノ前進ニ於テ右前ノ梯隊姿勢ヲ取り、戰場到著ト共ニ直ニ包圍ノ態勢ヲ占ムル如クスルヲ可トス、二十五日夜東部兵團ノ宿營狀態ハ兩兵團同時ノ出發ニ於テ自ラ此態勢ヲ取り得ヘカリシナリ、然ルニ豫備第一軍團長ハ兵團ノ疲勞ニ對スル顧慮竝第十七軍團カ未タ自軍團ト齊頭線ニ達シアラサルヲ理由トシ、午前十時迄出發ヲ遲延シ、爾後ニ於ケル攻撃ノ遂行亦迅速ニ敵ノ側背ニ進出スルノ念慮ニ乏シク、爲ニ露第六軍團ノ大部ヲシテ獨軍ノ包圍圈內ヨリ脱逸シ其退却ヲシテ夜暗ノ庇護ヲ得シムルニ至レリ。

抑、殲滅戰ノ指導ニ於テ最緊要トスル所ハ高級指揮官ノ適切ナル部署ヲ以テ正面ニ向フ兵團ト側背ニ向フ兵團トノ戰場到著時機ノ相違ヲ短縮スルニ在リ。本戰鬪ニ於テ兩軍團長ノ協定竝豫備第一軍團長ノ部署ニ於テ此點ニ關スル考慮ニ乏シカリシハ遺憾ナリ。

3 獨第十七軍團長カ豫備第一軍團及步兵第三十五師團ノ參戰遲滯スヘキヲ知レルニ方リ步兵第三十六師團ヲシテ決戰ヲ猶豫シ隣接兵團ノ進出ヲ待タシメタルハ適當ナリ、將來兵團(若ハ部隊)ノ戰場ニ現出スル時刻ニ差違アル場合ニハ屢、此種ノ指導ヲ要スルコトアルヲ想見シ得ヘシ、然レトモ此際正面ニ動作スル兵團例ヘハ本戰例ニ於ケル步兵第三十六師團トシテハ隨時攻勢ニ前進シ以テ戰機ヲ捕捉シ得ルノ準備無カルヘカラス、然ルニ同師團ハ午後四時以後一般ノ情況ニ基ク戰機既ニ切迫セルニ拘ラス、尙長時間ニ互リテ準備砲撃ノ成果ヲ待チ、爲ニ遂ニ敵ヲ逸スルニ至レリ。之カ原因ハ軍隊尙「グンピシネン」敗戰ノ印象ヲ去ルコト能ハサリシニ在リト雖モ、而モ指揮官ノ

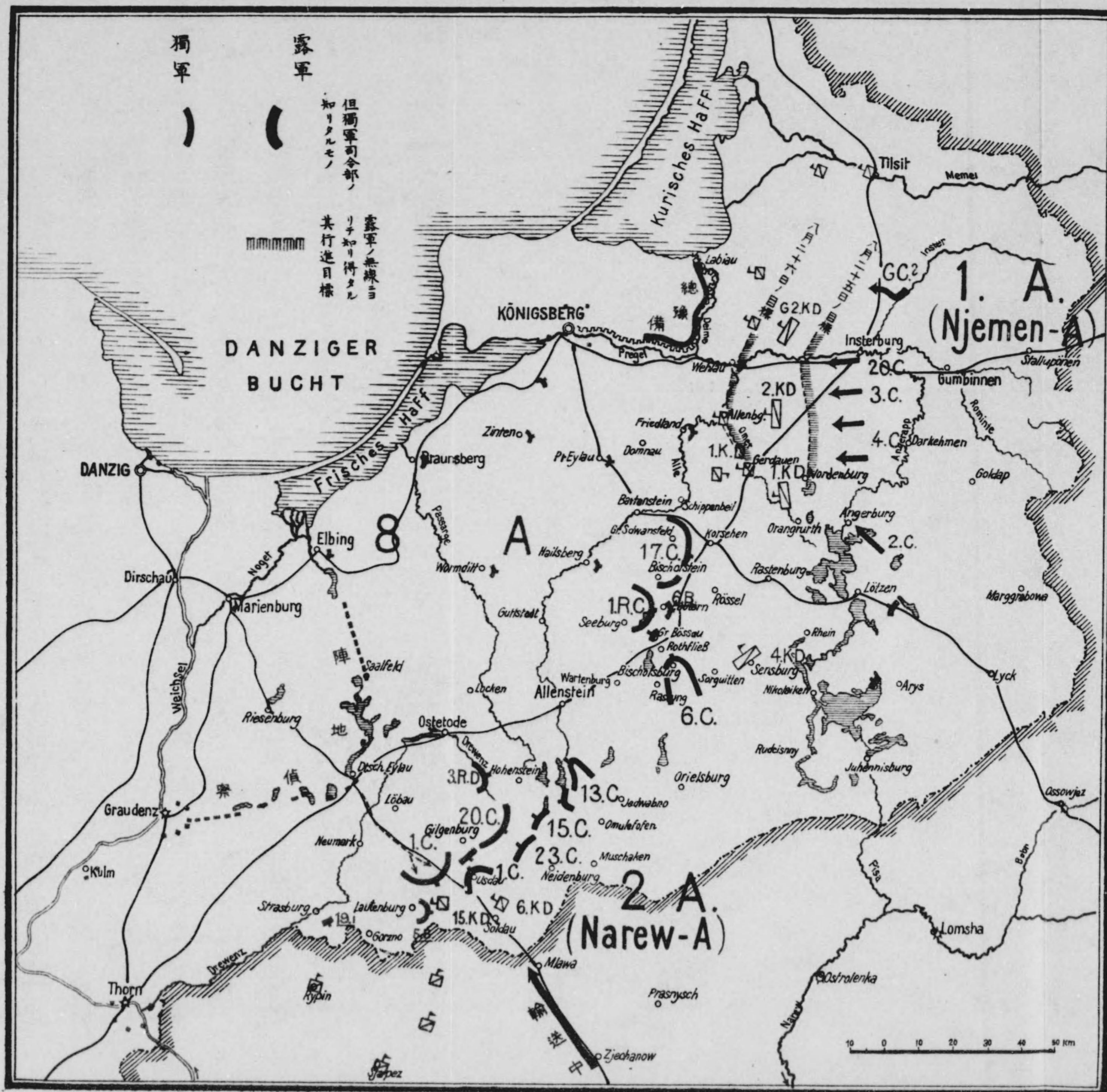
軍位置要圖



下シタル工事實施ノ命令ハ軍隊ノ攻勢意思ヲ萎靡セシメタルコト尠カラサルナリ、歩兵第三十六師團長乃至軍團長トシテハ隣接兵團進出ノ情況ヲ豫想シ且當時ニ於ケル部下軍隊ノ心理狀態ニ稽へ、適時攻撃準備ヲ命シ以テ攻撃實行ノ遅延ヲ豫防スルコト必要ナリシナラン。

4 本戰鬪ニ於ケル露軍退却ノ動機ハ主トシテ其側背ニ對スル獨豫備第一軍團及後備旅團ノ脅威ノ效果ニ因レリ、又局部的ニ之ヲ觀察スレハ露軍側背ノ要點タル「クライン・ベツサウ」附近守備ノ崩壞ハ同所ニ向ヒシ獨軍ノ部分的包圍ノ效果ニ因ルモノト謂ヒ得ヘシ、共ニ用兵上注目ニ値ス。

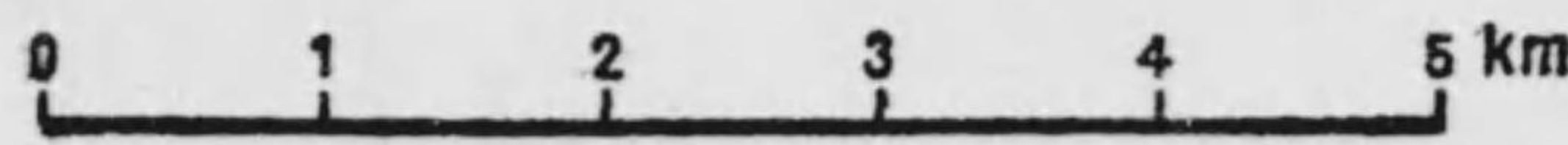
圖要置位軍獨ルケ於ニ夕日五十二月八



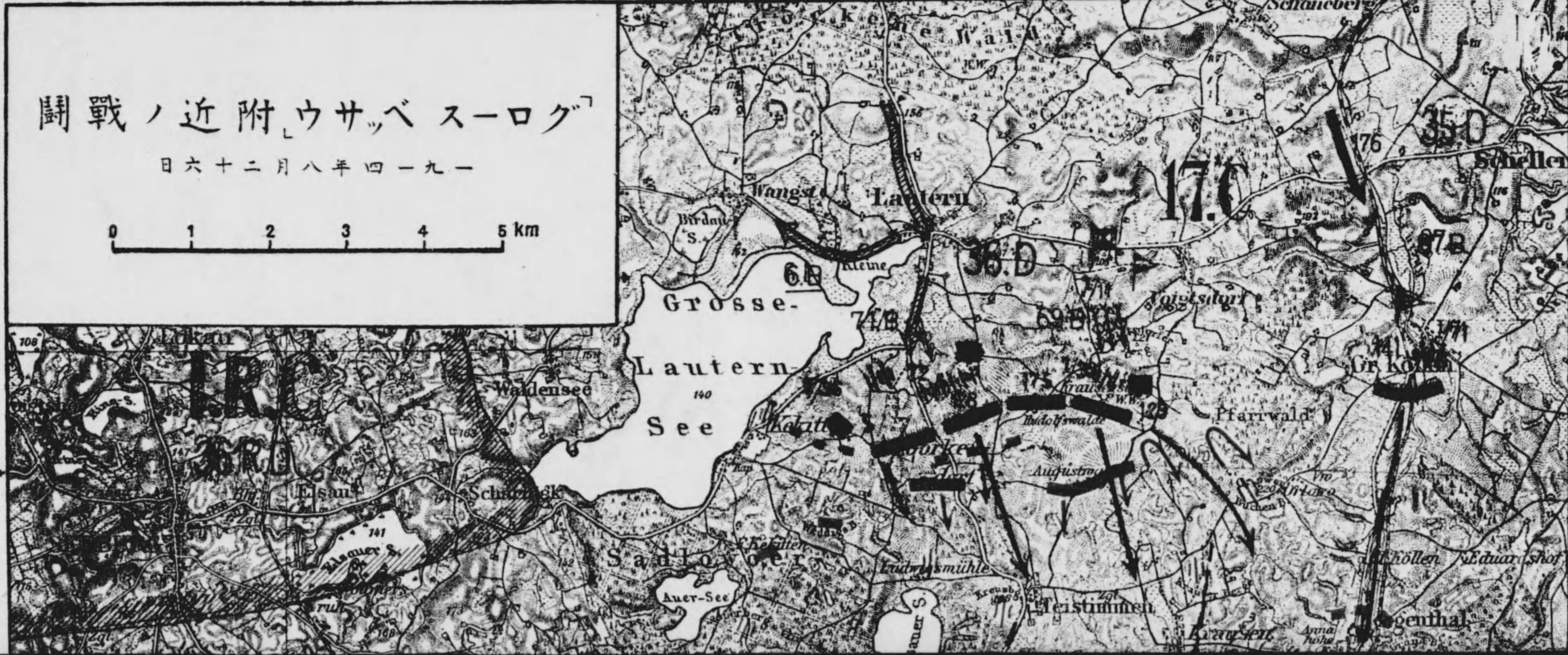
第五
附圖第一

闘戦ノ近附ウサッベスーログ

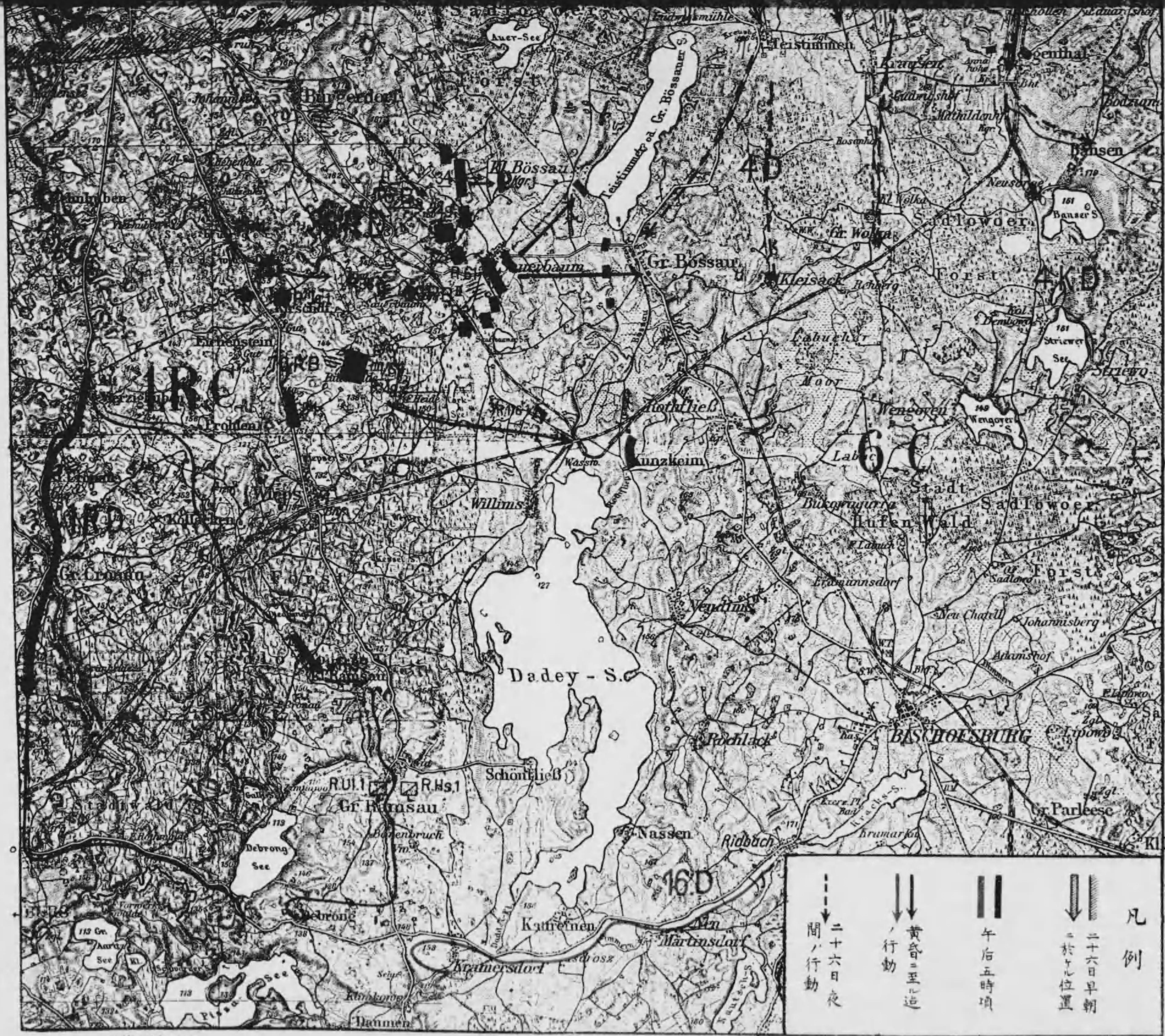
日六十二月八年四一九一



Bischofsstein 5km Schippenbeil 27km Gr.Schwansfeld 16km Rösse! 8km



第五附圖二



Kirschlainen

Raschung 2km

Ortelsburg 27km

Sensburg 18km

Gr. Borken 2km

				凡例
間、行動	黄昏に至る迄	午後五時頃	二十六日早朝	
			ニ於ケル位置	

第六 一九一四年八月「ヌーフシャートー」附近佛植民地旅團ノ
遭遇戰

一、一般情況ノ梗概(附圖第一參照)

一九一四年八月二十二日佛第四軍(植民地軍團外五軍團、豫備二師團、騎兵二師團ヨリ成ル)ハ「スモア」⁽¹⁾、「シエー」⁽²⁾兩河畔ノ宿營地ヲ發シ、⁽³⁾「ヌーフシャートー」及其西北地區ニ向ヒ攻勢ニ前進セリ。

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| (1) Semoy | (5) Jamoigne | (9) Rossignol |
| (2) Chiers | (6) Margny | (10) Suxy |
| (3) Neufchateau | (7) Herbeuval | |
| (4) St. Vincent | (8) Chauvency | |

佛植民地軍團ハ左翼ヲ第十二軍團ニ、右翼ヲ第二軍團ニ托シ八月二十一日夕一部ヲ以テ「サン・ヴァンサン」⁽⁴⁾及「ジアマアニー」⁽⁵⁾附近ニ、主力ヲ以テ「マルニイ」⁽⁷⁾、「エルブーヴァル」⁽⁸⁾、「ショーヴァンシイ」附近ニ位置シ、軍團長ハ二十二日ノ爲左ノ如ク軍團ノ前進ヲ部署セリ。

- 1 第三師團ハ「ロッシニヨル」街道ヲ「ヌーフシャートー」ニ向ヒ前進。
- 2 混成第五旅團ハ「シユクシイ」街道ヲ「ヌーフシャートー」ニ向ヒ前進。
- 3 右兩縱隊ハ午前六時「スモア」河ノ線ヲ出發ス。

備考 軍團ニ屬スル第二師團ハ軍豫備トシテ抽出セラレシヲ以テ當時軍

團長ノ隸下ニ在リシハ第三師團及混成第五旅團ノミトス。

佛第四軍ノ前進地域ニ在リシ敵ハ獨第四軍ニシテ二十一日夕第六軍團(軍左翼)ヲ以テ「レグリーズ」附近ニ、豫備第十八軍團(軍左翼第二線)ヲ以テ「ジュッセル」附近ニ在リシカ、二十二日第六軍團ハ第五軍右翼救援ノ目的ヲ以テ「ロッシニョル」⁽³⁾、「ダンチニイ」方面ニ派遣セラレ、豫備第十八軍團ハ第一線ニ加入セシカ爲「ヌーフシャートー」西側地區ニ向ヒ前進セシヲ以テ、前者ハ佛植民地軍團右縱隊(第三師團)ト「ロッシニョル」附近ニ於テ、後者ハ同軍團左縱隊(混成第五旅團)ト「ヌーフシャートー」附近ニ於テ衝突ヲ惹起セリ。

二、接觸(附圖第一乃至第三參照)

二十二日植民地混成第五旅團ハ軍團命令ニ基キ「ジアマアニュー」⁽¹⁾「シユクシイ」⁽²⁾「ヌーフシャートー」道ヲ「ヌーフシャートー」ニ向ヒ前進セリ、前進部署左ノ如シ。

植民地旅團ノ前進部署

1 前衛

司令官步兵第二十三聯隊長「ネーブル」大佐、步兵第二十三聯隊(第三大隊)欠、龍騎兵一小隊

前衛本隊ノ先頭ヲ以テ午前七時⁽¹⁾「ビュル」北端出發

2 本隊

步兵第二十一聯隊長「オーベ」大佐ノ指揮ヲ以テ左ノ順序ヲ以テ前衛ノ後方千五百米ニ續行

步兵第二十三聯隊第三大隊

同 第二十一聯隊(第三大隊)欠

野砲兵大隊

步兵第二十一聯隊第三大隊(一中隊)欠

工兵中隊

旅團小行李

衛生隊及擔架小隊

二十二日午前六時半迄ニ當面敵情ニ關シ旅團長ノ知得セシ所ハ僅少ナリ、即チ植民地軍團ノ前面ニハ既ニ十七及十八日「ジャモアーニユ」及「タンチニイ」ニ於テ敗衄セル獨騎兵第三、第八師團ニ屬スル斥候ヲ見ルノミ、⁽¹⁾「バリズール」、⁽²⁾「ベルトリー」、⁽³⁾「エルブーモン」地方ニ敵ヲ見ス敵ハ數日來「ルクセンブルグ」及白國領内ニ於テ東南ヨリ西北ニ移動中ナルカ如ク⁽⁴⁾「レッス」河後方ニ陣地ヲ構成セルカ如シ。(戰例第二附圖第一參照)

旅團ノ前衛司令官「ネーブル」大佐ハ騎兵小隊ヲ前衛騎兵トシ、步兵第一大隊(第二、第四中隊欠)ヲ前兵トシ、爾餘ヲ前衛本隊トシ前兵ノ後方六百米ニ續行セシメ、僅少ノ敵騎ヲ驅逐シツツ午前十一時步兵先頭ヲ以テ⁽⁵⁾「バックス・エヴォー」森林西北端ニ達ス。諸情報ハ悉ク旅團ノ前面ニ單ニ一ノ敵騎幕アルニ過キササル旨ヲ報シ、各級指揮官ハ強大ナル敵力近ク前面ニ在ルヲ推測セサリキ。

步兵尖兵⁽⁶⁾「モンブランシャン」ヲ通過シテ「ヌーフシャートー」小流ノ橋梁ニ達

- (1) Palizeul
- (2) Bertrix
- (3) Herbeumont
- (4) Lesse

- (5) la Basse Heveau
- (6) Montplainchamps

スルヤ俄然該橋梁東北約五百米ノ一軒屋ヨリ射撃ヲ受ク、是ヨリ先尖兵中隊長ハ斥候ノ報告ニ依リ敵ノ一縱隊「ヌーフシャートー」ヨリ「ベルトリ」ニ向フモノノ如キヲ知り、今ヤ小流北側ノ高地上ニモ若干ノ敵兵アルヲ認メシヲ以テ有力ナル敵兵近ク我前面ニ存在スルカ如キ印象ヲ得、部下中隊ヲ本道兩側ノ臺上ニ展開シ主力ノ到着ヲ待ツニ決セリ。

前兵長ハ前方ニ激烈ナル銃聲ヲ聞キ且尖兵中隊ノ停止セルヲ見、情況ヲ知ラント欲シ尖兵中隊長ノ許ニ急行シ來リシモ敵兵ノ存在ヲ信セス、尖兵中隊長ニ命シテ曰ク「前面ニ在ルハ敵騎兵ニ過キササルカ如シ、尖兵中隊ハ速ニ前進ヲ再起シ一舉「ヌーフシャートー」ヲ占領スヘシ」ト、尙前兵ノ先頭ニ在リシ一小隊ヲ橋梁ヨリ北方ニ分進シ一軒屋北側高地ニ向ヒ前進セシム。

是ニ於テ尖兵中隊ハ廣間隔ニ疎開シテ前進セリ、一軒屋ノ敵兵ハ既ニ影ヲ没シ四隣ノ靜寂ヲ破ツテ唯遠ク「ヌーフシャートー」「ベルトリ」道上ニ斷續スル車輛ノ音ヲ聞クノミ。

(1) Blancs Cailloux

尖兵中隊ノ一部小流北側高地ノ稜線上ニ達スルヤ、「ヌーフシャートー」⁽¹⁾「ベル
トリー」道ノ「ブラン・カイユト」森林ニ入ラントスル接際附近ニ休憩中ナル敵
騎兵約一中隊ヲ認メタリ、即チ之ニ射撃ヲ加ヘシニ敵ハ驚駭度ヲ失ヒ四離滅裂
トナリテ逃走セリ。爾後ノ調査ニ依レハ右ハ龍騎兵第四聯隊ノ一中隊ニ依
リ掩護セラレタル獨歩兵第四十二旅團ノ小行李ナリ
時ニ午前十一時三十分前兵ハ二軒屋附近ニ、前衛司令官ハ前衛本隊ノ先頭ニア
リテ小流北端附近ニ達シ北進ヲ繼續シアリ。
旅團長將官「グレー」ハ本隊ノ先頭ニ在リテ前衛本隊ノ後尾ニ近ク追及シ「モン
ブランシャン」ニ到着シ、遙ニ前方ニ於テ間斷無キ銃聲竝一齊射撃ヲ聞キシモ
未タ僅ニ三吉前方ニ在ル「ヌーフシャートー」カ敵ニ依リ占領セラレアルヤ否
ヤヲ知得スル能ハス「モンブランシャン」ノ住民ノ言フ所ニ依レハ、多數ノ敵兵
約一週間前ヨリ「ヌーフシャートー」ニ存在セシカ、昨二十一日夜及本朝有力ナ
ル縱隊カ西方ニ向ヒ同地ヲ出發セルコト確實ナリト。
茲ニ於テ旅團長ハ一將校「ルジャムチョンム」中尉ヲ前衛司令官ノ許ニ急派シ

(1) Ospot

前衛先頭
ノ交戦

騎兵小隊ヲ「ヌーフシャートー」市街後端迄進出セシムヘキ命令ヲ傳ヘシムル
ト共ニ中尉自ラ該騎兵ト行動ヲ共ニシ最迅速ニ其見タル所ヲ歸リ報セシム。
正午頃敵機關銃「オスポ」⁽¹⁾森林内ヨリ射撃ヲ開始シ、其歩兵一中隊「ヌーフシ
ヤートー」西南端ニ現出シ、兵力逐次増加シテ數中隊トナリ、更ニ「ヌーフシャ
ートー」西方一吉「ブラン・カイユト」附近ニ敵砲兵ヲ見ルニ至レリ。
尖兵中隊ハ全力ヲ展開シ、主力ヲ以テ「ヌーフシャートー」西端ニ近ク同地西方
高地上及本道附近ニ在リ、前兵長ハ曩ニ小流ノ橋梁ヨリ北方ニ前進セシメシ小
隊ヲ尖兵中隊長ノ隷下ニ復セシムルト共ニ第三中隊ヲ高地脚附近ニ展開シ、一
方聯隊長ニ對シ大隊ノ殘餘ヲ至急其隷下ニ復歸セシメンコトヲ要求セリ。

三、戰鬪經過(附圖第三、第四參照)

1 前衛本隊ノ展開

前衛司令官ハ「オスポ」森林ノ機關銃聲及橋梁附近ニ炸裂スル砲彈ニ依リ
一般情況ヲ判斷シ、直ニ前衛本隊ノ先頭ニアル歩兵第二中隊ヲ小流南側地區

ヨリ「オスポー」森林方向ニ前進シ該森林ノ敵ヲ掃蕩シ小流北岸ニ於テ戰鬪中ナル舊尖兵中隊ノ線ニ進出セシメ、歩兵第四中隊ヲ前兵長ヲ隷下ニ復ス、前衛司令官自ラハ下馬シ小流ノ橋梁ヲ通過シ突撃ニ依リ速ニ「ヌーフシャート」ヲ占領センカ爲火線ニ近ク(前述ニ軒屋ニ)戰鬪司令所ヲ選定シ、聯隊本部附「マイヤール」中佐ヲ橋梁附近ニ止メ、之ヲシテ歩兵第二大隊ノ到著スルニ從ヒ北方及東方面ノ戰線ニ加入スル如ク區處セシム。

歩兵第二中隊ハ敵砲兵ノ背射ヲ受ケツツ「オスポー」森林内ニ進入セシカ、林空毎ニ敵歩兵火ヲ蒙リ、續イテ北部林縁ニ進出スルヤ、優勢ナル敵ト遭遇シ側面ヲ包圍セラレ後退ノ已ム無キニ至レリ。

歩兵第四中隊ハ二軒屋北側戰線ニ向ヒ前進シ、同シク敵砲兵ノ射撃ヲ受ケ損害續出セシモ辛ウシテ戰線ニ加入スルヲ得タリ。

歩兵第二大隊ハ「マイヤール」中佐ニ依リ橋梁附近ニ招致セラレ約半部ヲ以テ「オスポー」森林ノ敵ニ向ヒ、他ノ半部ヲ以テ二軒屋北側及西北側ニ向ヒ戰

前衛苦戰ニ陥ル

鬪ニ加入スヘキ命ヲ傳達セラレ、損害ヲ冒シテ目的地ニ到著セシカ、「オスポー」森林方面ニ於テハ敵兵益々増加シ新ニ到著セシ佛軍ヲモ撃退シテ破竹ノ勢ヲ以テ林縁ニ向ヒ殺到シ、北方戰線ニ於テハ二中隊ノ加入アリシニ拘ラス戰勢ヲ挽回スルニ足ラサリキ。

斯クテ午後一時頃前衛ハ「ヌーフシャート」小流ノ兩岸ニ跨リ東方、東北方及北方ニ面シテ約二吉ノ正面ニ展開シ損害時ト共ニ増加シ重大ナル形勢ニ陥レリ。

獨軍ノ情

獨軍ニ在リテハ豫備第十八軍團ハ一部豫備歩兵第八十七聯隊ノ若干部隊ヲ「ヌーフシャート」ニ先遣シ、爾他ヲ以テ二十一日夜「ジュッセル」附近ニ宿營セシカ、二十二日早朝先遣部隊ヲ増加シテ豫備歩兵第八十七聯隊ノ全部トナシ、軍團主力ハ同日午前六時三十分宿營地出發、午前十一時十五分豫備第二十一師團(先頭師團)ノ先頭旅團(歩兵第四十二旅團)ノ先頭ヲ以テ「レルフェー」森林ニ達セントシ、同旅團ノ後尾ヲ以テ「ブラン・カイユ」森林東端

(1) Lerfai

ニ近ク位置シ、同時豫備歩兵第八十七聯隊ハ後尾旅團ノ先頭トシテ將ニ「ヌーフシャートー」ヨリ進出セントシツツアリ。恰モ歩兵第四十二旅團小行李ノ後尾竝之カ護衛タル龍騎兵第四中隊ニ對シ佛軍尖兵中隊ノ急襲的射撃アリ、乃チ第八十七聯隊ハ情況分明シ且後方部隊ノ到着スル迄「ヌーフシャートー」及「オスポー」森林ヲ確保スヘキ命ヲ受ケ、野砲兵第二十一聯隊ノ若干部隊ハ「ブラン・カイユ」林空地ニ陣地ヲ占領スルコトナレリ。豫備第十八軍團長ハ飛行機及騎兵ノ報告ニ依リ有力ナル佛軍縱隊「シユクシイ」ヲ經テ北進中ナルヲ知り、其森林地帯ヨリ進出スルノ機ニ於テ該縱隊ヲ包圍攻撃スルニ決シ、豫備第二十一師團ヲシテ「ブチヴォアール」(附圖第二參照)「ヌーフシャートー」ノ線ニ展開シ當面ノ敵ヲ攻撃セシメ、豫備第二十五師團ヲシテ第二十一師團ノ左ニ連繫シテ「オスポー」森林「ル・サール」ノ線ヲ一般目標トシテ前進セシム、然レトモ豫備第二十一師團ノ先頭歩兵旅團ハ此命令ノ實行ニ先チ植民地軍團ノ左翼ニ行動セシ佛第十二軍團ト衝突シ之

(1) Petitvoir
(2) le Sart

ト交戦セサルヘカラサルニ至レリ、即チ植民地旅團ノ前衛ニ對シテ交戦セシハ當初獨第八十七聯隊、次テ獨第四十二旅團ノ全力ニシテ正午頃第二十五師團ノ先頭タル第八十三聯隊「オスポー」森林方面ニ加入セリ。

2 旅團主力ノ戰團加入(附圖第三、第四參照)

午前十一時三十分旅團主力ハ「バツス・エヴォ」森林北端ニ進出セリ。旅團長ハ「ルジャンムチョンム」中尉ニ要求セシ情報ノ到着スルヲ待ツテ處置セント欲シ、旅團主力ヲ「オッスーズ」東南側凹地ニ開進セシメ、自ラ「モンブランシャン」ニ止マリシカ、午後零時十五分前衛カ前進不能ニ陥レルノミナラス危険ノ状態ニアルヲ知り、前衛ヲ窮地ヨリ離脱セシメ且我右翼ニ前進中ナル第三師團ノ戰團加入ヲ準備スル爲、旅團主力ヲ以テ「オスポー」森林ニ向ヒ攻撃スルニ決シ、左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ。

(1) Hosseuse

- 1 歩兵第二十三聯隊第三大隊ハ即時聯隊長ノ指揮ニ入ル。
- 2 歩兵第二十一聯隊(一大隊欠)ハ「オスポー」森林ヲ攻撃シ爾後「ヌーフ

旅團長ノ
攻撃命令

(1) Grapfontaine

第二款 戰例

一三四

「シャートー」東方鞍部ヲ目標トシテ前進ス、同聯隊ノ他ノ一大隊ハ「グラ
ツブフォンテーヌ」附近ニ至リ旅團長ノ直轄トス。

3 砲兵ハ步兵第二十三聯隊ヲ火制スル敵砲兵ヲ制壓シ且「オスボー」森林
南縁ヲ火制シ步兵第二十一聯隊ノ攻撃ヲ援助ス。

4 工兵中隊ハ「バックス・エヴオー」森林(東部)ニ一縱隊路ヲ構成シ且同森
林北縁ニ收容陣地ヲ構成ス。

5 旅團長ノ戰鬪司令所ハ現在地トス。

此時連絡ノ爲軍團司令部ニ派遣セラレアリシ將校歸來シ、第三師團カ「ロッシ
ニヨル」附近ニ於テ激戰中ニシテ其形勢樂觀ヲ許ササル旨ヲ傳フ。

是ヨリ先砲兵大隊ハ各別命令ニ依リ既ニ陣地ヲ占領シ、午後零時四十五分ヨ
リ「オスボー」森林及「ブランカイユ」林空地ノ敵砲兵ニ對シ射撃ヲ開始セ
リ、此砲撃ハ「オスボー」森林ノ獨軍步兵ニ對シ特ニ效果ヲ發揚シ之ニ震駭的
打撃ヲ與ヘタリ、獨兵ノ日誌ニ依レハ所屬聯隊ハ「オスボー」森林ニ於テ佛軍

佛軍砲兵
ノ威力

ノ砲撃ニ依リ半減セリト云フ。「オスボー」森林ニ進入セル佛軍ノ步兵三中队
カ此頃獨軍ノ爲森林外ニ驅逐セラレタルモ「モンブランシャン」北方六百米
獨立家屋附近ニ停止スルヲ得、次テ敵ノ大部隊カ該森林ヨリ進出シ得サリシ
ハ主トシテ此砲撃ノ威力ニ依レリ。

步兵第二
十一聯隊
ノ攻撃

步兵第二十一聯隊長「オーベ」大佐ハ旅團ノ攻撃命令ニ基キ旅團長直轄トシ
テ第三大隊ヲ殘置シ、第一大隊ヲシテ其機關銃ノ掩護下ニ「オスボー」森林方
向ニ攻撃前進セシメ、第二大隊ヲシテ第一大隊ノ「オスボー」森林林縁ニ對ス
ル射撃距離ニ近接スルト共ニ其左翼ニ連ナリテ前進セシム。

第一大隊ハ地形ヲ利用シ「ル・サール」ニ向ヒ次テ此地ヨリ廣間隔ノ二縱隊ヲ
以テ北進セリ、聯隊長ハ大隊ノ先頭ヲ行進シ新ニ第二大隊ニ對シ「ル・サール」
附近迄第一大隊ニ續行シ之ヨリ其左翼ニ進出スヘキヲ命セリ。

第一大隊ハ「ル・サール」附近ヨリ二中队ヲ第一線トシ、二中队ヲ第二線トシテ
之ヲ右翼後ニ梯次シ「オスボー」森林ニ向ヒ前進シ、聯隊長ハ第一線ノ左翼附

近ニ在リ、第一線ハ「オスポー」森林南端ノ南方約八百米ニ近接シ、敵彈頻リニ落下セシモ敵服裝ノ色彩良ク地面ノ色ト調和シアリシヲ以テ其所在ヲ確認スル能ハス、此頃有力ナル敵兵右側面ニ現出シ爲ニ第二線兩中隊ハ東北面シ之ト對戰シ一部接戰ヲ演シテ成功セシモ、敵ハ漸次其數ヲ増加シ戰況時ト共ニ困難トナレリ。

第二大隊長ハ既述聯隊命令ヲ受領スルヤ、一中隊ヲ「グラッブフォンテーヌ」北方八百米標高四三六高地ニ派遣セリ、是レ該地ハ東北方ニ通スル谷地ヲ瞰制シ、之ヨリ「オスポー」森林西緣要スレハ小流北方ヲ火制シ得ルヲ以テ大隊ノ進出ヲ容易ナラシメ得ヘシトノ判斷ニ基クモノナリ、然ルニ第二大隊カ第一大隊ノ左方ニ展開セントスルヤ、前面ノ地形暴露シ「オスポー」森林ヨリ射撃ヲ受クルノミナラス「ブラン・カイユ」ニ位置スル敵砲兵ノ良射程ニ在リシヲ以テ、大隊ハ「モンブランシャン」ヲ經テ其西北方ニ通スル谷地ニ潛入シ爲ニ第一大隊ヨリ著シク離隔シテ展開スルニ至レリ、而モ敵火ノ掃射ハ此方

面ニ在リテモ甚シク大隊ハ數百米ヲ前進シ得タルニ過キス、僅ニ二十分以内ニ兵員ノ四分ノ一ヲ失ヘリ。

旅團長ハ兩大隊ノ前進困難トナリ且其間ニ間隙ヲ生シタルヲ知り、唯一ノ豫備タル歩兵第二十三聯隊第十二中隊及機關銃一小隊ヲ此間隙部ニ投入セリ。

歩兵第二十三聯隊第三大隊ノ主力ハ曩ニ本道右側ニ側衛トシテ差遣セラレシカ、旅團命令下達ノ頃ハ未タ戰場ニ到著セス、從テ前衛ノ増援ハ該大隊ニ代フルニ旅團豫備タリシ歩兵第二十一聯隊第三大隊ニ變更セラレタリ。

歩兵第二十一聯隊第三大隊(一中隊ハ輜重掩護トシテ「ビュル」ニ殘留ス)ハ「モンブランシャン」ヨリ西北方ニ下ル谷地ヲ利用シテ「ヌーフシャート」方⁽¹⁾向ニ前進セシカ、敵ノ歩砲兵火ノ猛射ヲ蒙リ同地區ノ通過不可能トナリシヲ以テ此旨ヲ旅團長ニ報告シ、旅團長ハ該隊ノ前進ヲ中止シ、現在地ニ在テ「オスポー」森林ニ對スル歩兵第二十一聯隊主力ノ攻撃ヲ援助シ、情況要スレハ前

(1) les Bulles

午後二時
三十分頃
旅團於ケル
況ニ於ケル
旅團ノ情

衛ヲ收容シ得ル如ク堅固ニ同地ヲ占領スヘキヲ命セリ。
斯ノ如クシテ午後二時三十分頃旅團ハ全力ヲ展開シ「ヌーフシャートー」小
流以北ニ於テハ「ネーブル」大佐ノ指揮スル歩兵二大隊ヲ以テ砲兵約一大隊
ニ依リ支援セラルル獨歩兵第八十、同第八十七兩聯隊(六大隊)ニ對シ、同小
流以南ニ於テハ右翼ニハ歩兵第二十一聯隊第一大隊ノ半部(機關銃小隊ヲ含
ム)ヲ以テ東方ニ對シ守勢鉤形ヲ取り、他ノ半部ヲ以テ「オーベ」大佐ト共ニ
著シク敵ニ突出シ、中央ニハ同聯隊第二大隊(一中隊欠)及歩兵第二十三聯隊
ノ一中隊、尙敵ト六、七百米ヲ間シテ膠著シ、左翼ニハ之ト離隔シテ歩兵第二
十一聯隊ノ第三大隊(一中隊欠)及第二大隊ノ一中隊在リ、之ニ對シ獨軍ハ「オ
スポー」森林ニ歩兵第八十三聯隊ノ二大隊、佛軍右翼方面ニ野砲一大隊ニ依
リ支援セラルル同聯隊ノ一大隊及豫備騎兵第七聯隊(三中隊)ヲ有セリ。
午後三時「ヌーフシャートー」小流以北ニ於テ敵ハ高地巔頂至近ノ距離ニ肉
迫シ而モ其散兵ハ肘々相摩スル程度ニ濃密ナリ、此方面佛軍ノ戰線ハ今ヤ著

「メー」
「シャートー」
「小流」
「佛軍」
「退却」
「以テ」
「北ノ」
「軍ヲ」
「撃退」
「セテ」

シク稀薄トナリテ抵抗力ヲ失シ、加フルニ彈藥ノ缺乏スルアリ、殊ニ「オスポ
ー」森林方面ヨリスル背射ハ益々大ナル苦痛ヲ與ヘ遂ニ現在地ノ維持困難ト
ナリ午後四時退却ヲ開始セリ、獨軍ハ潮ノ如ク殺到シ早クモ二軒屋附近ヲ占
領セシヲ以テ、大部分ハ退路ヲ遮斷セラレテ捕虜トナリ、或ハ死傷シ、西方ヲ
退却セシ一部ノミ南岸ニ脱出スルヲ得タリ、斯クテ此方面獨軍ハ午後五時
ル處小流ノ北岸ヲ占領セリ。

小流以南ニ於テモ午後三時頃佛軍部隊ハ其全力ヲ第一線ニ注入シ大、中隊長
共ニ一兵ノ豫備ヲ有セス、損害著シク彈藥亦殆ト消盡セリ、然ルニ第三師團
ノ部隊ハ尙依然トシテ「ロツシニヨル」街道上ニ現出スルノ模様無シ、當面獨
軍ハ午後三時半ニ至リ「クーツーモン」ヨリ「オスポー」ニ互ル全正面ニ於テ
一齊ニ攻撃前進ヲ開始シ、從來「シャツベル」附近ニ在リシ獨第八十三聯隊ノ
一大隊ハ第六十八聯隊ニ依リ増援セラレ、龍騎兵第七聯隊ハ正面ヲ歩兵ニ
譲リ主力ヲ以テ「ル・サール」方面ヨリ佛軍ノ右側背ヲ脅威スルニ至レリ。

- (1) Cousteumont
- (2) Chapelle

佛軍ノ右翼退セラル

斯クテ右翼及側背ニ對スル危險著シク迫リシヲ以テ、旅團長ハ此間戰場ニ到著セシ步兵第二十三聯隊第三大隊ノ二中隊ヲ最右翼ニ増加シ、砲兵一中隊ヲシテ「オツスーズ」附近ニ陣地變換スルコトヲ命セシモ、是等ノ部署ニ拘ラス最右翼佛軍ハ遂ニ堪フルヲ得ス一部接戰ヲ演シタル後、午後五時頃小部隊及個人毎ニ西南方ニ退却セリ。

聯隊長「オーベ」大佐ハ過度ニ敵ニ接近シアリシヲ以テ適時右翼方面危險ノ情況ヲ知得セス、敵ノ銃砲聲漸次直後ノ方向ニ轉スルヲ聞キ初メテ形勢ノ重大ナルヲ知り、退却セントセシモ時既ニ遅ク、敵兵前面ニ殺到シ來リ大佐ハ重傷ヲ蒙リ人事不省ノ儘捕虜トナレリ。斯ノ如クシテ本道以東ノ佛軍部隊ハ盡ク退却セリ、然レトモ獨軍ハ「ル・サール」、「オスポー」森林ノ線ヲ進出シテ追撃セス。

四、退却及損害

是ヨリ先午後四時稍、前、前線ノ情況ニ關シ旅團長ハ何等正確ナル情報ヲ得サ

ルモ重大ナル徵候續々トシテ生起セリ、左翼大隊ハ前進不能ノ状態ニ在ルヲ報告シ、爾他ノ大隊亦一地ニ固著シテ前進困難ニ陥レルカ如ク、「オスポー」森林ニ對スル攻撃ハ毫モ進捗セス、而モ「オーベ」大佐ヨリハ何等ノ報告無シ、又我砲兵大隊ニ依リ一時制壓セラレタル敵砲兵ハ再ヒ猛烈ナル射撃ヲ開始シ砲彈北方及東方ヨリ同時ニ飛來ス、加之負傷者ノ諸方面ヨリ後退スルモノ増加シ中ニハ負傷セサル兵卒モ加ハレリ、衆皆力竭キ顔色憔悴タリ、「ネーブル」大佐亦重傷ヲ蒙リ指揮ニ堪ヘサルコトヲ承知セリ、此ニ於テ旅團長ハ北方及東方ニ對シテ收容陣地ヲ構成スルニ決シ左ノ處置ヲ爲セリ。

- 1 最左翼大隊（步兵第二十一聯隊第三大隊）ヲシテ現在地（標高四三六附近）ニ陣地ヲ構成セシム。
 - 2 豫備隊ノ一中隊ヲシテ「モンブランシャン」ヲ占領セシム。
 - 3 工兵中隊ヲシテ林縁ノ防禦設備ヲ東方ニ延長セシム。
- 旅團長ハ敵砲撃ノ危害ヲ顧慮シ其戰鬪司令所ヲ「バツス・エヴオー」森林北端ニ移

(1) Villers-devant-Orval

セシカ、午後六時ニ至リ最左翼大隊ヲシテ現在地ヲ撤シテ「グラップフォンテーヌ」附近ニ於テ成ルヘク永ク抵抗セシメ、舊前衛ノ殘存部隊ヲシテ此防戰ヲ援助セシメ、歩兵第二十一聯隊第二大隊最右翼ノ中隊（敵ヨリ最モ離隔シ損害少シ）ヲシテ工兵中隊ノ構築セル「オッスーズ」附近ノ工事ニ據ラシメ、戰場ヨリ退却中ノ諸隊ヲ收容シ之ヲシテ「バツスエヴォー」森林ノ北端林空ニ於テ隊伍ヲ整頓セシム。午後七時單獨兵ノ撤退亦略々終了セシヲ以テ、旅團長ハ「モンブランシヤン」「グラップフォンテーヌ」ノ線上ニ在ル收容隊ヲ後退シテ「バツスエヴォー」森林林縁ノ線ニ據ラシメ、次テ午後八時左方ニ作戰セシ第二軍團退却セリトノ通報ヲ得ルヤ、旅團モ亦「シュクシイ」ヲ經テ即時退却スルニ決セリ、即チ前記「バツスエヴォー」林縁占領部隊ノ掩護ニ依リ午後九時主力ノ退却ヲ開始シ、途中「シュクシイ」ニ於テ稍々永ク部隊ヲ休養シタル後、二十三日午前「ヴェーレ・ドヴァン・オルヴァル」ニ集合セリ（附圖第二參照）。退却掩護部隊（歩兵第二十一聯隊第三大隊及歩兵第二十三聯隊ノ若干部隊）ハ翌日未明迄林縁附近ノ陣

地ヲ保持シ、後「シュクシイ」ヲ經テ主力ニ合セリ、旅團長ハ二十二日夜半第三師團カ「ロツシニョール」附近ニ於テ大敗セル旨ノ通報ヲ受領セリ。旅團ノ損害ハ實ニ甚大ニシテ約五時間ノ戰鬪ニ於テ兩歩兵聯隊長ヲ失ヒシノミナラス、左ノ如キ戰鬪員ヲ失ヒ、就中旅團ノ前衛タリシニ二大隊ハ殆ト全滅セリ。

歩兵第二十一聯隊 將校 二七 下士卒 九九二
 同 第二十三聯隊 將校 四〇 下士卒 一、〇五〇

獨軍ノ損害亦佛軍ニ劣ラサリシカ如ク、負傷者看護ノ爲數日間戰場ニ止マリシ「トラミニ」軍醫ノ手記ニ據レハ、戰死一千三百名、負傷三千名ニ達セリト。獨軍ハ苦戰ノ印象大ニシテ頗ル優勢ナル敵ト對戰セルヤノ感想ヲ懷キタルカ如ク、二十二日夕佛軍ノ收容隊ト相對シテ戰場ニ止マリ翌日ノ追撃前進亦著シク遲緩（午後出發）セリ。

五、本戰鬪ニ關スル觀察

1 植民地旅團ハ當面ノ敵情如何ヲ豫知スル能ハス、敵ト觸接シ殊ニ一部ノ戰鬪ヲ開始シタル後初メテ有力ナル敵ト遭遇セルヲ知レリ、斯ノ如キハ空中搜索ヲ缺如セル場合屢々發生スル現象ナリトス、本情況ノ如ク騎兵ノ配屬極メテ僅少ナル場合ニハ敵ノ遮蔽幕後方ニ於ケル情況ヲ搜出スルコト益々困難ナルヲ以テ不期戰豫防ノ爲特別ノ考慮ヲ必要トス、自働火器ヲ有スル歩兵ノ一部(自轉車ヲ附ス)ヲ前方ニ挺進セシメ有力ナル觸角タラシムル如キモ一考案ナルヘシ。

2 午前十一時三十分以降旅團長カ前方ニ於テ間斷無キ銃聲ヲ聞キ戰鬪發生ノ可能性ヲ推測シ得ルニ方リ、情況ノ判明殊ニ一將校ノ搜索成果ヲ待ツテ處置セントシ、本隊ヲ「オツスーズ」附近ニ開進セシメ自ラ荏苒午後零時十五分迄「モンブランシャン」ニ止マリシハ適當ト認メ難シ、此時機ニ於テハ高級指揮官自ラ十分前方ニ進出シ速ニ全般ノ情況ヲ判斷シ、前衛主力ヲ「ヌーフシヤートー」小流南方ニ控制スヘキヤ或ハ逐次加入ノ方法ニ依リ現戰鬪ヲ進展セシムヘキヤ等ノ問題ヲ解決シ、最迅速ニ諸隊ヲ部署スルコト必要ナリトス。

3 第一線歩兵聯隊長(殊ニ歩兵第二十一聯隊長)ハ常ニ過度ニ第一線ニ近ク位置シ、爲ニ全般ニ對スル指揮能力ヲ失ヒ部隊ノ掌握ヲ害セリ、指揮官ハ勇敢ナル模範的態度ヲ以テ部下ニ臨ムノ要アリトハ云ヘ、情況ノ如何ニ拘ラス過度ニ第一線ニ近ク占位スルニ於テハ本例ノ如ク指揮掌握ヲ害シ延イテ部隊全般ノ戰鬪能力ニ惡影響ヲ及ホスニ至ルコトニ注意スルヲ要ス。

4 歩兵第二十一聯隊第二大隊ハ敵火ノ威力ヲ避ケンテ側方ニ移動セシ爲同聯隊内ノ他大隊ト甚シク離隔シ、遂ニ聯隊ノ攻撃勢力ヲ散逸スルノ弊ヲ醸セリ、是レ火器ノ威力増大セル現時ノ戰鬪ニ於テ屢々發生スル事實ナルヲ以テ指揮上特ニ注意ヲ要ス。

5 獨軍勝利ノ原因ハ其兵數ノ優勢ニアルコト勿論ナルモ、此際戰場ノ各所ニ現ハレタル包圍的效果ヲ看過スルヲ得ス、即チ「ヌーフシヤートー」小流以北

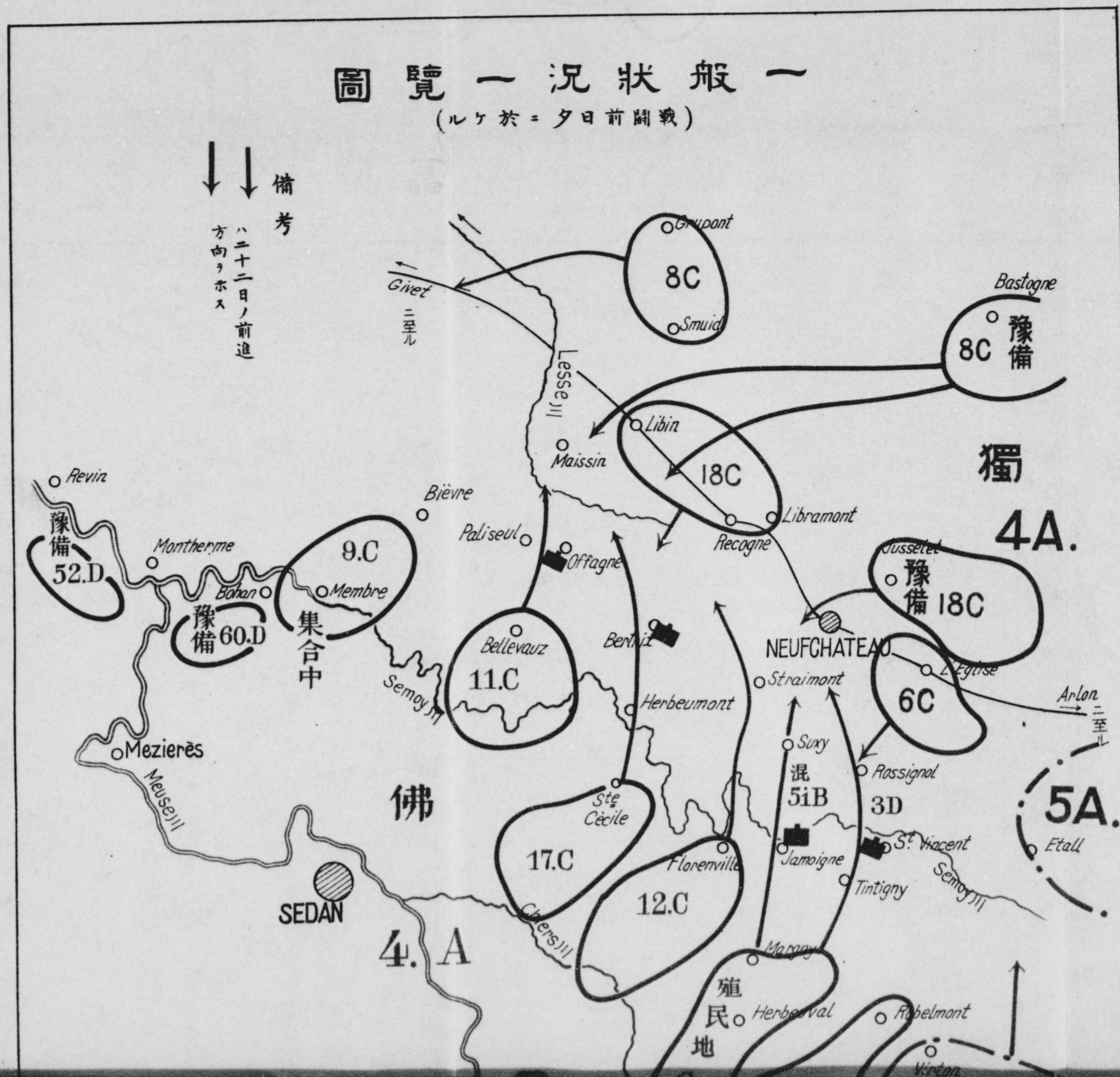
ニ於ケル佛軍前衛ハ「オスポー」森林方面ヨリスル側射及背射ノ威力ニ因リ大ナル苦痛ヲ感シ、同小流以南ニ於ケル歩兵第二十一聯隊ノ主力ハ其右翼ヲ包圍セラレ逐次ニ崩壊セリ。

6 佛軍カ倍數ノ敵ニ對シ半日ヲ支持シタルノミナラス敵ノ追撃ヲシテ翌日午後迄モ遷延セシメタリシハ注目ニ値ス、是レ戰鬪開始ニ方リ佛軍先頭部隊ノ取りタル果敢ナル動作カ既ニ獨軍ノ心理ニ影響ヲ與ヘ、次テ佛軍ノ攻勢意思ト火力トカ獨軍ヲ有形無形的ニ壓迫シ之ヲシテ優勢ナル敵ニ對シテ戰鬪スルヤノ印象ヲ起サシメタルニ依ル、尙本戰鬪ヲ仔細ニ觀察セハ兩軍共ニ其火器ノ利用、隊形ノ選定ニ關スル戰前ノ方式カ近代ノ火器威力ニ對シ不十分ナリシヲ認メ得ヘク、獨軍ハ結局勝利ヲ得シモ此點ニ關スル缺陷ハ同軍ニ著シク高價ナル犠牲ヲ拂ハシメ、之ニ依ツテ却テ志氣上ニ惡影響ヲ及ホセリ、右ハ一層科學化セラルヘキ將來戰ニ於テ其覆轍ヲ踏マサラントスル者ノ爲ノ好訓タルヘシ。

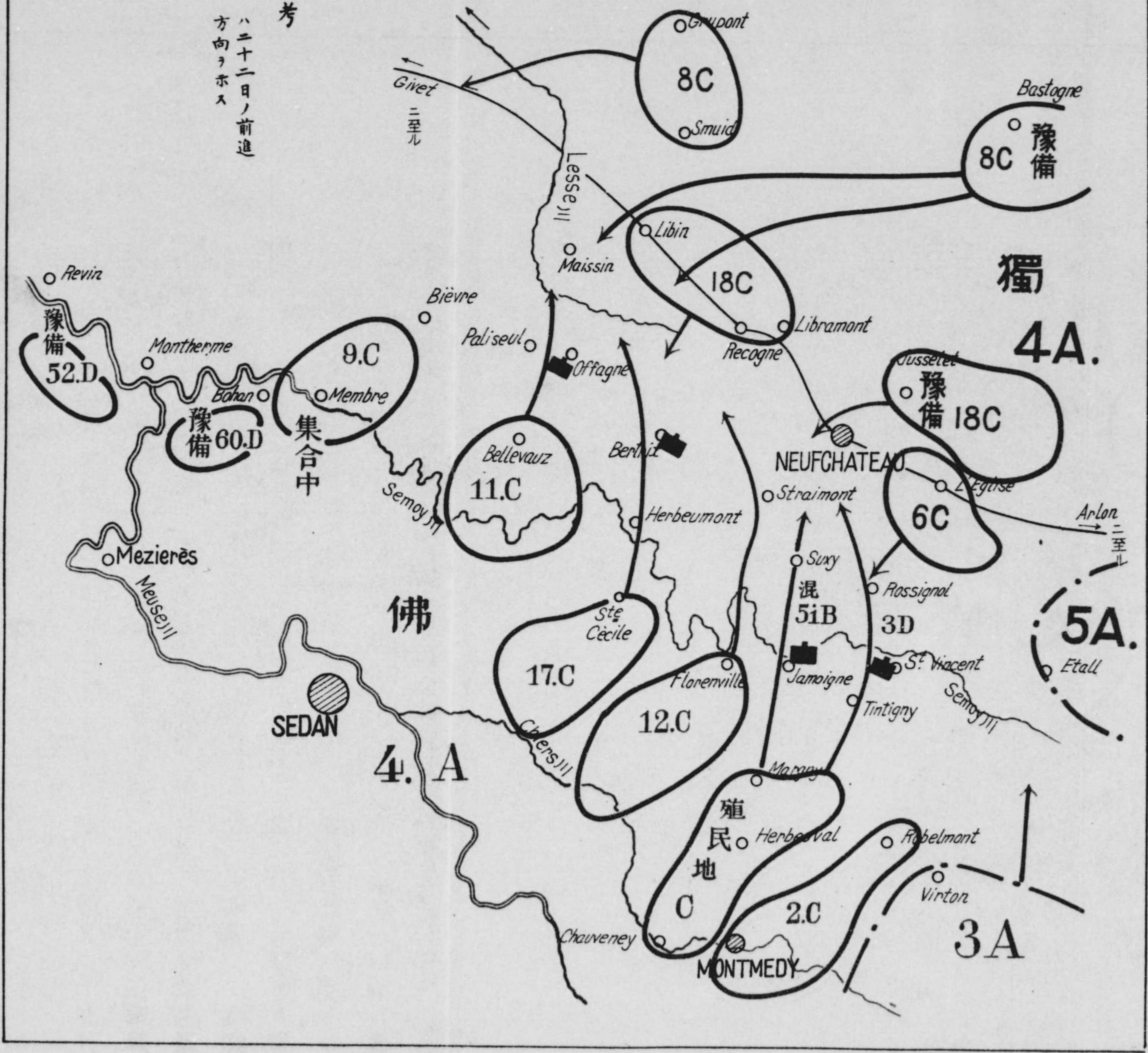


一般狀況一覽圖

(ルケ於 = 夕日前開戦)



備考
ハ二十一日ノ前進
方向ヲホス



佛

獨

SEDAN

MONTMEDY

NEUFCHATEAU

Bastogne

8C 豫備

8C

Smuid

18C

Libramont

Recogne

4A.

18C 豫備

6C

5A.

9.C

集中中

11.C

17.C

12.C

混 5iB

3D

殖民地

2.C

3A

Reviz

52.D 豫備

Montherme

60.D 豫備

Mezieres

4. A

Bièvre

Paliseul

Bellevaux

Offagne

Berlitz

Herbeumont

st. Cécile

Florenville

Cherswill

Chauveney

Straimont

Suxy

Jamoigne

Marany

Herbeval

Robelmont

Vinton

Arlon 二至ル

Etall

Givet 二至ル

Lesse 川

Maissin

Libin

Paliseul

Offagne

Berlitz

Herbeumont

st. Cécile

Florenville

Cherswill

Chauveney

Straimont

Suxy

Jamoigne

Marany

Herbeval

Robelmont

Vinton

Arlon 二至ル

Etall

Givet 二至ル

Lesse 川

Maissin

Libin

Paliseul

Offagne

Berlitz

Herbeumont

st. Cécile

Florenville

Cherswill

Chauveney

Straimont

Suxy

Jamoigne

Marany

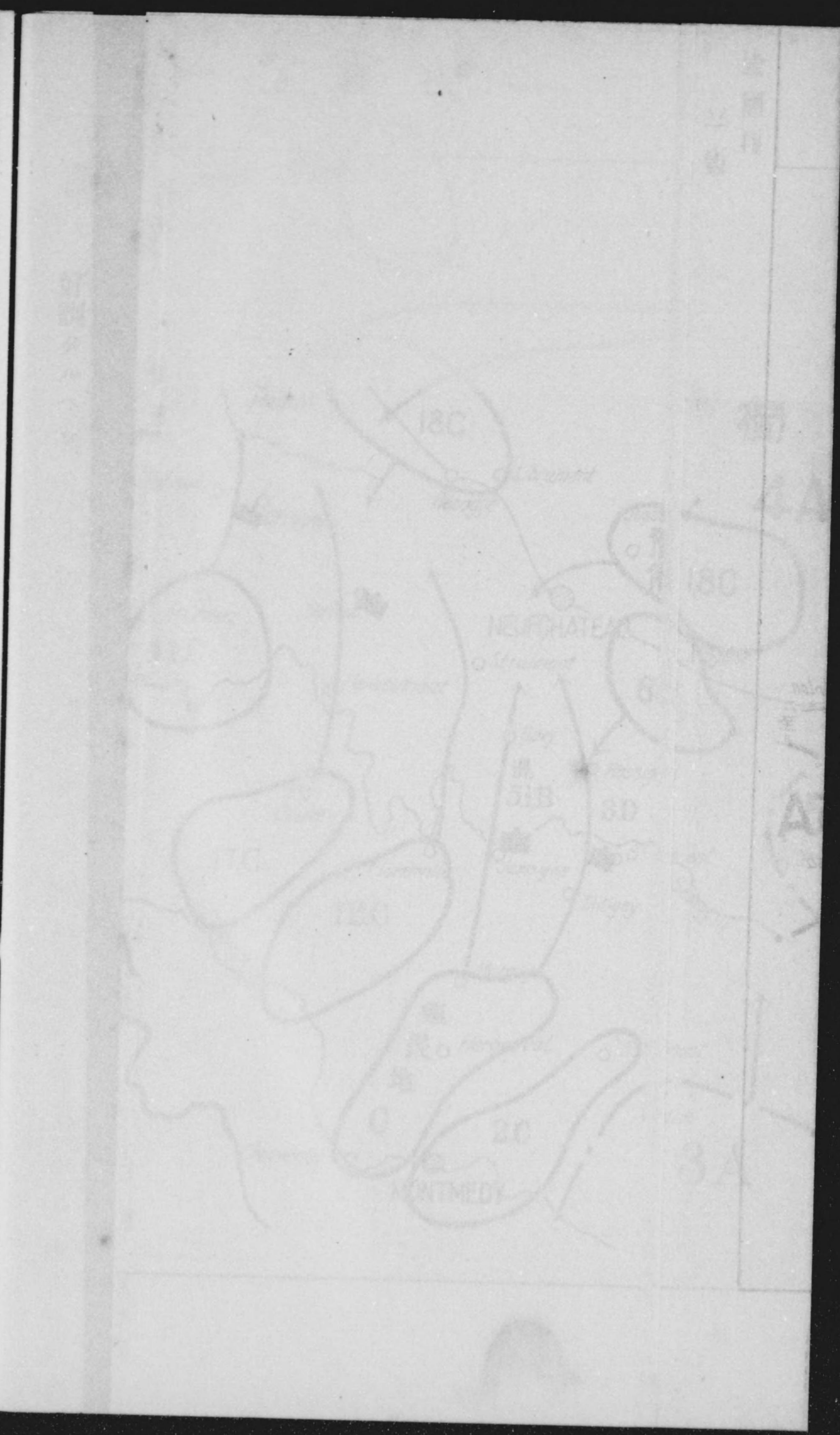
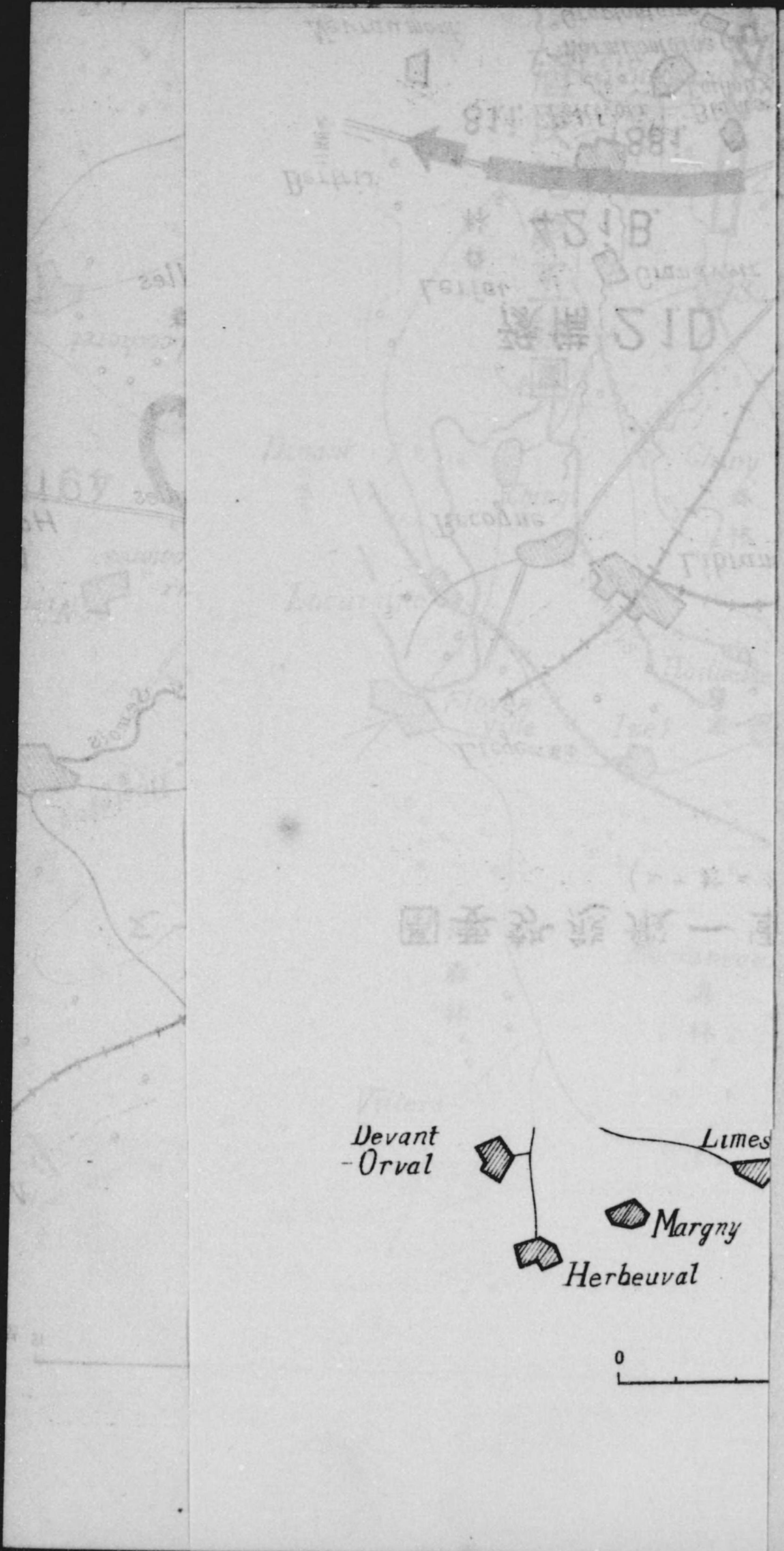
Herbeval

Robelmont

Vinton

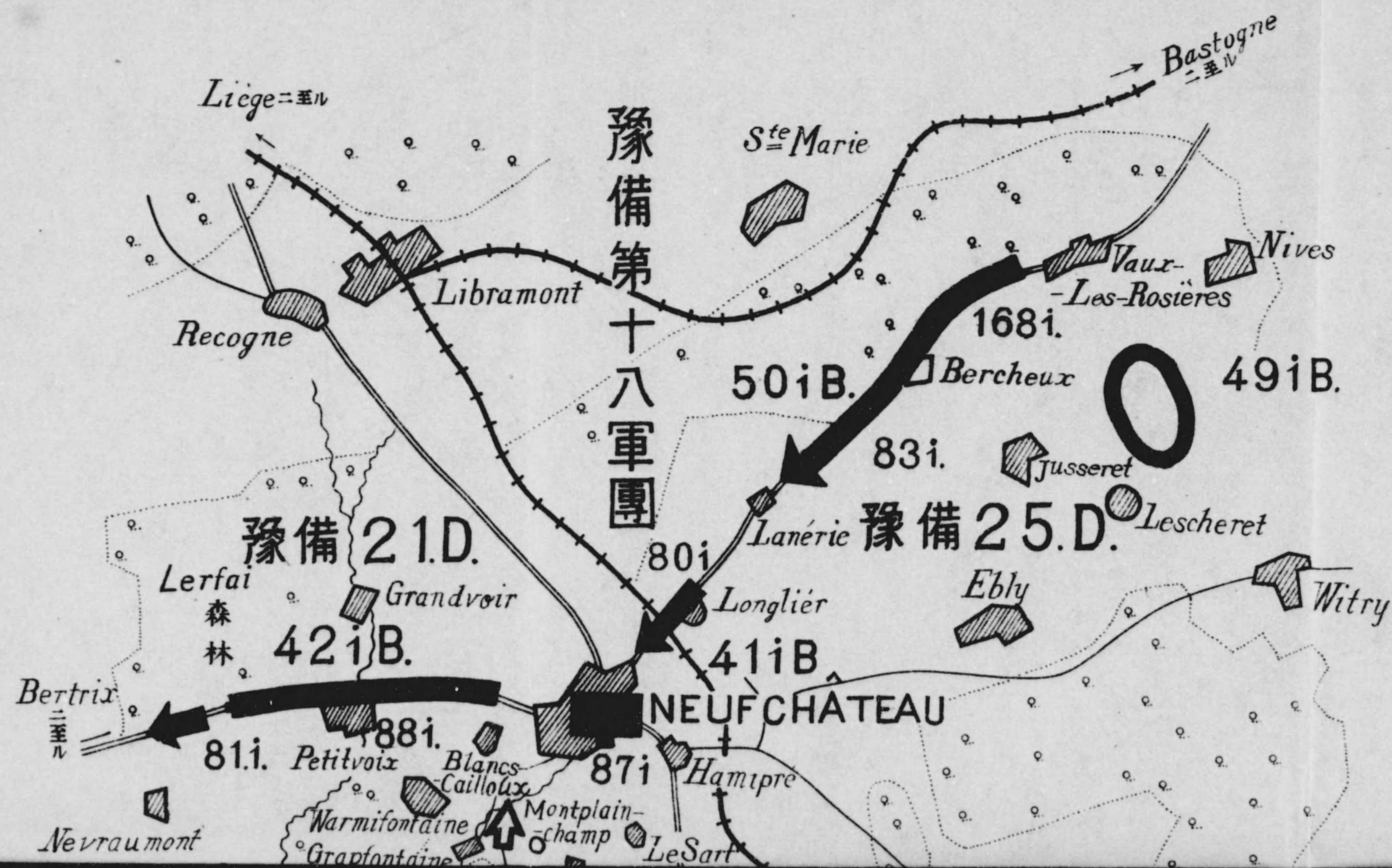
Arlon 二至ル

Etall

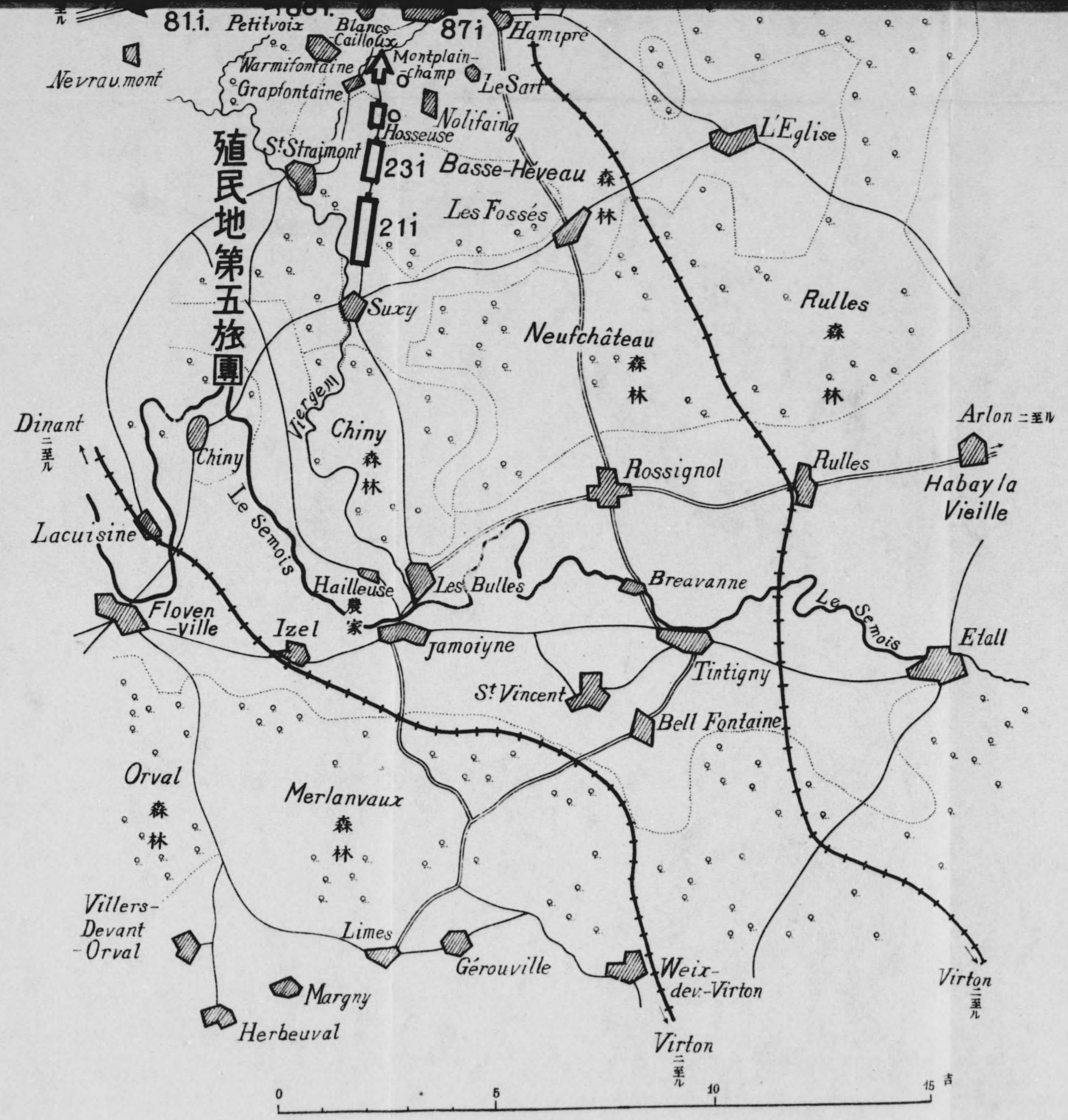


圖要勢態般一軍兩佛獨近附「トーヤシフーヌ」

(ルケ於=分十三時一十前午日二十二月八)



第六
附圖第二



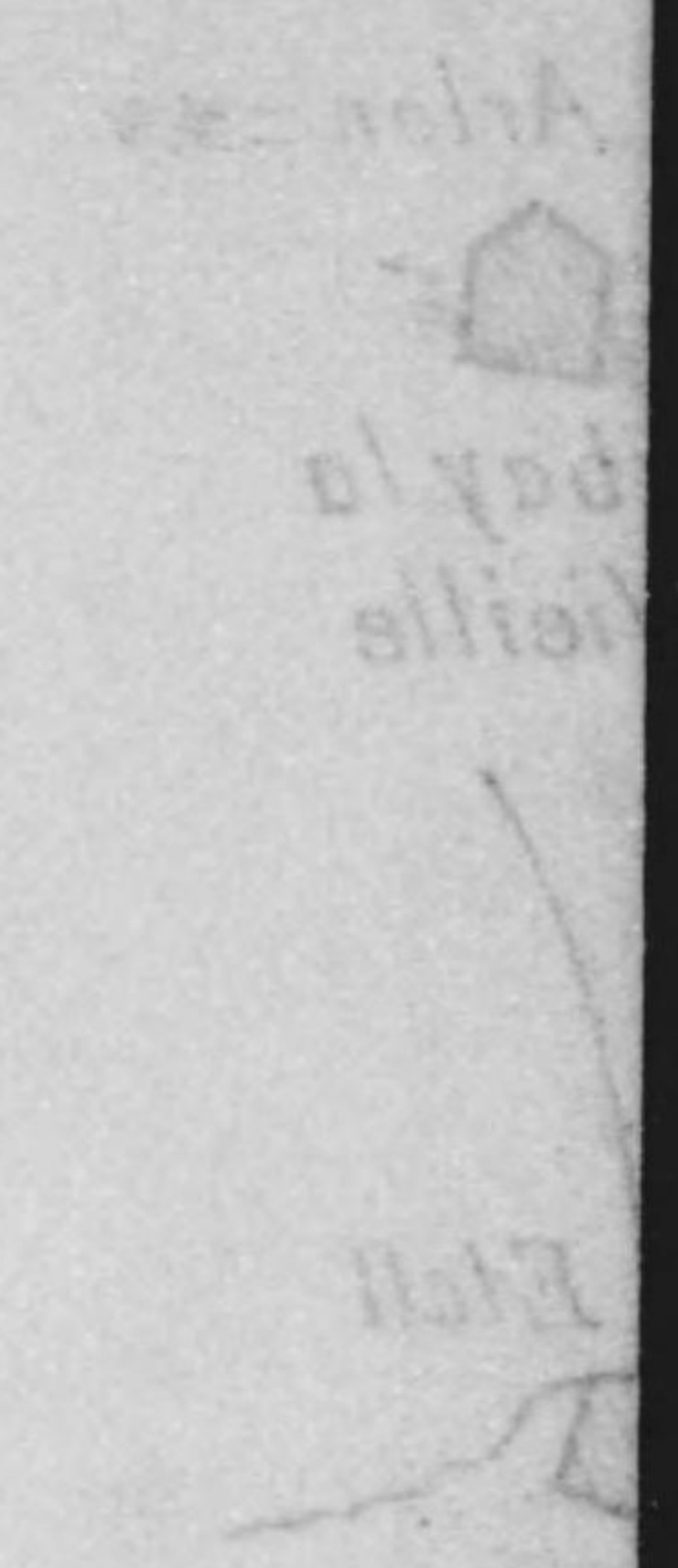
Basse-Heveau

森
林

右側衛タリシ關係上
前進後レ當時主力ニ
追及中ニ在リ

III(-12)
23i

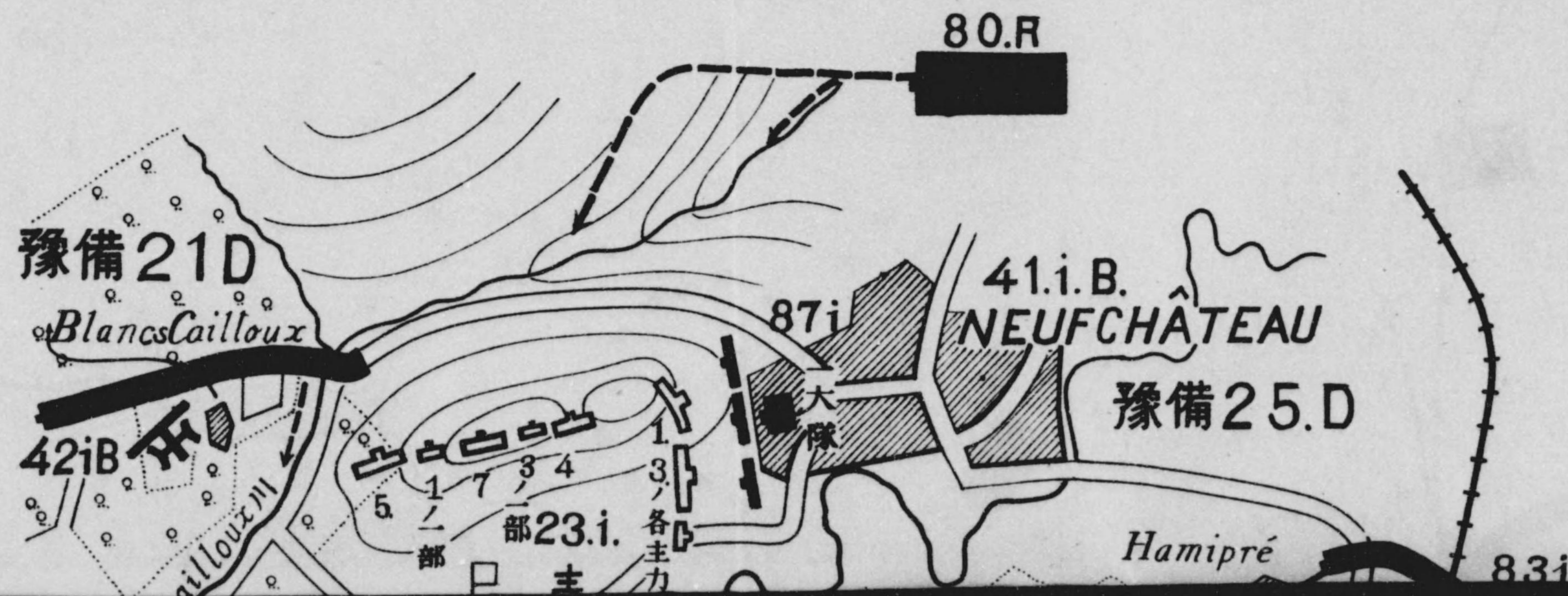
主力

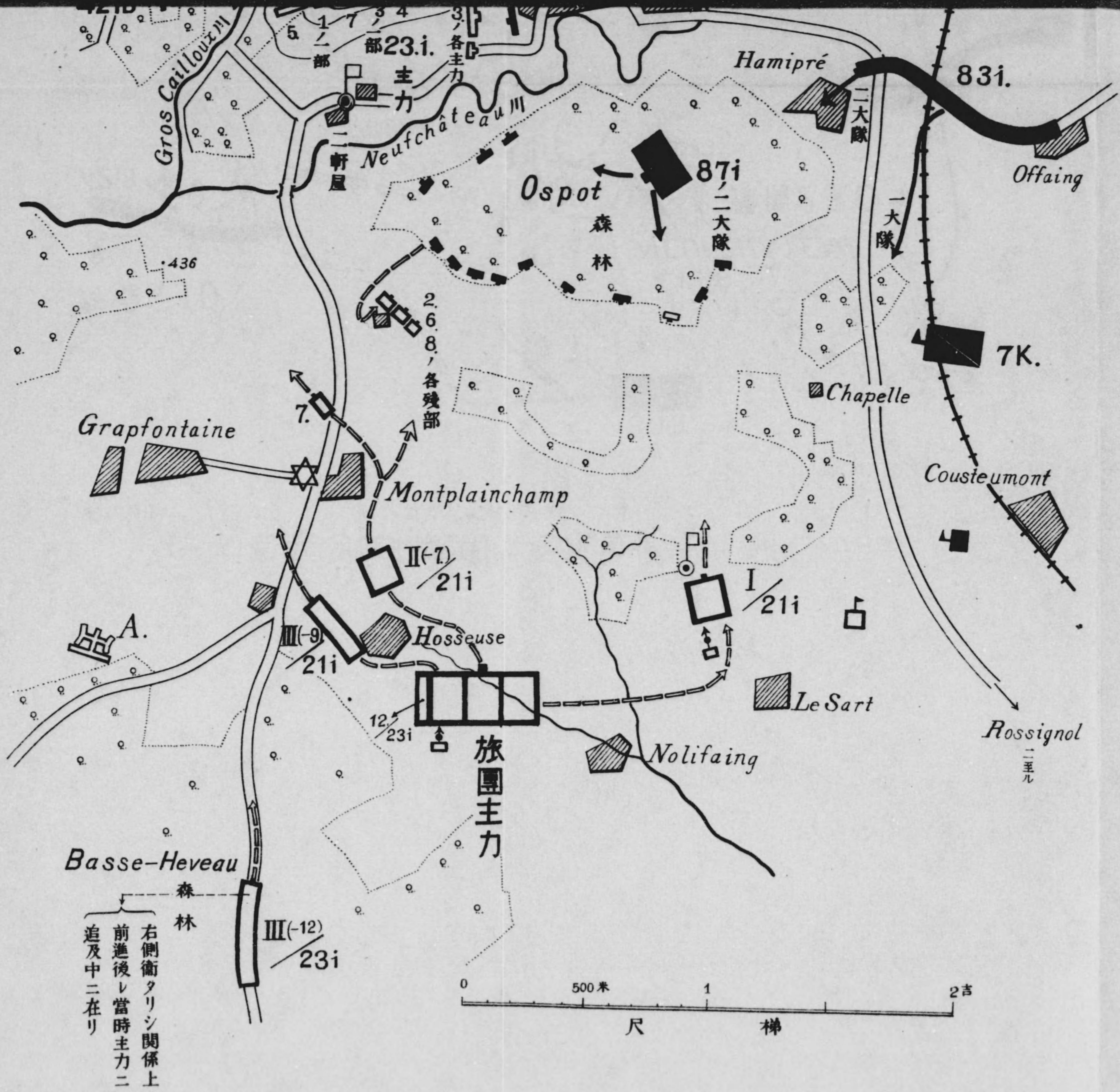


(一其)圖要過經鬪戰團旅地民殖佛近附一ト一ヤフ一又

(ルケ於ニ時一后午日二十二月八)

第六
附圖第三







Grapfontaine

II(-7)

21i

及

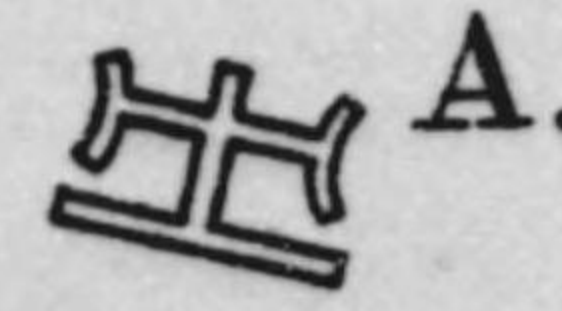
12/231

Montplaincha

II(-12)

23i

Auberge



A.

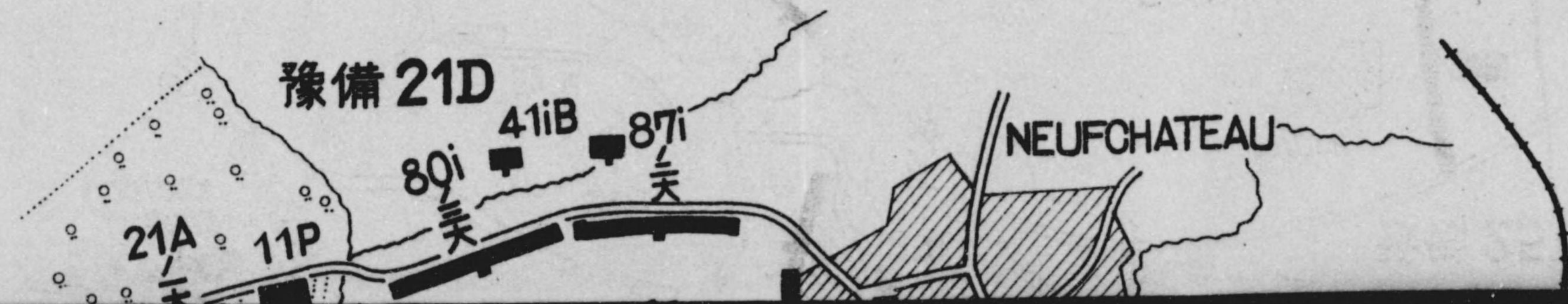
Hosseuse

Basse-Heveau

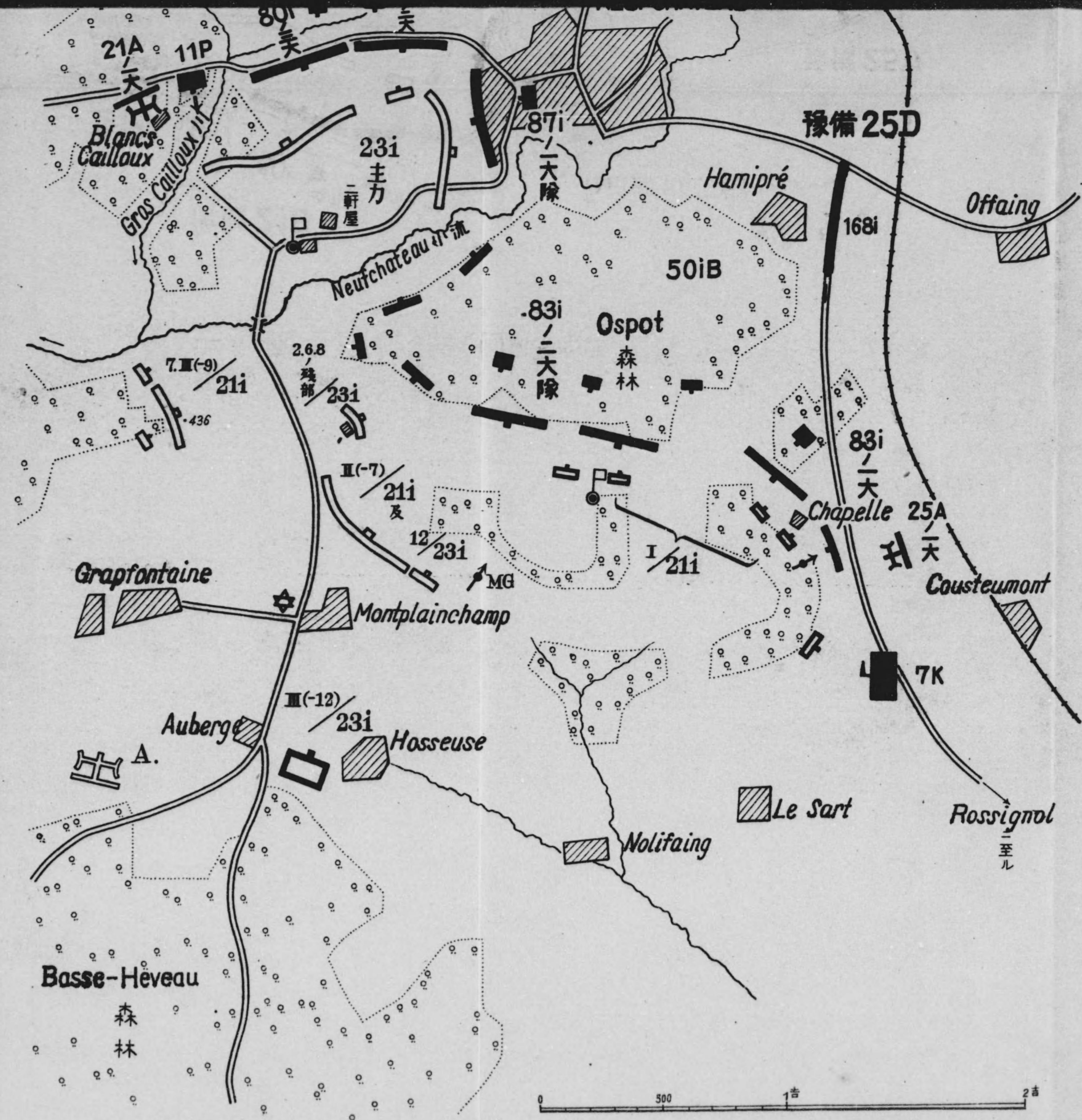
森林

ニ其圖要過經鬪戰團旅地民殖佛近附一ト一ヤシフーヌ

(ルヶ於ニ分十三時二后午日二十二月八)



第六
附圖第四



21A
天
Blancs
Cailloux

Gros Cailloux 川

23i
主力
軒屋

87i
天
大隊

豫備 25D

Hamipré

Offaing

50iB

Ospot
森林

83i
天
大隊

7.II(-9)
21i

2.6.8
残部
23i

83i
天

Chapelle 25A
天

Cousteumont

Grapfontaine

Montplainchamp

Auberge
A.

III(-12)
23i

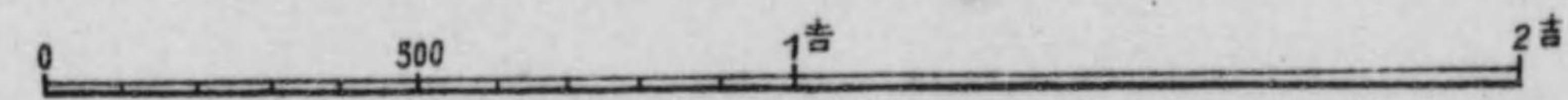
Hosseuse

Le Sart

Nolifaing

Rossignol
至ル

Basse-Heveau
森林



第七 一九一四年「マルヌ」會戰ニ於ケル獨第十七師團ノ「エ
ステルネイ」附近遭遇戰

一、一般情況ノ梗概(附圖第一參照)

戰前日
九月五日
於ケル
獨第十七
軍右翼方
面ノ情況

一九一四年八月國境會戰ノ後獨右方諸軍(第一乃至第三軍)ハ當面英佛軍ヲ追擊シ、九月五日夜附圖第一ノ如ク位置セリ。

九月五日
獨第一軍
司令官ノ
決心及六
部ノ爲メ
部署

第一軍司令官ハ此日初メテ佛軍カ「アルサス」、「ローレーン」方面ヨリ兵力ヲ抽出シ巴里附近ニ輸送中ナルカ如キヲ知り、最高統帥ノ訓令ニ基キ東南ノ方向ニ向フ從來ノ追擊作戰ヲ停止シ「オアーズ」、「マルヌ」兩河間ニ轉位シ、巴里方向ヨリスル敵ノ突進ニ對シ第二軍ト共ニ攻勢的ニ對抗センカ爲、翌六日ヨリ轉進行動ニ著手スルニ決シ午後十一時命令ヲ下シ、第一軍團ヲシテ「モ」東北地區ニ、第四、第三軍團ヲシテ「ドゥー」⁽¹⁾、「ラ・フェルテ・ゴシエ」⁽²⁾間ノ地區ニ向ヒ轉進セシメ、騎兵第一集團ヲシテ此轉進運動ヲ庇掩セシメ、第九軍團ニ對シテハ六日現在地ニ停止スヘキヲ命セリ。軍司令官ハ夜半ニ至リ軍ノ第二線トシテ右翼

第七 一九一四年九月「マルヌ」會戰ニ於ケル獨第十七師團ノ「エステルネイ」附近遭遇戰 一四七

後ニ梯置セシ豫備第四軍團カ「モ」北方地區ニ於テ既ニ優勢ナル佛軍ノ攻撃ヲ受ケタル旨ノ確報ニ接シ、第二軍團ニ對シ改メテ豫備第四軍團救援ノ爲即時行動ヲ開始スヘキヲ命セリ。

第二軍司令官ニ在リテモ最高統帥ノ訓令ニ基キ、巴里ニ對スル軍ノ正面變換ヲ六日ニ於テ準備セント欲シ、此夜命令ヲ下シ第七軍團ヲシテ「シャトー・チエリイ」⁽²⁾「フォントネル」ノ線ニ、豫備第十軍團ヲシテ「モンミライユ」⁽³⁾「ル・ゴール」ノ線ニ、第十軍團及近衛軍團ヲシテ「レ・ゼッサール」⁽⁵⁾「マリニイ・ル・グラン」ノ線ニ向ヒ前進セシムルコトトセリ。

此夜豫備第四軍團ヲ除ク第一軍爾他ノ正面及第二軍右翼ノ正面ハ共ニ靜穩ニシテ僅ニ前哨線附近ニ若干ノ銃聲ヲ聞キシノミ、唯第二軍左翼ニ二軍團ノ正面ニ於テハ「ブチー・モラン」⁽⁷⁾河畔及「サンゴン」⁽⁸⁾沼澤地北岸ニ於テ小戰頻發シ、就中歩兵第二十師團ノ前線ハ「ヴィルヴナール」⁽⁹⁾「クルージュンネー」⁽¹⁰⁾附近沼澤地北岸ノ敵ヲ驅逐スルヲ得スシテ之ト近ク相對シテ夜ヲ徹スルニ至リシモ、將卒一般

- (1) Château-Thierry
- (2) Fontenelle
- (3) Montmirail
- (4) le Gault
- (5) les Essarts
- (6) Marigny-le Gd.
- (7) Petit Morin
- (8) Saint Gond
- (9) Villevenard
- (10) Courjonnet

ニ佛軍ハ混亂シテ「セーヌ」南岸ニ向ヒ退却中ナリト思惟シ、佛軍ノ攻撃準備ニ關シテハ何等感知スル所無カリキ。

實際ニ於テ當面佛軍ハ四日夜ノ最高統帥訓令ニ依リ五日退却運動ヲ停止シ、六日早朝ヨリ攻撃前進ヲ開始スヘク準備中ニシテ、五日夜新編成第九軍ヲ以テ「ランアール」⁽¹⁾「ラ・ヴィルヌーヴ」⁽²⁾間ノ「ソナム」⁽³⁾川及「サンゴン」沼澤地南端ノ線ヲ、第五軍ヲ以テ「セザンヌ」⁽⁴⁾西南側ヨリ「ラ・フォレスチエール」⁽⁵⁾ヲ經テ「プロヴアン」⁽⁶⁾東北側ニ互ル線ヲ占メアリ、第九軍ハ爾後ノ隘路進出ヲ顧慮シ特ニ有力ナル一部ヲ「サンゴン」沼澤地ノ北岸ニ進メ爲ニ獨軍ノ前線ト衝突シ所々小戰ヲ惹起セリ。

二、戰鬪開始及前衛ノ展開(附圖第一、第二參照)

九月五日夕獨第九軍團ハ「エステルネイ」⁽⁷⁾附近及其以北ノ地區ニ達シ宿營セリ、同軍團ニ屬スル歩兵第十七師團(左方師團)諸隊ノ位置左ノ如シ。

前衛(司令官歩兵第三十三旅團長)

- (1) Lenharrée
- (2) la Villeneuve
- (3) la Somme
- (4) Sézanne
- (5) la Forestière
- (6) Provins
- (7) Esternay

步兵第三十三旅團司令部
 步兵第七十六聯隊 } 「エステルネイ」
 龍騎兵第十六聯隊ノ半部 }
 野戰砲兵第二十四聯隊第一大隊⁽¹⁾ } 「エステルネイ・ル・フラン」
 本隊

- (1) Esternay-le Franc
- (2) Champguyon
- (3) Leuze
- (4) Morsains

師團司令部 }
 步兵第七十五聯隊(第三十三旅團所屬) }
 野戰砲兵第二十四聯隊第二大隊 }
 步兵第三十四旅團(第八十九、第九十聯隊) }
 野戰砲兵第六十聯隊 }
 其他省略 }
 ノ第九軍團 }
 軍團長ハ軍命令ニ基キ六日兩師團(步兵第十七及第十八師團)ニ對シ現在地ニ
 停止スヘキヲ命セシヲ以テ、連日ノ行軍ニ疲勞セル將卒ハ大ニ喜悅シ、心神ノ

ノ休憩

緊張ヲ解キ或ハ被服武器ヲ手入シ、或ハ馬具裝具ノ檢査ヲ施行シ、或ハ身邊ノ
 整理ヲ爲シ、或ハ給養上ノ雜役ニ從フ等諸隊ノ宿營地ハ恰モ平時ノ大演習ニ於
 ケル休日ノ如キ賑ヒアリ。

- (1) Retourneloup
- (2) Chomme
- (3) Bricot-la Ville
- (4) la Loge a Gond

步兵第十七師團ノ前哨ハ步兵第七十六聯隊第一大隊(第三中隊欠)及同聯隊第三
 中隊之ニ任シ、前者ハ「ル・ツールヌル」ニ、後者ハ「エステルネイ」城址ニ位置
 シ警戒ニ從事セシカ、五日夜ハ靜穩ニ經過セリ。龍騎兵第十六聯隊ノ斥候ハ「シ
 ヨンム」⁽³⁾「ブリコー・ラ・ヴィル」⁽⁴⁾西南端「ラ・ロージュ・ア・ゴン」森林東端「セザン
 ヌ」ニ通スル道路附近ニ敵ノ哨兵ヲ認メタル旨ヲ報告セシモ、前哨部隊ハ之ヲ
 目シテ單ニ敵後衛ノ警戒部隊ニ過キスト爲シ、特ニ報告スルコト無シ。

戰開始

右騎兵斥候ハ六日天明後敵歩騎兵部隊ノ所々前進スルヲ目撃セシカ、之ニ關ス
 ル報告「エステルネイ」ニ到著スルニ先チ、午前七時十五分同地北側前衛砲兵大
 隊ノ露營地ハ急霰ノ如キ敵砲彈ニ依リ急襲セラレタリ。砲兵大隊ハ茲ニ一大恐
 慌ニ陥リ、殊ニ馬匹繫索ヲ切ツテ逃走セシ爲、火砲ハ運動性ヲ失ヒ、該大隊ハ終

第七一九一四年九月「マルメ」會戰ニ於ケル第十七師團ノ「エステルネイ」附近遭遇戰 一五一

日戰鬪ニ參加スルコト能ハサルニ至レリ。

前衛司令官ハ「⁽¹⁾グラン・モラン」南岸ニ橋頭ヲ確保スルヲ緊要ナリトシ、歩兵第七十六聯隊ニ戰鬪準備ヲ命シ、聯隊長ハ旅團長ノ意圖ニ基キ第三大隊及機關銃中隊ヲシテ「⁽¹⁾ルツールヌル」ニ到ラシメ、第二大隊ヲシテ第三大隊ノ左翼ヨリ包圍的ニ戰鬪ニ加入シ得ル如ク「エステルネイ」東側ニ準備態勢ヲ取ラシメ、自ラ在「⁽¹⁾ルツールヌル」前哨本隊ノ位置ニ疾驅シテ情況ヲ觀察セリ。此間前哨司令官ハ報告ニ依リ敵兵「⁽²⁾ブレー・デュ・ビユー」森林北縁ヲ堅固ニ占領シアルカ如キヲ知り、第一大隊主力ヲ「⁽¹⁾ルツールヌル」南方約一吉丘阜上道路兩側ニ展開セシム。

前衛司令官ハ師團長ニ情況及處置ヲ報告シ、特ニ本隊砲兵ノ急派ヲ請求シ、次テ師團騎兵ノ主力（一中隊）ヲシテ「⁽³⁾ボーヴェー・ラ・ヌー」方面ニ於テ師團ノ左側ヲ掩護セシメ、工兵中隊ヲ豫備トシテ「エステルネイ」南側ニ位置セシム。

午前八時頃佛軍砲兵新ニ「⁽¹⁾スー」方向ヨリ射撃ヲ開始セシヲ以テ、前衛司令官ハ

(1) Chatillon

(1) Gd. Morin
(2) Près du But
(3) Beauvais-la Noue

直接第七十六聯隊第二大隊長ニ命令ヲ下シ、「⁽¹⁾シャーチヨン」西側高地ヲ占領シ、爲シ得レハ該砲兵ヲ驅逐セシム。同大隊「セザンヌ」街道ヲ通過スルヤ佛軍ノ砲撃ヲ受ケ駈歩ヲ以テ「⁽¹⁾グランモラン」南岸ニ進出シ、第五乃至第七中隊ヲ第一線トシ「⁽¹⁾シャーチヨン」西側ニ達スルヲ得タリ、當時此方面未タ佛歩兵ヲ認メス。

少時ノ後、前衛司令官ハ「エステルネイ」南方入口ニ於テ「⁽¹⁾ボーヴェー・ラ・ヌー」西方「セザンヌ」街道上及其北方ニ敵歩兵小部隊現出ストノ報告ニ接シ、唯一ノ豫備タル工兵中隊ヲ「エステルネイ」城址ニ派遣シ、歩兵第七十六聯隊長亦右情報ヲ受領シ同方向ニ機關銃中隊ヲ派遣セリ。

工兵中隊及機關銃中隊ハ彈丸雨飛ノ間ヲ勇敢ニ前進シ、前者ハ城址ノ小林東南角ニ、後者ハ「セザンヌ」道ト「⁽¹⁾シャーチヨン」道トノ交叉點ニ到ツテ停止セリ。

三、本隊ノ加入（附圖第二、第三參照）

南方ニ於ケル砲聲、前衛ヨリノ報告、砲兵馬匹ノ狂奔等ニ依リ在「⁽¹⁾シャンギユイ

ヨシ」歩兵第十七師團長ハ情況ノ重大ナルヲ知り、午前八時頃師團本隊タル諸隊ニ緊急集合ヲ命シ、此間前衛ニ情況ノ報告ヲ求メシモ敵情ハ前衛ニ於テモ未タ的確ニ判知スルヲ得サリシヲ以テ、取り敢ヘス迅速ニ前衛ヲ赴援シ、佛軍砲兵ノ挑戰ニ應スルノ處置ヲ爲セリ。即チ、

前衛赴援
ノ爲師團
長ノ處置

1 歩兵第七十五聯隊ハ前衛(歩兵第七十六聯隊)ノ右翼ニ戰鬪加入ス。

2 野戰砲兵第二十四聯隊及在「モルサン」野戰砲兵第六十聯隊ハ師團砲兵指揮官ノ區處ニ從ヒ直ニ戰鬪ニ加入ス。

3 歩兵第三十四旅團(第八十九及第九十聯隊)ハ「モルサン」及「ルーズ」ヨリ「シャンギユイヨン」ヲ經テ「エステルネイ」ニ向ヒ前進ス。

午前八時四十五分野戰砲兵第二十四聯隊第二大隊ハ速歩ヲ以テ前進ヲ開始シ、「シャンギユイヨン」ト「エステルネイ」トノ中間標高二〇六西方ニ陣地ヲ占領セシモ、佛軍砲兵ヲ發見スルヲ得ス、且地圖ヲ所有セサリシヲ以テ、(地圖ハ大行李ト共ニ軍團司令部ニ到着シアリシモ緊急集合後早急ニ前進セシ爲大隊迄分配セラルルニ至ラス)根據アル射撃ヲ施行スルヲ得ス、爲ニ前衛ニ

何等ノ援助ヲ與フルヲ得サリキ。
歩兵第七十五聯隊亦午前八時四十五分「シャンギユイヨン」ヨリ前進ヲ起シタルモ第七十六聯隊ノ右翼即チ師團命令所命ノ方向ニ前進スルコト無ク、敵砲火ノ下ヲ前進スルニ恰適ノ進路タル「シャンギユイヨン」⁽¹⁾「ヴィヰイエー」道ヲ取り、午前十時十五分「ヴィヰイエー」北方地區ニ達セリ。
午前十時軍團長「フォン・クワスト」ハ飛行機報ニ依リ「セーヌ」河、「エステルネイ」間ニ一乃至一軍團半ノ敵ノ大部隊アリテ午前九時北進セントスル模様アルヲ知り、先ツ當面ノ敵ヲ擊攘スルコトハ軍團カ翌日ヲ以テ「マルヌ」北方地域ニ轉進スル場合ニ於テモ必要ナリト判斷シ、午前十時四十分兩師團ニ攻撃前進ヲ命シ、此際歩兵第十七師團ノ作戰地域ヲ

東方 「シャーチヨン」⁽¹⁾「ラ・フォレスチエール」ノ線
西方 「ルツールヌル」⁽²⁾西方八百米標高二〇〇地點⁽²⁾「レ・ゼツサール」⁽²⁾
(「ラ・フォレスチエール」西方約三吉)ノ線

(1) Vivier
(2) Les Essarts-le Vicomte

ト定メ、其左翼ニ重點ヲ保持スヘキヲ指示セリ。

師團ノ攻之ニ基キ師團長ハ午前十一時過キ左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ。

1 歩兵第三十三旅團ハ歩兵第十八師團ノ左翼ニ連繫シ「エステルネイ」南方三叉路「ス」西方叢林西端ノ線以西ノ地區ヨリ、歩兵第三十四旅團ハ該線以東ノ地區ヨリ當面ノ敵ヲ攻撃スヘシ。
歩兵第三十四旅團ハ側面掩護トシテ歩兵一聯隊ヲ左翼後ニ豫備タラシムヘシ。

2 野戰砲兵第二十四聯隊ハ歩兵第三十三旅團ヲ、同砲兵第六十聯隊ハ歩兵第三十四旅團ヲ支援スヘシ、但野戰砲兵第二十四聯隊第一大隊ハ目下使用シ得サル情況ニ在ルヲ以テ歩兵第十八師團ヨリ野戰砲兵一大隊ヲ交付セラルル筈。

3 龍騎兵聯隊ハ依然左側ノ掩護ヲ擔任シ「ラ・ロージュ」、「ラ・トラコンヌ」兩森林ノ搜索ヲ繼續スヘシ。

(1) Seu
(2) la Traconne

「シャ
ー
チ
ヨ
ン」
方
面
ノ
情
況

右命令軍隊ニ到著スルニ先チ「シャーチヨン」方面ニ於テハ情況危急ニ陥レリ。佛軍ハ午前十時三十分頃「ス」西方標高二〇二地點ヨリ歩兵第七十六聯隊第二大隊ニ對シ攻撃前進シ、一部ハ鐵道線路方面ヨリ其右側ニ迫レリ。此頃佛軍砲兵ノ城址附近ニ對スル砲擊益々猛烈トナリシヲ以テ城址西南十字路附近ノ機關銃ハ危害ヲ避ケテ「シャーチヨン」方向ニ前進シ、歩兵第七十六聯隊第三中隊亦佛軍砲兵ノ猛火ニ苦惱セシカ、南方「シャーチヨン」方面ニ於テ戰鬪熱鬧ノ聲ヲ聞クニ及ヒ主力ヲ以テ城址南方一吉ニ轉位セリ。「シャーチヨン」方面ニ於テハ敵ハ村落東南方ヨリモ陸續前進シ、大隊豫備タル第八中隊及機關銃一小隊ハ之ヲ逆襲シテ村落内ニ於テ激烈ナル戰鬪ヲ惹起シ、大隊主力ハ村落西端突角附近ヨリ側射セラレ情況益々困難トナレリ。

「ルツールヌル」南方地區ニ於テモ敵ノ砲擊猛烈ニシテ其歩兵ノ前進切迫ノ兆アリ、即チ歩兵第七十六聯隊長ハ第三大隊(第十一中隊欠)ヲ「ルツールヌル」東南側ニ展開セリ。斯クテ午前十一時頃歩兵第七十六聯隊ハ正面三吉ニ互ツテ

展開シ、聯隊長ハ豫備トシテ僅ニ步兵第十一中隊ヲ「ルツールヌルー」東南端ニ保持スルノミ。

歩兵第七
十五聯隊
前衛隊
援

正午頃前衛司令官タリシ步兵第三十三旅團長ハ「シャーチヨン」竝「ルツールヌルー」ノ情況共ニ急迫セル旨ノ報告ヲ受領セリ、恰モ步兵第七十五聯隊ノ二大隊（註、第三大隊ハ遠ク後方「サン・カンタン」ニ止マレリ）及機關銃中隊「ヴィヱイエー」ニ到着セシヲ以テ旅團長ハ直ニ第二大隊（砲兵支援ノ爲殘置セル第七中隊欠）ヲ「ルツールヌルー」ニ、第一、第二中隊及機關銃中隊ヲ「シャーチヨン」ニ派遣セリ。

(1) la Noue

此頃步兵第三十三旅團ノ危険ハ單ニ正面ノミニアラス、左側面亦有力ナル敵ノ脅威ヲ受クルニ至レリ。正午前後ニ於テ此危機ヲ傳ヘタル情報相次テ到着セリ。即チ一ハ「ボーヴェイ・ラ・ヌー」方向ニ前進セル工兵中隊一斥候ノ報告ニシテ、曰ク『多數ノ敵步兵及二中隊ヲ下ラサル敵砲兵同村ヲ占領シアリ』ト、他ハ龍騎兵聯隊ノ報告ニシテ、曰ク『聯隊ハ「ラ・ヌー」附近ニ進出セル敵ト交戦中ナリ、敵ノ數縱隊ハ「セザンヌ」街道ヲ越エ、砲兵數中隊ハ「ボーヴェイ」西北方地區及同地附近ノ林空地ニ陣地ヲ占領シアリ』ト。

斯ノ如クシテ步兵第三十三旅團ハ他旅團ノ戰鬪地域内ニ深く侵入シ、曩ノ師團命令ハ實行セラレサルニ至レリ、而シテ最モ不利ナリシハ兩聯隊共ニ「シャーチヨン」及「ルツールヌー」ナル二戰鬪地區ヲ形成シ兩者間ノ連絡熾烈ナル敵砲火ノ爲甚シク困難トナリ、兩聯隊長共ニ統一指揮不可能トナリシコトニ在リ。

獨軍砲兵ハ未タ何等有效ナル射撃ヲ爲サス、却テ午後零時三十分頃「ルツールヌルー」北端ニ在リシ獨軍歩兵ハ熾烈ナル友軍射撃ヲ受ケタリ、蓋シ標高二〇六地點ニ在リシ其砲兵ハ友軍歩兵トノ連絡上ノ缺陷ニ依リ、「ルツールヌルー」ニ向ヒ前進中ナル歩兵第七十五聯隊第二大隊ヲ最前線ニ在ル前衛歩兵ト誤認シ、之ヲ支援スル爲敵ノ占領セリト判斷セル同村落ニ對シ射撃ヲ指向セシニ因レリ、此射撃ニ禍セラレ歩兵第七十六聯隊長以下聯隊本部將校悉ク戰傷セリ。聽テ野戰砲兵第二十四聯隊第二大隊長ハ其誤解ナリシコトヲ知り、迅速且適切

ニ歩兵ヲ支援シ以テ曩ノ過誤ヲ償ハント欲シ、自ラ第五中隊ヲ率キ速歩ヲ以テ戰線ノ右翼ニ向ヒ前進セリ。該砲兵中隊ハ「エステルネイ」西方出口ヲ閉塞スル敵ノ彈幕ヲ通過シ「ルツールヌルー」北端ニ膚接シテ停止シ、此間大隊長及中隊長ハ駈歩ヲ以テ「ルツールヌルー」西側ニ沿ヒ陣地偵察ヲ續行セシカ、適當ノ陣地無ク又何等敵ヲ目視シ得サリシヲ以テ、再ヒ砲兵中隊ヲ率キテ「シャンギユイヨン」方向ニ歸還セリ。該砲兵大隊ハ爾後終日爲ス所無シ。(以下附圖第三參照)佛軍砲兵ハ獨軍ノ妨害ヲ受クルコト無ク「ルツールヌルー」、「シャーチヨン」及「エステルネイ」城址ニ在ル歩兵第七十六聯隊正面ニ終始砲撃ヲ繼續シ、「ルツールヌルー」附近ニ於テハ獨軍ノ損害續出シ、右翼隊(歩兵第七十六聯隊長負傷セシ爲歩兵第七十五聯隊長代ツテ「ルツールヌルー」方面ノ指揮ヲ執レリ)ノ豫備タル第七十五聯隊第八中隊ノ如キハ、數回位置ヲ變シ敵火ノ損害ヲ免レントセシニ係ラス、至短時間ニ八十名ヲ失ヘリ。「シャーチヨン」方面ニ於テモ「セザンヌ」街道ヨリ「モラン」谷地ニ下レル歩兵

第七十五聯隊第一大隊ノ二中隊ハ佛軍砲兵ノ射撃ヲ受ケ、次テ該隊ハ終始敵火ノ追躡ヲ受ケタリ。

「シャーチヨン」西側附近ニ於テハ戰況一層不利ナルモノアリ、同村西端ヨリスル佛軍歩兵ノ側射及「スー」方向ヨリスル敵砲兵ノ射撃ノ爲、歩兵第七十六聯隊第二大隊ノ主力(第六、第七中隊)ハ多大ノ損害ヲ生セシカ、(第六中隊ハ下士以下百八名)午後一時頃ニ至ツテハ「シャンギユイヨン」方面野砲兵大隊ノ誤射ヲ受ケ、遂ニ堪フルヲ得ス砲火ヲ避ケテ西北方ニ退却シ、第五中隊亦其渦中ニ陥リ、斯クテ「シャーチヨン」西方地區ノ獨軍ハ統制無キ敗殘部隊ト爲ツテ「エステルネイ」ニ向ヒ潰走セリ。「シャーチヨン」村落内ニ於テモ第八中隊、第三中隊ノ一小隊並機關銃二銃亦優勢ナル敵ノ包圍ヲ受ケテ同村ヲ撤退セシモ、恰モ途中第七十五聯隊第一大隊ノ半部ニ會シ、之ト共ニ再ヒ同村落内ニ侵入シ激烈ナル戰鬪ヲ惹起セリ。第七十六聯隊第三中隊ノ主力及「シャーチヨン」東北角ニ展開セシ第七十五聯隊ノ一中隊ハ村落ノ東方ニ於テ相協同シ、瓦燒場ヲ奪取シ一

「シャーチヨン」方面ノ危急

時左翼ノ危機ヲ救ヘリ。

紋上「シャーチヨン」附近ニ於テ戰鬪ノ行ハレツツアルノ間、「エステルネイ」東方ニ於テモ之ニ劣ラサル激戰アリ。既述ノ如ク正午頃同方面ニ於テハ有力ナル敵部隊「ロージュ・ア・ゴン」森林及「ボーヴェイ・ラ・ヌー」ヨリ進出シ攻撃ニ前進セントスルニ對シ、獨軍ハ步兵第七十五聯隊第三、第四中隊、同第七十六聯隊第三中隊ノ一小隊及師團工兵中隊ヲ有スルノミ。

步兵第三十四旅團ノ步兵第八十九聯隊ハ午前十一時三十分「シャンギユイヨン」ヲ出發シ、野戰砲兵第六十聯隊第一大隊之二次テ前進セリ。同大隊ハ「シャンギユイヨン」「エステルネイ」街道上野戰砲兵第二十四聯隊第二大隊陣地ノ東南鞍部ニ陣地ヲ占領セシモ、該陣地ヨリハ何等ノ目標ヲモ發見スルヲ得ス從テ射撃ヲ開始スルヲ得サリキ。

野戰砲兵第六十聯隊第二大隊（輕榴彈砲）ハ標高二〇六地點東方ニ陣地ヲ占領シ、第四、第五中隊ヲ以テ「ラ・ヌー」前方ニ位置セル敵砲兵大隊及同村落ヨリ前

(1) Gault

進スル敵步兵ヲ、第六中隊ヲ以テ先ツ「エステルネイ」東南ニ現出セル佛軍砲兵中隊ヲ射撃シ、次テ「ラ・ヌー」方向ノ砲兵ニ射撃ヲ轉向セリ、此第六中隊ノ射撃ハ「ラ・ヌー」附近ニ暴露シテ位置セシ敵砲兵大隊ニ對シ有效ナル成果ヲ收メ、一中隊ヲ以テ逐次其大部ヲ沈黙セシムルヲ得タリ。

午後二時頃步兵第八十九聯隊ハ「エステルネイ」「ヴィグイエ」間ノ谷地ニ到著シ、同第九十聯隊ハ「ゴール」森林方向師團左側ノ掩護ヲ確實ナラシムヘキ任務ヲ受領シ、「シャンギユイヨン」ヲ出テテ東方ニ斜行セリ。

步兵第三十四旅團支援ノ任務ヲ有セシ野戰砲兵第六十聯隊第一大隊ハ步兵第八十九聯隊ノ「ヴィグイエ」凹地ニ到著セルヲ知り、更ニ有利ニ任務ヲ達成セシカ爲、午後一時三十分頃主力第一、第三中隊ノ陣地ヲ「エステルネイ」停車場東方ニ變換セシモ、新陣地ハ視界一層不良ニシテ且佛軍砲兵ノ爲忽チ發見セラレ其射撃スル所トナレリ。

步兵第八十九聯隊長ハ聯隊ニ先行シ「エステルネイ」城址ニ到リ、步兵第三十三

旅團長ノ所在ヲ求メシモ之ヲ知ル者無ク、歩兵第七十五、第七十六聯隊長ノ位置モ亦共ニ不明ナリ、聯隊長ハ第七十五聯隊第一大隊長ヨリ、同大隊ノ半部カ「シャーチヨン」附近ニ於テ苦戰シ、一中隊(第三中隊)カ「エステルネイ」城址小林東端ニ展開シ、他ノ一中隊(第四中隊)カ彈藥補給ニ任シツツアル旨ヲ聞キ且自己ノ視察ニ依リ戰鬪激烈ニシテ敵砲兵カ壓倒的優勢ヲ占メ、又我單獨兵力前線ヨリ續々後退スルヲ知り、直ニ聯隊ヲ城址方面ニ加入スルニ決シ第二大隊ヲシテ先ツ「セザンヌ」街道ノ線迄前進シ絶對ニ該線ヲ保持セシメ、第一大隊ヲシテ城址小林北縁ニ向ヒ前進セシメ、第二大隊ヲシテ聯隊ノ左翼後ニ位置セシム。

第二大隊ハ地形ヲ利用シ所命ノ街道ニ向ヒシモ、同所ニ到ルヤ敵砲兵ノ射撃ヲ受ケタルヲ以テ、之ヲ避クル爲第一線ヲ以テ鐵道線西側「モラン」河谷ニ下レリ。第一大隊城址小林北端ニ達スルヤ、聯隊命令ニ依リ續イテ「シャーチヨン」方向ニ前進ヲ命セラレ、第一中隊ヲ城址小林ニ止メ爾他ヲ以テ南方ニ前進ヲ繼續セ

リ、小林及附近通過ニ際シ敵砲火ヲ蒙リ多大ノ損害ヲ生シ恰モ敵兵「ラ・ロージュ」森林ヨリ進出スルニ會ヒシヲ以テ大隊主力ハ左方ニ斜行シ、各中隊ハ小林西南隅角ニ火線ヲ構成シテ之ニ對セリ、該敵ハ刻々増大セシヲ以テ大隊長ハ當時「シャーチヨン」戰場ヨリ歸還セル工兵中隊(中隊ハ「シャーチヨン」戰場救援ノ爲南進シ次テ歸途ニ在リ)竝左翼後ニ敵砲火ヲ避ケアリシ歩兵第七十五聯隊第三中隊(第八十九聯隊第一中隊ノ主力亦同地ニ在リ)ニ救援ヲ請求セリ。

午後五時三十分「ラ・ロージュ」森林北縁ノ全正面ヨリ佛軍ノ攻撃起リ、特ニ小林東縁ニ對シ包圍ヲ企圖スルモノノ如シ、恰モ善シ工兵中隊ハ敵ニ認メラルルコト無ク其左側ヲ急襲シ、第七十五聯隊第三中隊亦敵ノ右側ニ向ヒ攻撃シ、佛軍兩翼ノ前進ヲ阻止若ハ之ヲ擊退スルヲ得シモ、其中央部ハ依然優勢ヲ持シテ獨軍ヲ壓倒セリ。

是ヨリ先歩兵第七十六聯隊長ハ此方面戰況ノ急ヲ察シ、一タヒ「エステルネイ」方面ニ轉位セル(蓋シ佛軍砲火ヲ避ケテ轉位セルモノナランカ)第三大隊ヲ招

致セシカ、今ヤ之ヲ城址小林ノ北方地區ニ展開シ逆襲ヲ遂行セシム。此逆襲ハ成功シ敵ハ「ラ・ロージュ」森林内ニ逃走セリ。

註、第一大隊ノ死傷下士以下二〇〇、第二大隊ノ死傷將校以下一八五

既述ノ如ク歩兵第九十聯隊ハ「ラ・ヌー」方向ニ對シ師團ノ左側ヲ掩護スヘキ任務ヲ受ケ、午後三時三十分標高一八四地點西北側ヨリ「ゴール」森林南縁ニ互リ概シテ「エステルネイ」「モンミライユ」鐵道線路ニ沿ヒ展開セリ。

歩兵第八十四聯隊
第一大隊
ノ戰鬥

第十八師團ノ歩兵第八十四聯隊第一大隊ハ元來「シャンギユイヨン」西南方ニ位置セル同師團砲兵ノ左側ヲ掩護スヘキ任務ヲ有セシモ地圖ヲ有セス、且正確ナル情報ヲ得サリシ爲右砲兵ノ所在ヲ發見スル能ハス、「シャンギユイヨン」南方第十七師團砲兵ノ後方地區ヲ經テ午後四時頃「ゴール」森林南方林縁ニ達シ、歩兵第九十聯隊ノ左翼後ニ兵力ヲ集結セリ。大隊長ハ歩兵第九十聯隊長ヨリ刻下ノ情況ヲ承知シ且「ラ・ヌー」附近ニ敵砲兵數中隊アルヲ知り、敵ノ右翼ヲ包圍シ該佛軍砲兵ヲ奪取センコトヲ企圖シ、獨力⁽¹⁾「レルミット」ヲ經テ東南方ニ前進セ

(1) l' Errière

シカ蔭蔽地ニ於テ優勢ナル敵ト遭遇シ大損害(大隊長以下二〇〇名)ヲ受ケ潰亂シテ「ゴール」森林方向ニ退却セリ。

四、戰鬥ノ終局

薄暮迫ル頃歩兵第十三師團ノ野戰砲兵二大隊(第二十二聯隊第一大隊及第五十八聯隊第一大隊)ハ第七軍團長ノ命令ニ依リ歩兵第十七師團救援ノ爲來著シ「シャンギユイヨン」西南端及同村南方約二吉附近ニ布陣セシモ、戰場各方面共歩兵獨力ヲ以テ既ニ戰鬥ノ決ヲ遂ケタルヲ以テ兩大隊トモ射撃ヲ行ハス、午後八時ニ至リ日全ク没セリ。此日獨軍ハ「シャーチヨン」ヲ放棄シ、第一線ヲ以テ「ルツールヌルー」西南方一吉ヨリ「ルツールヌルー」東側ヲ經テ「セザンヌ」街道ニ沿フ線ヲ占領シ、各隊ハ夫々其現在地附近ニ於テ隊伍ヲ整頓セリ。

師團ニ對セシ敵ハ佛第十軍團(フランシエー・デスブレイ)將軍ノ指揮スル第五軍ニ屬ス)ニシテ午前六時「ラ・フォレスチエール」附近出發「モンミライユ」ヲ目標トシテ前進シ其前哨線附近ニ展開シ、第一師團ヲ以テ「シャーチヨン」以西ノ

獨軍ニ當リ、第二師團ヲ以テ「ロージユ・ア・ゴン」森林及其北側ヨリ獨軍ノ左翼側ニ向ヒ攻撃シ、激戰ヲ演セシカ結局斷然タル成果ヲ收ムルヲ得ス、夕刻「シャー・チヨン」レ・ゼッサール」ノ線ヲ保持シテ近ク獨軍ト相對セリ。

五、本戰鬪ニ關スル觀察

1 敵ト接觸シ若ハ之ト戰鬪ヲ開始スルノ機ニ方リ發生スヘキ戰鬪カ果シテ遭遇戰ナリヤ、又遭遇戰ナリトセハ敵軍戰鬪準備進捗ノ度如何等ヲ的確ニ判斷スルハ實際問題トシテハ決シテ容易ナルモノニアラス、蓋シ地上搜索ノ成果ハ平時演習ニ比シ一層不十分ナルヲ免ルル能ハスシテ判斷ノ爲十分ナル資料ヲ齎サス、而モ實戰場裡ノ敵ハ凡ユル手段ヲ盡シテ行動ノ遮蔽ニ努ムルカ故ニ戰場ハ時々砲彈ノ炸裂スルヲ除ケハ屢々空漠ノ觀ヲ呈スルヲ以テナリ、此現象ハ敵軍ノ展開先ニスル場合ニ於テ特ニ多ク認メラルル傾向ナリ、本例ニ於ケル戰鬪開始亦敘上ノ光景ノ一端ヲ現示セルモノト謂フヘシ。而モ此時ニ於テ情況判斷ノ正鵠ヲ得、處置ノ迅速適切ナルコトハ極メテ緊要

ナルカ故ニ高級指揮官カ機ヲ失セス成シ得ル限り前方ニ位置シ其經驗ト眼識トニ依リ善處スルハ特ニ緊要トスル所ナリ、本例ニ於テ師團長カ午前八時前衛赴援ニ決セルハ可ナルモ、遠ク後方ニ位置シテ未タ戰況ノ一般ヲ判斷シ得サルニ、砲兵ノ用法ヲ全ク砲兵指揮官ニ一任シテ戰鬪開始ヲ命シタルカ如キ、本隊先頭ノ聯隊ヲ前衛ノ右翼ニ使用シタルカ如キ、共ニ適當ト謂フヲ得ス、宜シク師團長自ラ砲兵指揮官其他ヲ帶同シテ前線ニ急行シ、現狀ニ應シテ企圖ヲ確立シ之ニ基キ的確ナル任務ヲ附與スヘキナリ。

2 佛軍砲兵カ壓倒的威力ヲ發揮シタルニ對シ獨軍砲兵ハ殆ト全ク無力ナリシカ爲、其歩兵ハ終日獨力ヲ以テ交戰シ行動壯烈勇敢ナリシニ拘ラス多大ノ損害ヲ蒙リ斷然タル戰鬪成果ヲ獲得スルヲ得サリキ、殊ニ其一部ニ於テハ敵砲火ノ損害ヲ免レンカ爲其掃射地域外ニ位置ヲ移動スルモノ頻出シ、甚シキハ任地ヲ離ルルモノサヘ生スルニ至レリ、敵砲兵ノ跳梁斯ノ如ク甚シキニ於テハ單純ナル歩兵ニ對スル直接支援砲火ノミニテハ歩兵ノ進路上ニ於ケル

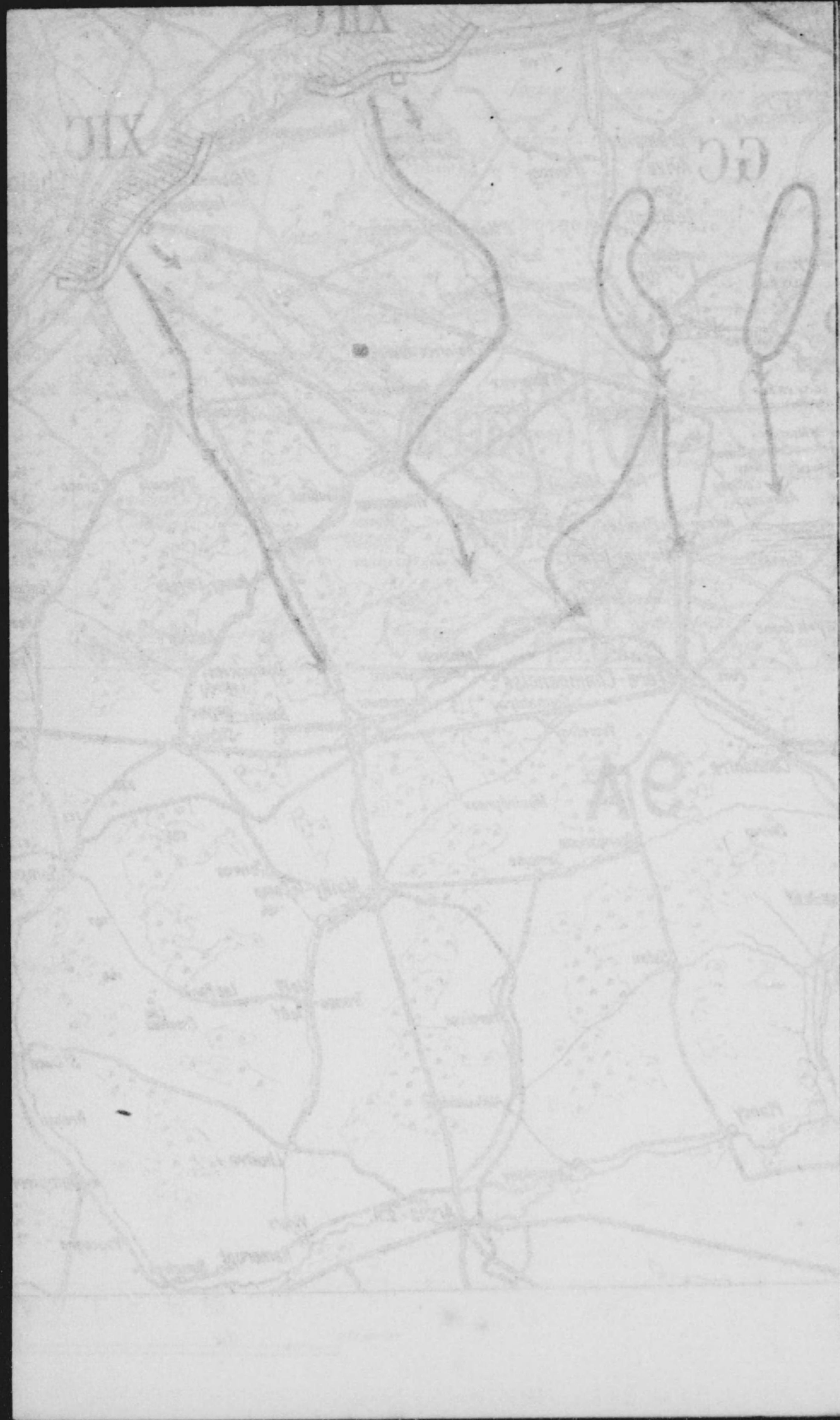
敵砲火ニ依ル障碍ヲ打破スルヲ得サルヘク、遭遇戦ノ情況ト雖モ敵砲兵制壓ノ必要アルヲ首肯シ得ヘシ。次ニ獨軍砲兵無力ノ原因如何ヲ考究スルニ第一ニ砲兵ノ位置後退ニ過キ（地形上某程度迄已ムヲ得サリシナラン）而モ遠隔觀測ニ依ル射撃ノ技術不十分ナリシヲ掲ケサルヘカラス、次ニ所要ノ步兵指揮官ノ許ニ連絡者ヲ派遣スルノ要最モ緊要ナリシニ拘ラス、此著意乏シク（假リニ此著意アリタリトスルモ恐ラク實際上ノ勤務ニ缺陷アリシ爲）殆ト何等ノ支援ヲモ步兵ニ與フルヲ得ス、而モ友軍ヲ誤射シテ重大ナル不利ヲ招致セシ如キ大部ノ砲兵ヲ擧ケテ無用ノ長物タルヤノ感ヲ起サシメタリ。

更ニ獨軍砲兵部隊ノ戰闘加入ハ概シテ不準備ニシテ事前ニ於テ觀測、連絡、地形ノ關係等ヲ深く考慮セサリシ過失ヲ認メサルヲ得ス、例ヘハ漫然陣地ヲ變換シ初メテ視界無キヲ覺知セシ如キ、或ハ陣地變換行動ヲ起シタル後適當ナル陣地ヲ求ムルヲ得ス、敵火ノ掃射地域ヲ再ヒ舊陣地ニ歸還シタルカ如キ愚舉ヲ演セリ。近時ノ戰闘ニ於テハ縦ヒ遭遇戦ノ情況ト雖モ相當戰闘加入ヲ準

備シ『行キ當リバツタリ』主義ニ陥リ若ハ拙速主義ニ偏スルコト無キヲ必要トス、彼ノ「ラ・ヌー」附近ニ暴露布陣セシ佛軍ノ一砲兵大隊カ短時間ニ獨軍砲兵ニ依リ制壓セラレタルモ亦此點ニ關スル教訓ノ一タルヲ失ハサルナリ。

3 遭遇戦ニ於テモ努メテ建制ヲ保持シ以テ團隊固有ノ能力ヲ發揮セシムルコト必要ナリ、本戰闘ハ逐次加入ノ戰況ナリシヲ以テ若干部隊ノ混淆ハ避クル能ハサル所ナランモ、歩兵旅團ノ兩聯隊カ重疊シテ戰闘ニ加入シ而モ兩聯隊トモ廣大ナル正面ニ兵力ヲ散逸セシ結果ハ何レニモ團結ノ存在ヲ認メサルニ至リ、加フルニ上級指揮官亦方面毎ニ指揮系統ヲ整理スルノ措置ニ出テサリシヲ以テ、戰闘ニ於ケル實際上ノ活動者ハ各步兵大隊長ナルヤノ觀ヲ呈セリ、是レ獨軍攻撃不振ノ有力ナル一原因ナリトス。斯ノ如キ步兵團結ノ混亂カ砲兵ノ協力上ニモ不利ノ影響ヲ及ホシタルヘキハ勿論ナリトス。

尙近時ノ戰闘ニ於テハ敵火ノ掃射威力大ナルヲ以テ命令、通報ノ傳達並指揮官位置ノ認識等カ頗ル困難トナリタルコト亦本戰闘ノ經過ニ鑑ミ首肯スル



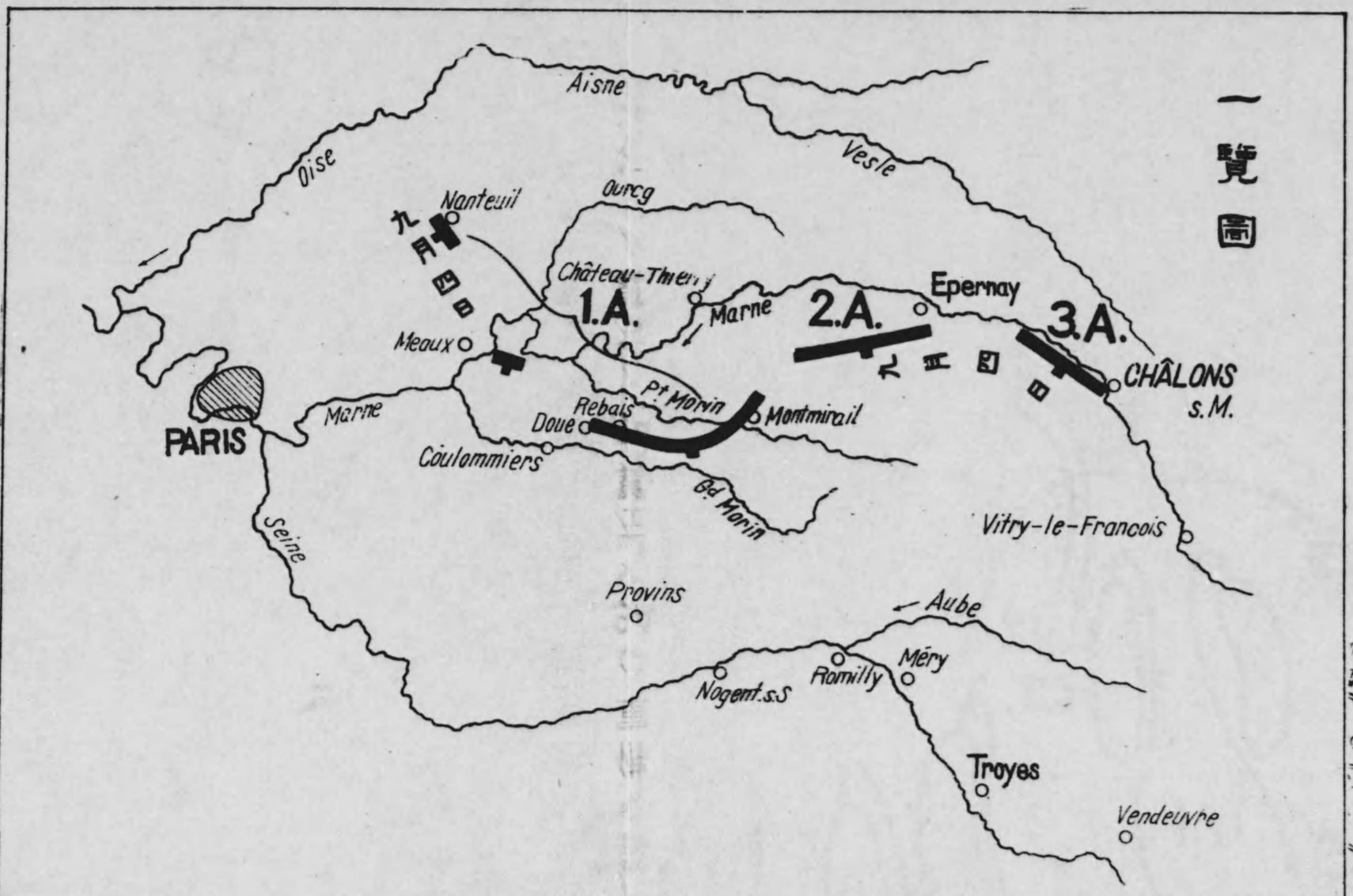
ヲ得ヘシ。
第二款 戦例

圖要勢態軍翼右獨方地岸南又ルマ

(日六月九至乃日四月九)



第七
附圖
第一



一覽圖

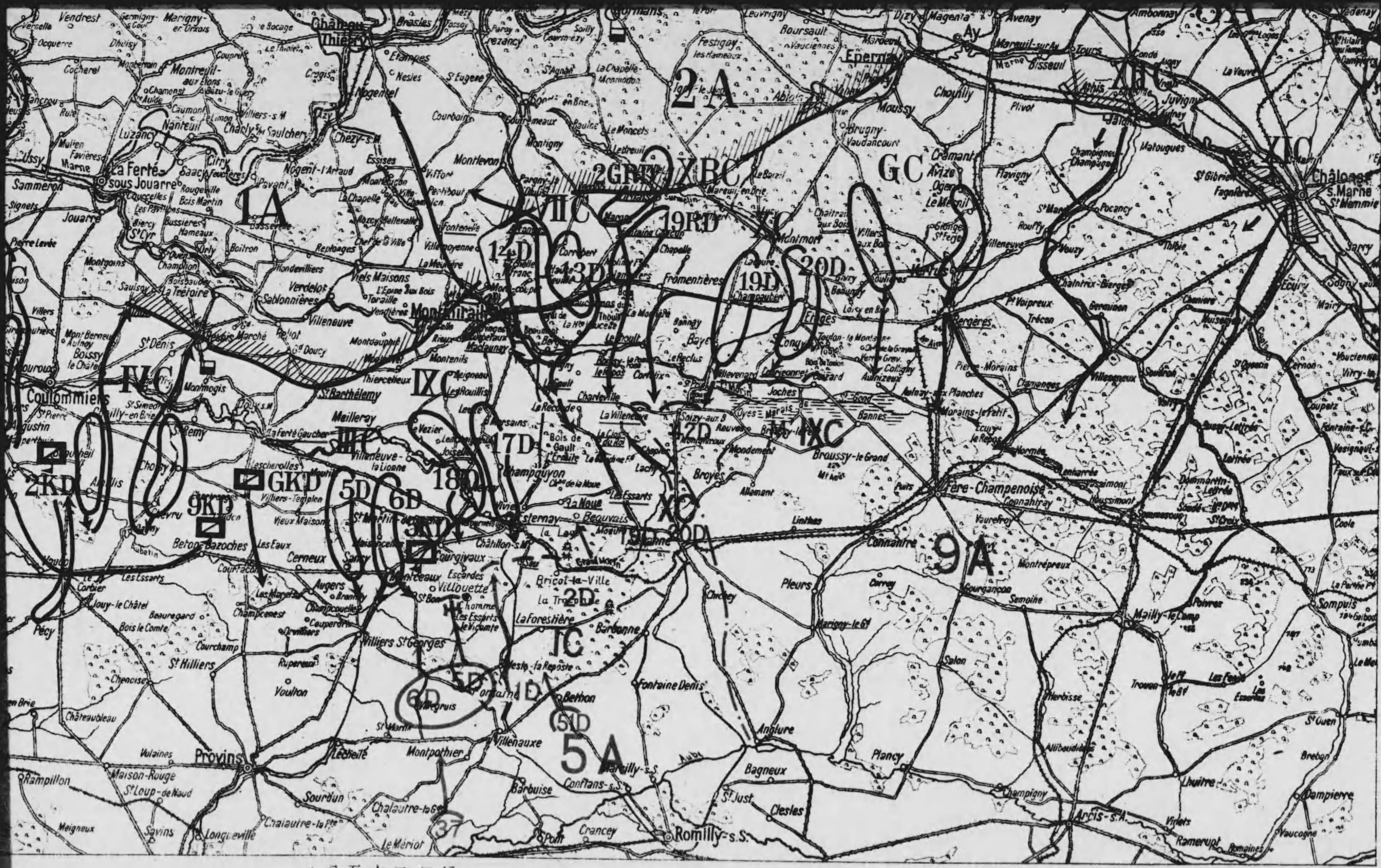
圖要勢態軍翼右獨方地岸南

(日六月九至乃日四月九)

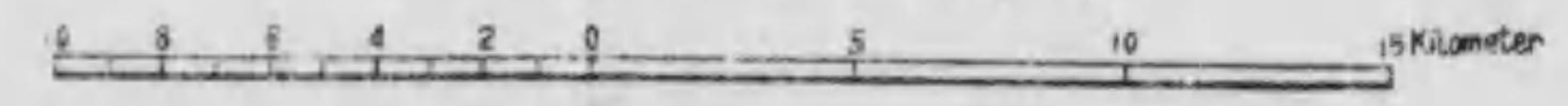


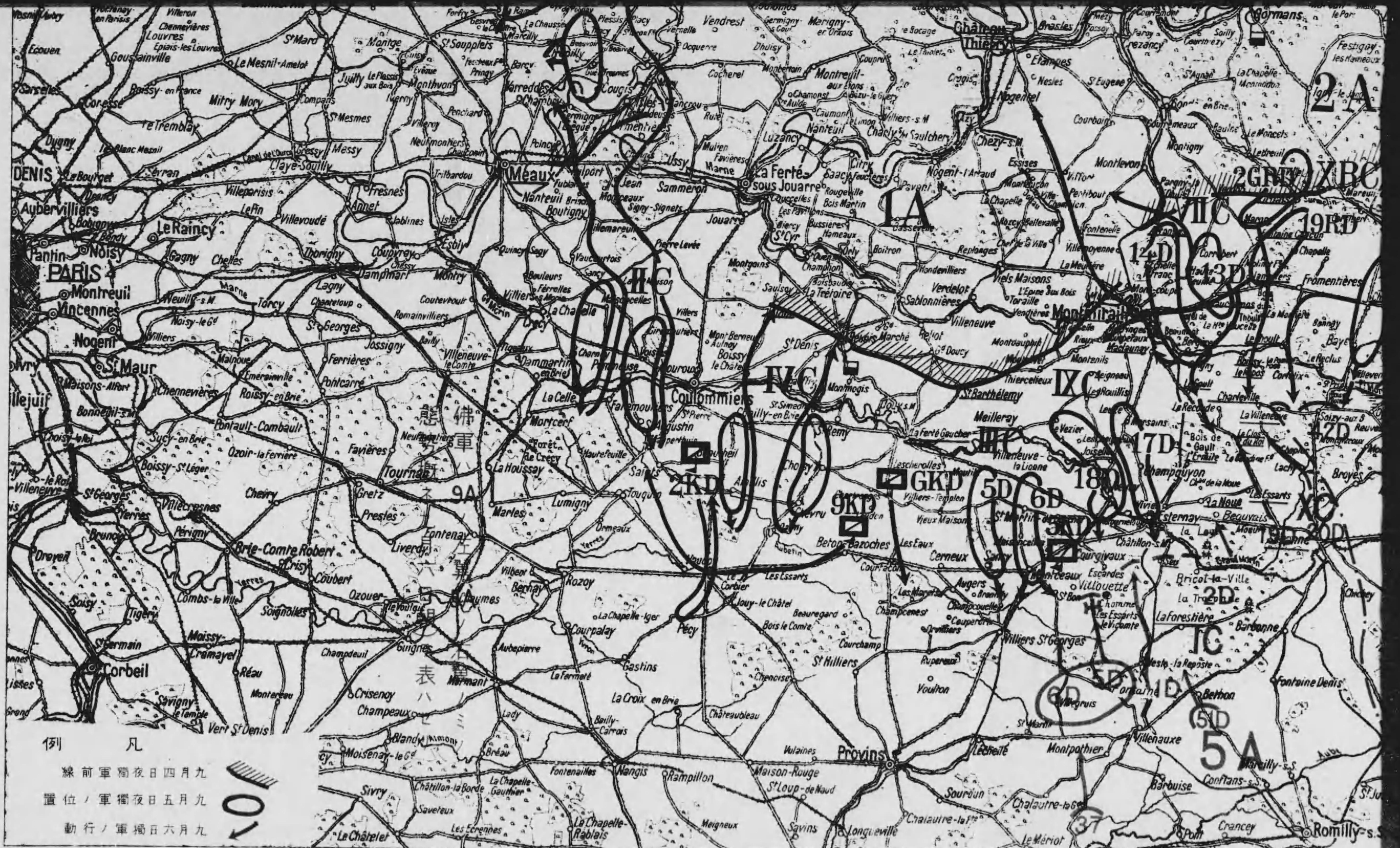
300,000





一 / 分万十三尺梯



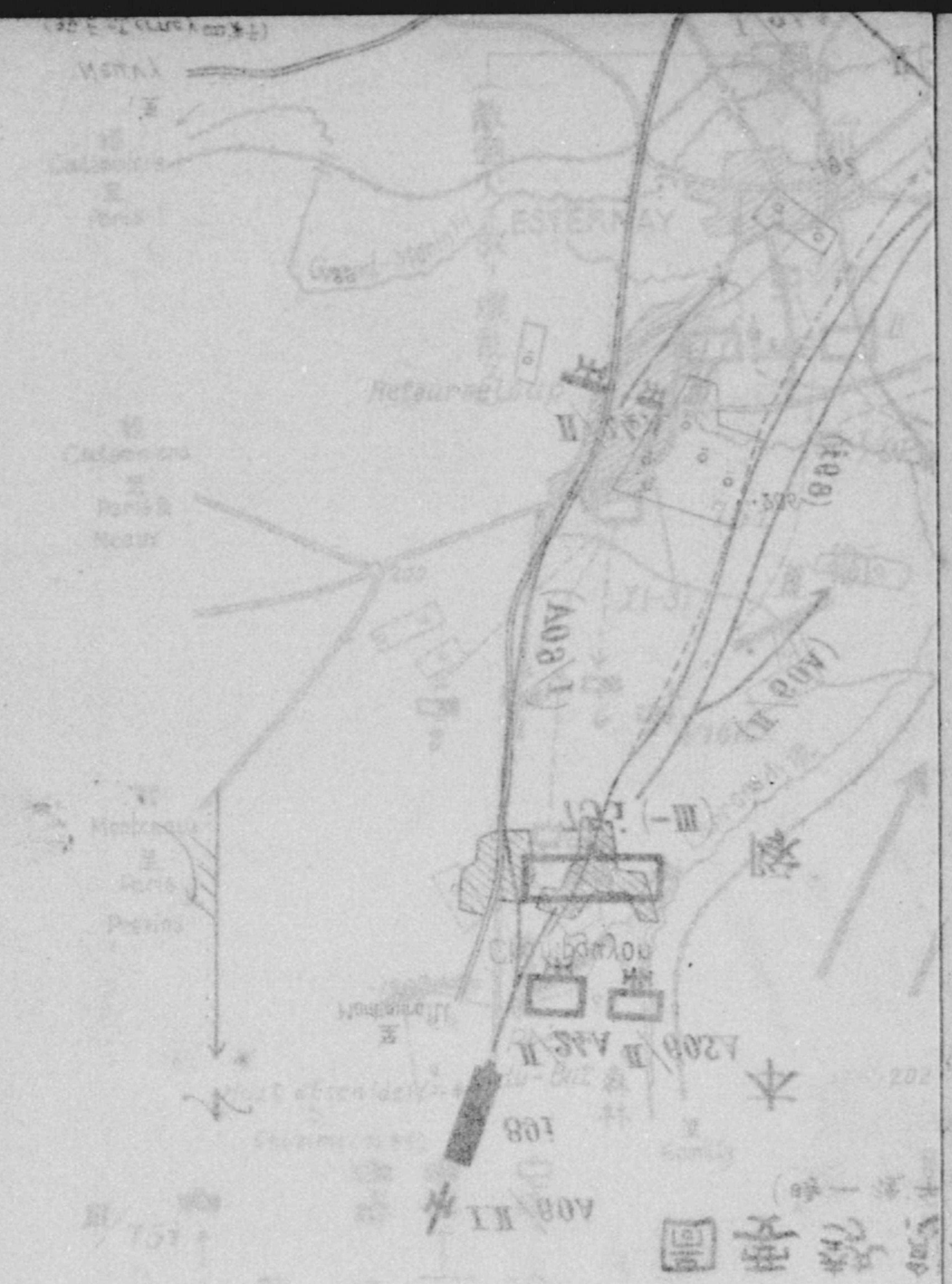


例 凡
 線前軍獨夜日四月九
 置位ノ軍獨夜日五月九
 動行ノ軍獨日六月九

100000

一ノ分万十三尺梯





軍事地圖

勢並
時半ノ行動
心勢並
夜一時ノ行動
二時ノ態勢

止シアリ

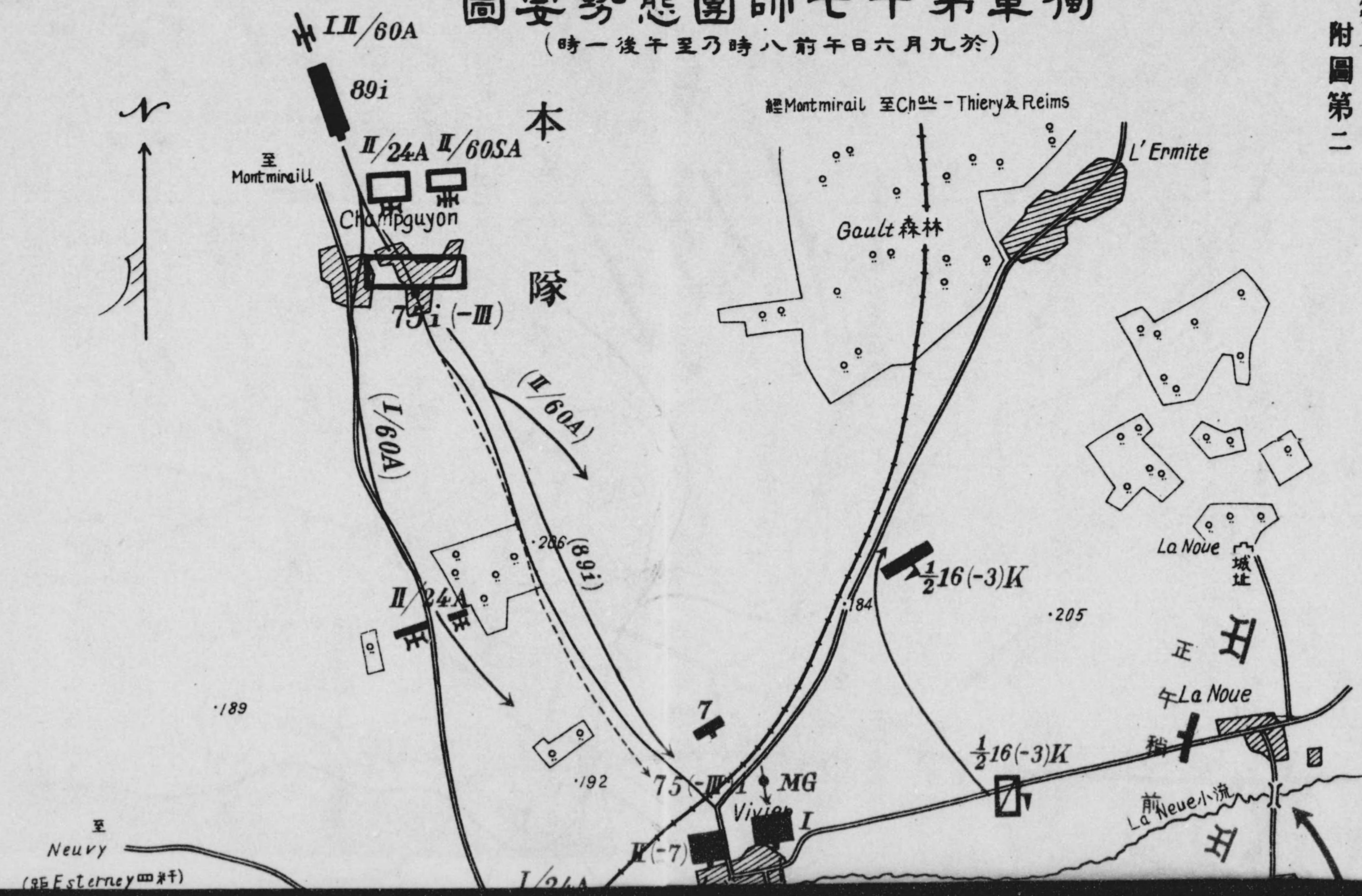
佛軍

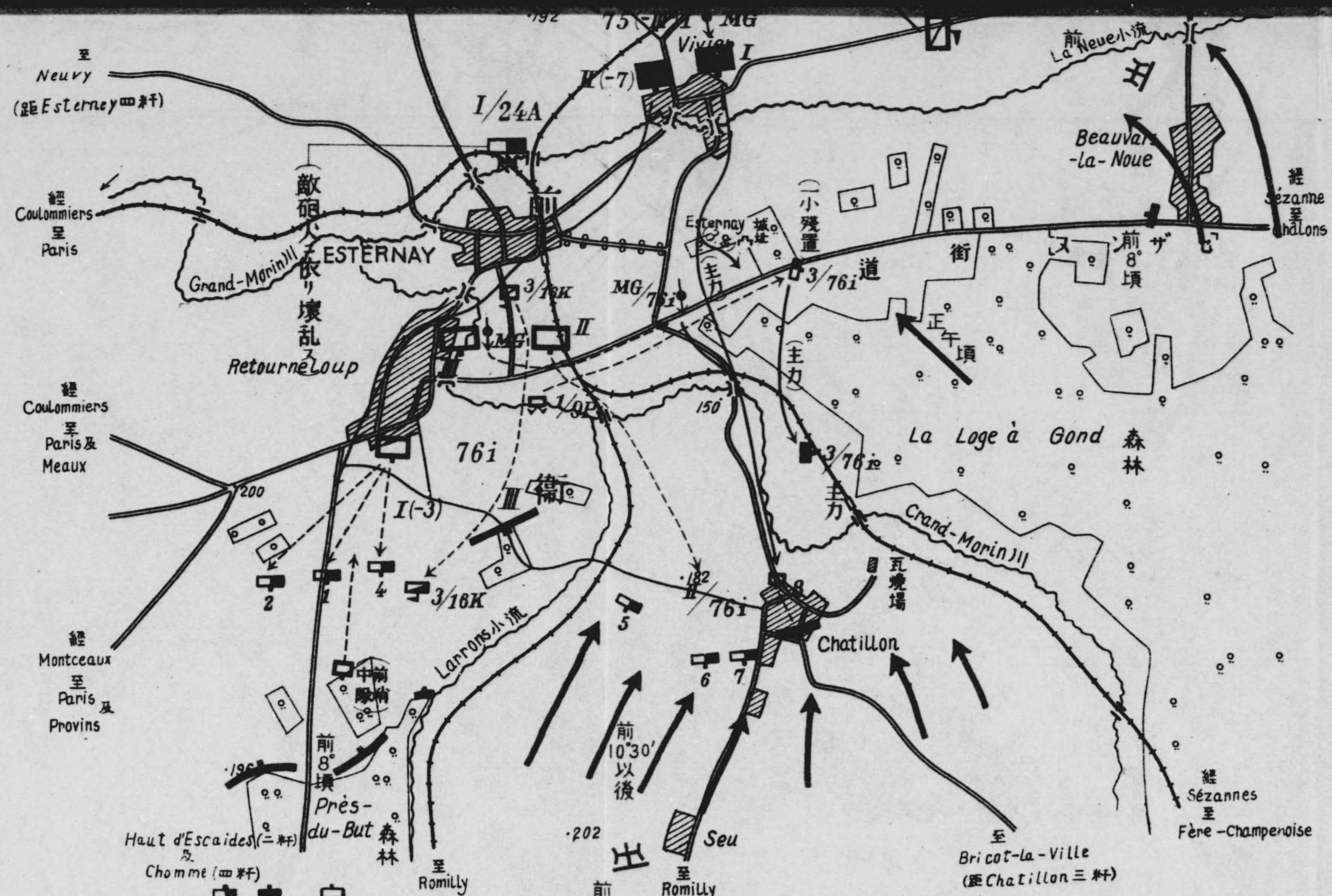
軍獨

獨軍第七十師態勢要圖

(於九月六日午前八時至午後一時)

第七
附圖第二





III/75i
 ハッサン・カントシニ駐止シアリ

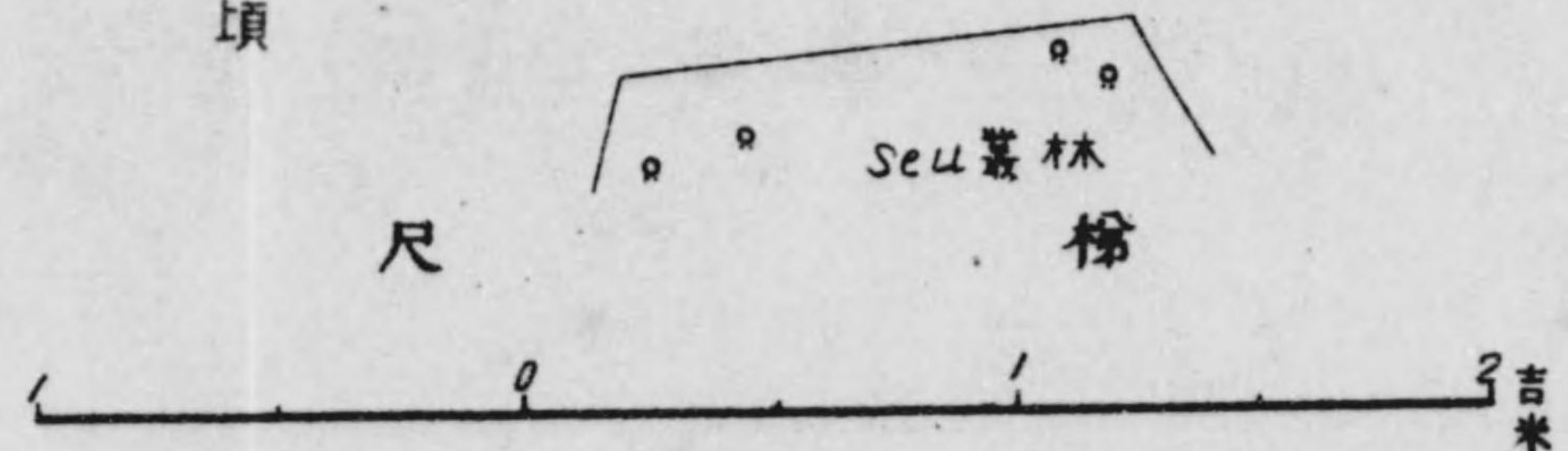
註

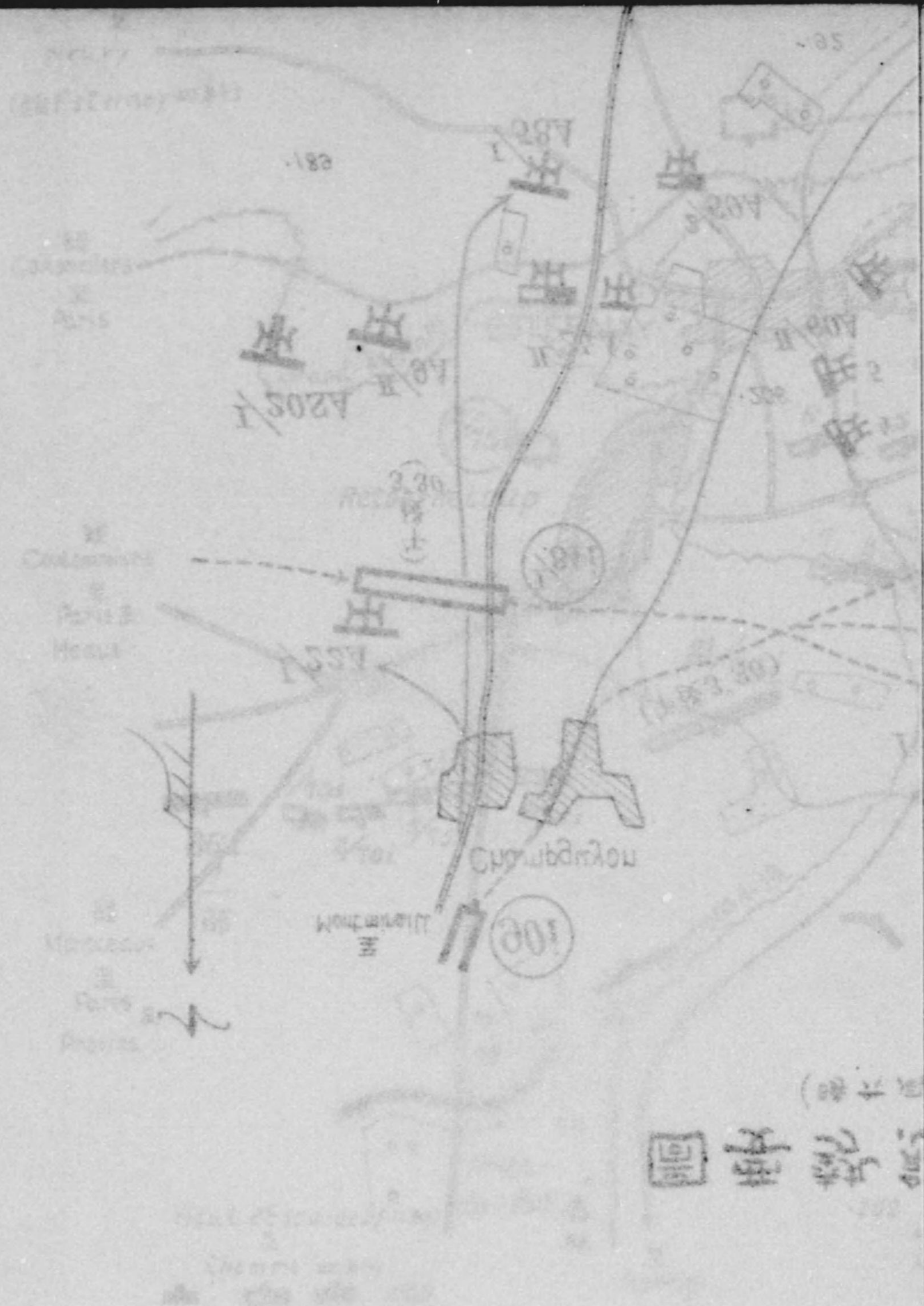
凡例

□	午前八時頃 / 態勢並
□	午前八時半乃至九時半 / 行動
□	午前十一時頃 / 態勢並
□	午前十一時乃至午後一時 / 行動
□	午前九時半乃至午後一時 / 態勢

佛軍

軍獨





（部本圖）
 圖 軍 勢 圖

凡 例

- ↑ (dashed line) 午後二時前後、態勢並
- ↑ (solid line) 午後二時乃至四時、行動
- ↑ (solid line) 午後六時前後、態勢及行動
- ↑ (dashed line) 午後二時乃至六時、位置

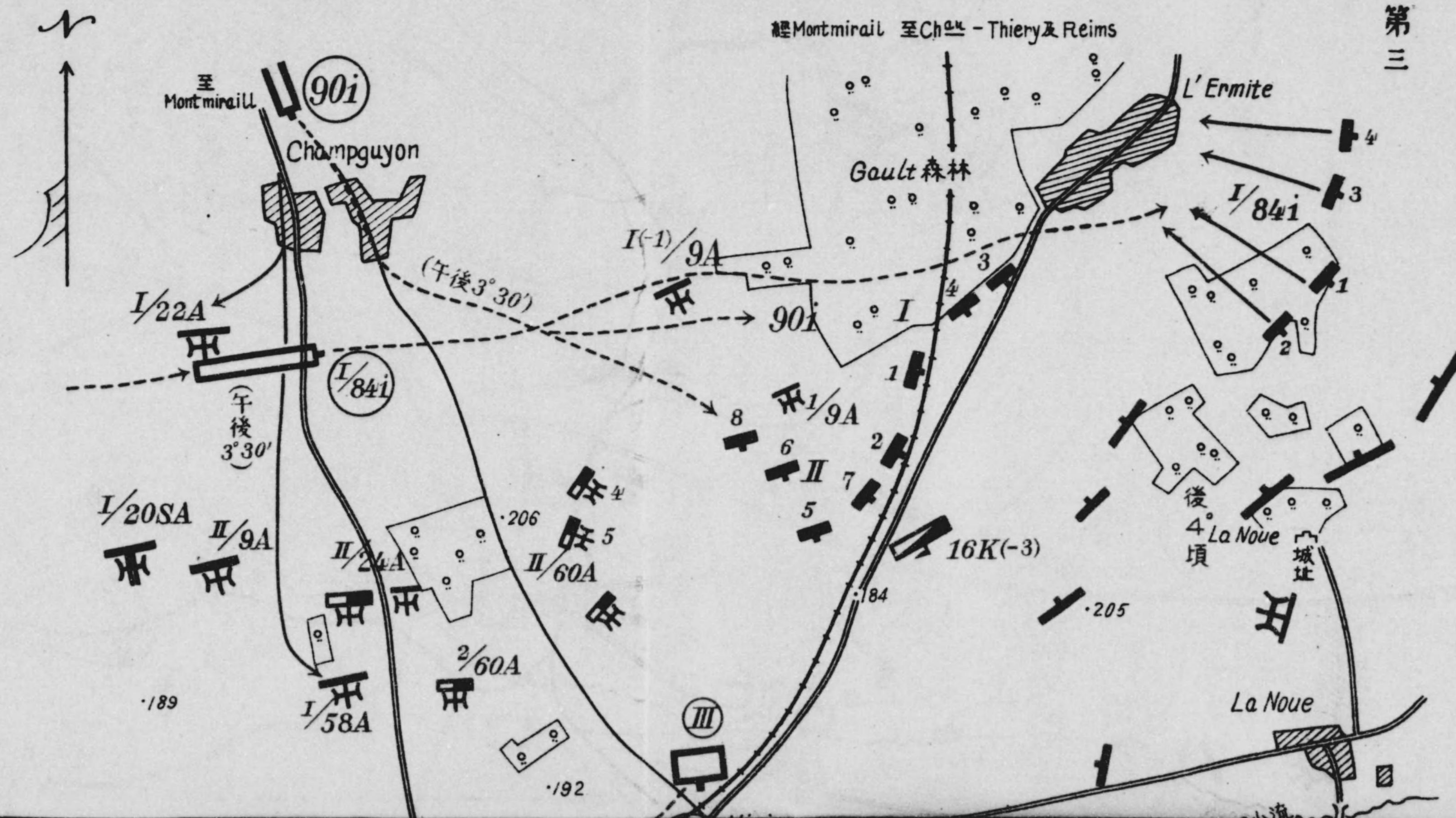
軍 獨

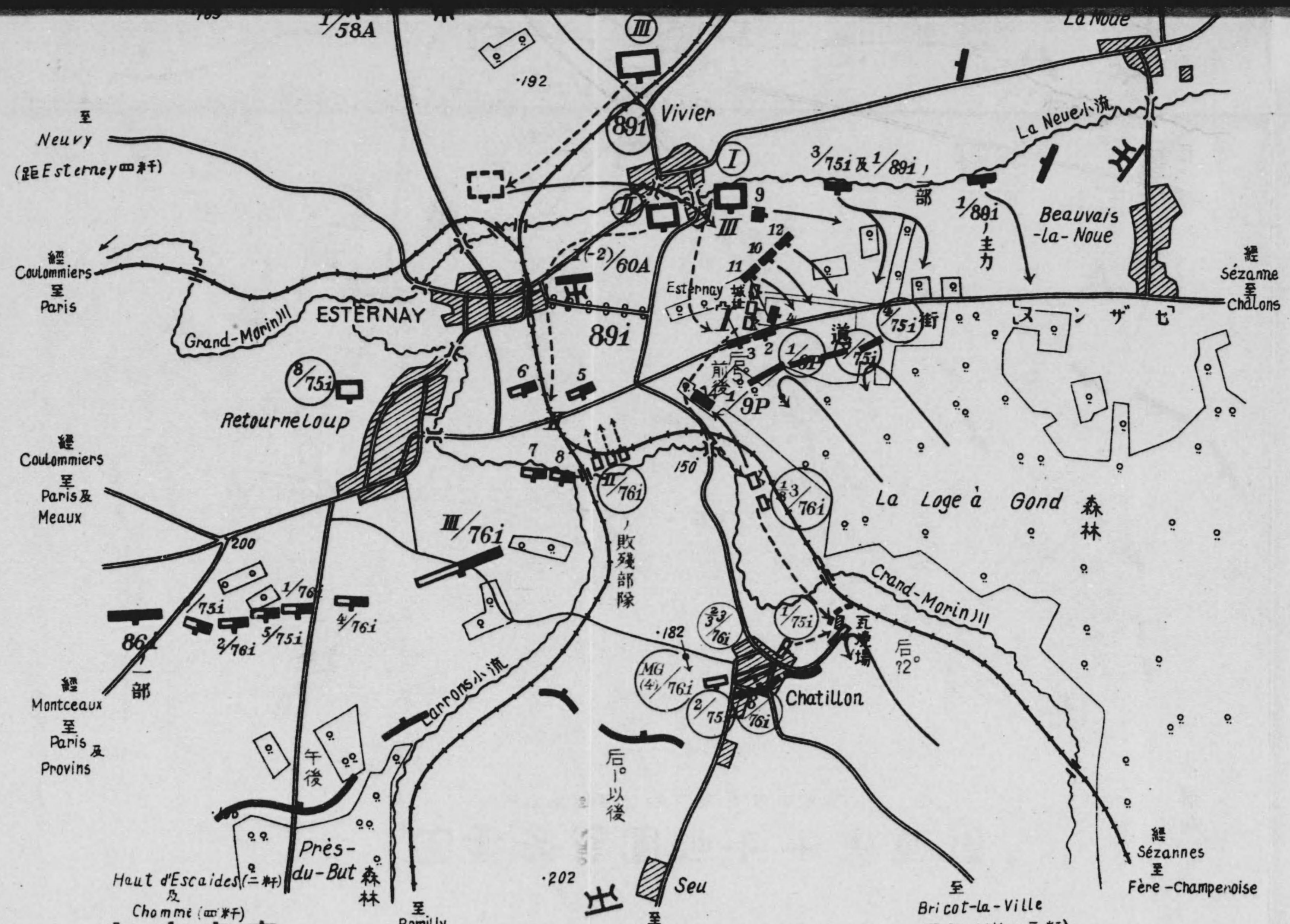
佛 軍

獨軍第七十師團態勢要圖

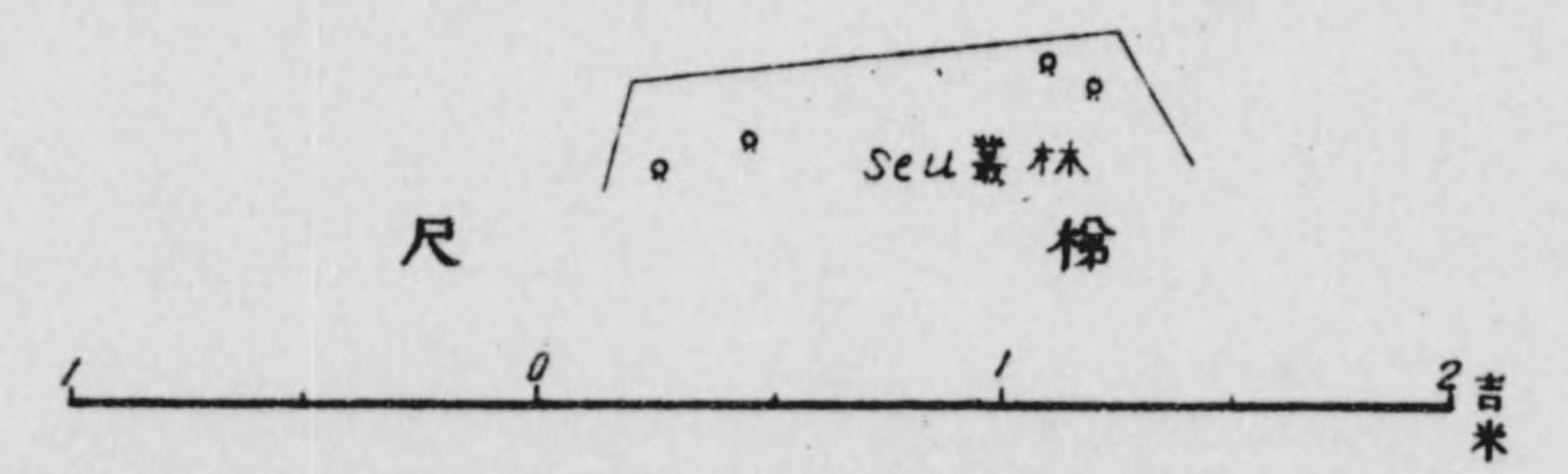
(於九月六日午後二時至六時)

第七
附圖第三





佛軍
 軍獨
 凡例
 午後二時前後、態勢並
 午後六時前後、態勢及行動
 午後二時乃至四時、行動
 午後二時乃至六時、位置
 佛軍
 軍獨



- (1) Vauchamps
- (2) Montmirail
- (3) Janvillers
- (4) Boissy-le Repos
- (5) le Gault

戰例第七ニ同シ。

一、一般情況ノ梗概

二、接觸及展開準備

1 接觸(附圖第一、第二參照)

豫備第十軍團ハ軍命令ニ基キ九月六日早朝宿營地出發、豫備第十九師團ヲ以テ⁽¹⁾「ヴォーシャン」ヲ經テ⁽²⁾「モンミライユ」ニ、近衛豫備第二師團ヲ以テ⁽³⁾「ジャンヴィレー」⁽⁴⁾、「ボアッシイ・ル・ルボー」ヲ經テ⁽⁵⁾「ル・ゴール」ニ向ヒ前進運動ヲ起セリ。

註、第七軍團ノ部隊ハ午前八時迄ニ豫備第十九師團ノ進路ヲ開放セリ。

近衛豫備第二師團長ハ六日朝出發ニ際シ軍團ノ右方ニ於テ第七軍團カ「モンミライユ」北方ニ位置スヘク、左方ニ於テ第十軍團カ其右縱隊ヲ以テ午前八

第八

一九一四年「マルヌ」會戰ニ於ケル獨近衛豫備第二師

團ノ「シャルルヴィル」附近遭遇戰

時⁽¹⁾「ル・ツール」出發、⁽²⁾「シャルルヴィル」ヲ經テ前進スヘキヲ知レリ、然レトモ第一軍ノ左翼タル第九軍團カ既ニ⁽³⁾「エステルネイ」附近迄進出シアリトハ豫想セサリシ所ナリキ。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (1) le Thoult | (5) la Villeneuve |
| (2) Charleville | (6) Corfeliix |
| (3) Esternay | (7) Pt. Morin |
| (4) Soizy aux Bois | (8) Fontaine-au Bron |

近衛豫備第二師團ノ前衛ハ午前八時三十分「ジャンヴィレー」南方十字路ニ達セリ、師團長歩兵大將男爵「フォン・ジュースキンド」ハ遙ニ東南方⁽⁴⁾「ゾアジイ・オー・ボア」、⁽⁵⁾「ラ・ヴィルヌーヴ」、⁽⁶⁾「コルフエリックス」間ト覺シキ地域ニ當ツテ殷々タル砲聲ヲ聞キ前衛ノ許ニ車行スルヤ、⁽⁷⁾「ボアツシイル・ル・ポー」南方高地ニ敵兵アル旨ノ報告ニ接セリ、乃チ情況ヲ判断スラク、「第十軍團ハ強大ナル敵ト衝突セルコト疑ナシ、熾盛ノ度ヲ加ヘツツアル砲聲ハ敵側ニ大砲兵ノ参加セルヲ示スモノナリ、斯ノ如キ情況ニ於テハ師團ノ正面ニ於テモ⁽⁷⁾「ブチー・モラン」南岸上ニ敵ノ大ナル抵抗ヲ豫期セサルヘカラス」ト、乃チ午前八時四十五分前衛ヲシテ其砲兵(豫備野戰砲兵第二十聯隊第一大隊)ヲ以テ⁽⁸⁾「フォン・テーヌ・オー・ブロン」東方標高二三四高地ニ陣地ヲ占領セシメ、豫備歩兵第九

- (1) la Roquetterie
(2) Bergères

十一聯隊(前衛ノ歩兵聯隊)ヲ以テ「フォン・テーヌ・オー・ブロン」「ル・ツール」道ノ南側附近ヲ占領シ右砲兵陣地ノ掩護ニ任セシメ、本隊ヲシテ先ツ⁽¹⁾「ラ・ロケットロイ」ニ向ヒ前進セシメ、情況及處置ヲ軍團長ニ報告スル所アリ。軍團長歩兵大將「フォン・エーベン」ハ午前九時「ヴォーシャン」ニ到着シ紋上近衛豫備第二師團長ノ報告ヲ受クルヤ、第十軍團ト對戰中ナル敵ノ西側ヲ壓シテ同軍團ノ前進ヲ容易ナラシメント欲シ、全軍團ヲ以テ直ニ⁽²⁾「ブチー・モラン」谷地ヲ越エ前進スルニ決シ、之カ爲豫備第十九師團ヲシテ其前衛ヲ「モンミライユ」西南高地上ニ止メ、本隊ヲ以テ⁽²⁾「ベルジェール」ニ向ヒ轉進セシメ近衛豫備第二師團ニ對シテハ同師團ニ屬セシ重砲二中隊ヲ成ルヘク速ニ使用スヘキヲ命セリ。

此間近衛豫備第二師團長ハ騎兵ノ報告ニ依リ左ノ諸情報ヲ知得セリ。

イ、第十軍團右縱隊ハ既ニ午前七時十五分「ル・ツール」附近ニ於テ「ブチー・モラン」ヲ渡河シタルモ、「コルフエリックス」南方ニ於テ優勢ナル敵ト衝

突シ之ヲ攻撃セリ。

ロ、「ボアツシイ・ル・ルポー」ノ橋梁ハ一部爆破セラレ一時的ニ車輛ノ通過不可能ナリ。

ハ、「ボアツシイ・ル・ルポー」南方高地ハ敵ニ依リ占領セラレアリ。(事實ト相違ス)

2 展開準備(附圖第二參照)

茲ニ於テ師團長ハ先ツ師團主力ヲ前衛ト齊頭面ニ展開準備ノ姿勢ヲ取ラシメ、「プチー・モラン」河谷ヲ經テ行フ攻撃ヲ準備スルニ決シ、午前九時十五分以後簡單ナル各別命令ヲ以テ重砲兵ノ前進並本隊歩兵ノ展開準備ヲ區處シ、次テ午前九時四十五分合同命令ヲ以テ左ノ如ク總括下達セリ。

一、「ラ・モルチェール」⁽¹⁾「トロスネイ」道及「フォンテーヌ・オー・ブロン」⁽²⁾「ル・ツール」道ノ交叉點ヨリ「トロスネイ」西北標高二〇〇高地ヲ經テ「ボアツシイ」ノ寺院ヲ連ヌル線ヲ差シ當リ師團前進ノ爲中央軸線ト定ム。

近衛豫備第二師團「プチー・モラン」北岸ニ展開ヲ準備ス

(1) la Mortière
(2) Trosnay

一、豫備歩兵第三十八旅團(豫備野戰砲兵第二十聯隊第二大隊ヲ屬ス)ハ右中央軸線ノ右方ニ展開ヲ準備ス。

二、豫備歩兵第二十六旅團(豫備野戰砲兵第二十聯隊第一大隊ヲ屬ス)ハ右中央軸線ノ左方ニ展開ヲ準備ス。

特ニ歩兵一聯隊ヲ師團豫備トシテ「ラ・モルチェール」西北方ニ位置セシム。

四、豫備徒歩砲兵第二聯隊第七、第八中隊ハ「フォンテーヌ・オー・ブロン」北方ニ於テ陣地占領、有利ナル目標ヲ發見セハ直ニ射撃開始。

此間前衛ハ敵ノ妨害ヲ受クルコト無ク所命ノ位置ヲ占領シ、本隊ノ諸隊亦敵重砲兵ノ散布射撃ヲ冒シテ展開準備ノ態勢ニ移轉中ナリ。

今ヤ第十軍團方面ニ於テハ砲戰益々猛烈ナルヲ聞クモ師團ノ正面ニ於テハ戰場依然空漠タルノ感アリテ砲兵隊ハ容易ニ目標ヲ發見スルヲ得ス、稍々久シウシテ初メテ「シャルルヴィル」西側ニ敵砲兵ヲ認め、午前十時四十分射撃

第八一九一四年九月「マルヌ」會戰ニ於ケル獨近衛豫備第二師團ノ「シャルルヴィル」附 一七七
近衛戰

ヲ開始スルヲ得タリ。

三、攻撃ノ實行

1 前進開始及「ブチー・モラン」ノ渡河（附圖第二參照）

攻撃命令
 (1) Thoult
 (2) la Pommerose
 (3) Soigny

師團長ハ「ツール」⁽¹⁾森林南端ニ在リテ全歩兵ノ準備位置到著ヲ待チ午前十一時三十分攻撃命令ヲ下達セリ。此命令ニ於テハ師團ノ攻撃目標ヲ「ラ・ヴィルヌーヴ」ト指示シ、兩旅團間ノ地境ヲ標高二〇〇高地「ラ・ボンムローズ」ノ線ニ變更セリ、蓋シ左方隣接第十九師團ヨリ該師團主力カ「ラ・ヴィルヌーヴ」⁽²⁾「ソアジイ」ノ線ノ北方一吉半ニ於テ猛烈ナル敵火中ニ膠著セル旨ノ通報ヲ齎ラシタルニ因レリ。

他方右方隣接豫備第十九師團ヨリモ通報アリ、曰ク「午前十時四十分師團ノ前面ニ敵兵無シ、師團ハ歩兵六大隊、砲兵五中隊ヲ以テ「ベルジェール」ヲ經テ「ル・ゴール」⁽³⁾「ソアニイ」ノ線ニ向ヒ前進ヲ企圖ス」ト、當時近衛豫備第二師團ノ正面ニ於テハ依然敵ニ關シ何等ノ情報ヲ得ス。

(1) Fe. de Meuse

師團ノ第一線ハ正午稍過キ「ブチー・モラン」南岸ニ向ヒ攻撃前進ヲ開始セリ、同小流ハ河幅四乃至六米、水深一米半内外、橋梁ハ「ボアッシイ・ル・ポ」及「ル・ツール」ニ永久橋トロスネイ南方ニ一ノ徒歩橋アルノミ。敵ノ飛行機ハ諸隊ノ上空ヲ徘徊シ師團ノ渡河ヲ監視スルモノノ如シ、而モ渡河ハ何等ノ妨害ヲ受クルコト無ク遂行スルヲ得タリ。

中央軸線ノ右方ニ於テ豫備歩兵第三十八旅團ハ豫備歩兵第九十一聯隊ヲ右、豫備獵兵第十大隊ヲ左第一線トシ豫備歩兵第七十七聯隊ヲ旅團豫備トシ、補修セル「ボアッシイ」橋梁及附近ノ徒歩點ヨリ渡河シ豫備歩兵第九十一聯隊ヲ以テ「ボアッシイ」南側ニ、獵兵大隊ヲ以テ「ラ・ボンムローズ」附近ニ、歩兵第七十七聯隊ヲ以テ「ボアッシイ」附近ニ集結セリ。

豫備槍騎兵第二聯隊ハ第十九師團ト連絡ヲ維持スヘキ任務ヲ授ケラレ、⁽¹⁾フェルム・ド・ムーズ」徒歩點ヲ經テ南岸ニ進出セリ。

中央軸線ノ左方ニ於テ豫備歩兵第二十六旅團（豫備歩兵第五十五聯隊欠）ハ

第八 一九一四年九月「マルヌ」會戰ニ於ケル近衛豫備第二師團ノ「シャルルダイル」兩 一七九
 近遭遇戰

「トロスネイ」徒步橋及其附近ヲ經、師團豫備之ニ續進シ前者ハ「ラ・ボンムロ
ーズ」東北斜面及標高二〇八高地ノ北方ニ於テ兵力ヲ集結セリ。

砲兵ハ野戰砲兵ノ第二大隊ヲ以テ暫ク其待機陣地ニ在ツテ歩兵ノ渡河ヲ掩
護セシメ、第一大隊ハ「ル・ツール」經由、主力ヲ以テ「ラ・ボンムローズ」東北標
高二〇八高地ニ陣地ヲ占領シ、次テ第二大隊ヲ以テ「ラ・シャルモット」附近ニ
遮蔽陣地ヲ占領セリ、重砲兵隊ハ工兵隊ノ援助ヲ以テ速ニ「ボアッシー」附近
ニ轉進スヘキ命ヲ受ケタリ。

午後一時三十分左記要旨ノ軍團命令到著セリ。(附圖第一參照)

軍團命令
(5) le Clos-de Roi
(6) la Noue

(1) la Charmotte
(2) l'Ermitte
(3) Vivier
(4) Maclaunay

一、豫備第十九師團ハ第九軍團ノ左翼ニ戰鬪加入スヘキ目的ヲ以テ主力ヲ

以テ「ル・ゴール」ヨリ「レルミット」⁽²⁾、「ヴィヴィエー」ヲ經テ前進スヘシ。

前衛ハ「マクローネイ」ヲ經テ其師團ノ主力方面ニ招致スヘシ。

二、近衛豫備第二師團ハ第十軍團ノ右翼ニ戰鬪加入ノ要無キ場合ニハ「シ

ヤルルヴィル」⁽³⁾、「ル・クロードウ・ロア」⁽⁴⁾、「レルミット」ヲ經テ「ラ・ヌー」ニ向

ヒ前進スヘシ。

是ヨリ先師團長ハ歩兵第十九師團ノ右翼ハ豫期以上ニ西方ニ位置セルヲ知
リ、再ヒ兩旅團間ノ地境ノ前端「ラ・ヴィルヌーヴ」ヲ「シャルルヴィル」ニ變更
セリ。

然ルニ軍團命令ノ到著後二十分ニシテ歩兵第十九師團ノ通報到著セリ、曰ク
「第十軍團ノ前進遲滯ス、歩兵第十九師團ノ右縱隊ノ戰鬪ニ貴師團ノ參加セ
ンコトヲ望ム」ト、次テ更ニ同師團ヨリ戰況困難ニシテ其右翼ハ「ル・ツール」
ニ向ヒ退却スルノ已ムヲ得サル旨ノ通報アリ、當時近衛豫備第二師團ノ前面
ニ於テハ南方ヨリ「ラ・モルチエール」南側ニ對シ敵砲兵ノ散布射撃スルヲ見
ルノ外未タ全ク敵情ヲ闡明スルヲ得ス、師團長ハ前記歩兵第十九師團長ノ請
求アリシニ拘ラス「シャルルヴィル」ニ向フ前進方向ヲ固執セリ。

此間豫備野戰砲兵第二十聯隊第一大隊ハ「シャルルヴィル」附近ノ佛軍砲兵
ニ對シ射撃ヲ開始シ、佛軍砲兵亦午後二時十五分頃ヨリ活潑ニ之ニ應射セリ、

從來該目標ヲ射撃セシ重砲兵兩中隊ハ軍命令ニ依リ豫備第十九師團ニ屬セラレ同戰場ニ向ヒ前進中ナリ。

2 「ル・ブー・デュ・ヴァル」森林ニ於ケル獵兵大隊ノ苦戰(附圖第三參照)

豫備步兵第三十八旅團ノ獵兵第十大隊ハ午後二時過キ前進ヲ開始シ、同二時三十分「ル・ブー・デュ・ヴァル」ニ達セリ、敵ノ位置及兵力ハ依然トシテ全然不明ナリシモ佛軍機關銃ノ爆音ヲ聞キ次テ斥候ノ報告ニ依リ「シャルルヴィル」西北高地上ニ敵兵アルカ如キヲ知り、攻撃ノ目的ヲ以テ街道兩側ニ跨リ展開セリ。當時大隊ノ左右ニハ連繫スル部隊ヲ認メサリシモ大隊長ハ斷乎トシテ直ニ攻撃ヲ敢行スルニ決セリ。

「ル・ブー・デュ・ヴァル」附近ノ戰鬪ハ街道ノ西側ニシテ「ル・ブー・デュ・ヴァル」ノ西南方ナル多數ノ小森林附近ニ於テ激烈トナリ、大隊ハ勇敢ニ突撃ヲ反復シテ第一及第二ノ小林ヲ奪取シ其南端ニ進出スルヤ、敗敵ハ増援ヲ受ケテ近ク停止シ猛烈ナル機關銃及砲火ヲ獵兵ニ集中セリ。

(1) le Bout du Val
獵兵大隊ノ
孤立前進
及苦戰

此時迄ニ獵兵隊ハ大隊長以下將校ノ大部ヲ失ヒ損害甚大ニシテ最早攻撃ヲ繼續スルノ餘力無ク、散兵壕ヲ掘開シ夜ニ入ル迄現狀ヲ維持スルニ決セリ。師團ノ砲兵ハ編制上劣勢ナリシニ加ヘ獵兵隊ノ戰場ハ通視ニ困難ニシテ且戰鬪過度ニ近距離ニ演セラレシ爲此方面ノ歩兵ニ何等有效ナル協力ヲ與フルヲ得サリキ。

3 豫備步兵第九十一聯隊ノ大部「ル・ブー・デュ・ヴァル」附近戰鬪ノ渦中ニ投ス。

豫備步兵第九十一聯隊ハ午後二時三十分第一線ヲ以テ「ラ・シャルモット」ヲ發シ「シャルルヴィル」西方標高二一八ニ向ヒ前進セシカ、地形開濶セルカ爲敵砲兵ノ猛烈ナル掃射ヲ蒙リ且既ニ遠距離ヨリ敵ノ歩兵特ニ機關銃射撃(第二小林西側附近)ヨリヲ受ケ、前線ハ之ニ應射シツツ前進シ、獵兵ノ齊頭面ニ進出スル迄ニ多クノ時間ヲ費セリ、然レトモ豫備步兵第九十一聯隊ノ近接ハ獵兵ニ對抗中ナリシ敵ノ後方部隊ヲ牽制シ、且聯隊ハ所々獵兵ヲ超過シテ佛

兵ヲ火制シ、當時森林東半部ニ進入セシ獵兵隊突撃ノ成功ニ貢獻セシ所少カラス。

聯隊ハ前進ヲ續行シ午後三時四十五分第二中隊、第二大隊主力及第三大隊ヲ以テ森林地帯ニ進入セシカ、損害多大ニシテ爾後ノ前進力ヲ失ヘリ。

4 豫備歩兵第十五聯隊ノ攻撃(附圖第三、第四參照)

豫備歩兵第十五聯隊(八月ノ諸戰鬪ニ於テ將校三四名、下士卒八〇〇名ヲ失ヘリ)ハ午後二時過キ「ラ・ボンムローズ」東北地區ヲ發シ攻撃前進セリ、聯隊長ハ左方ニ於テ歩兵第十九師團ノ情況危險ニ瀕シ其右翼ハ「ル・ツール」ニ向ヒ退却中ナリト思惟セシヲ以テ、實際ニ於テハ然ラス唯「レ・キュロー」南方ノ交戰部隊カ午前中壓倒的ナル敵砲火ヲ避ケテ短距離ノ後退ヲ爲セルノミ、該師團ノ右翼聯隊ハ依然「シャルルヴィル」―「ラ・ヴィルヌーヴ」街道ノ北方約一吉ニ位置セリ)同師團ヲ收容シ更ニ攻勢ニ移轉セシメンカ爲、概ネ「ラ・ヴィルヌーヴ」ニ向ヒ東南方ニ前進セシカ、午後二時四十五分ニ至リ歩兵第十九師

(1) les Curois

前進方向
ノ變更

團右翼旅團ヨリ、同旅團ノ「ル・ツール」ニ向フ退却ハ誤報ニシテ目下占領シタル高地ヲ維持シアル旨ノ通報ニ接セリ、乃チ聯隊長ハ既ニ「ル・ブー・デュ・ヴァル」東北地區ニ達セル聯隊ノ前進方向ヲ變更シ概ネ之ヲ兩旅團間ノ地境ニ沿ハシメントシ命令スル所アリ、本命令ニ基キ第一線ノ左(第二)大隊ハ現位置ニ於テ正面變換ヲ行ヒ正當ナル新正面ヲ形成セシモ、右(第二)大隊ハ斜右ノ方向「ル・ブー・デュ・ヴァル」ニ向ヒ前進シ爲ニ兩大隊間ニ間隙ヲ生シ、而モ爾後ノ前進間右大隊ハ敵ノ砲兵火ヲ右前方ニ避ケツツ益「ル・ブー・デュ・ヴァル」ニ接近セシヲ以テ此間隙ハ愈々増大シ、聯隊ハ今ヤ二個ノ戰鬪集團ニ分離スルニ至レリ。

同聯隊ニ隨伴セシ野戰砲兵ノ一中隊ハ「ル・ブー・デュ・ヴァル」ノ東北約一吉ニ陣地ヲ占領シ「シャルルヴィル」―「ラ・ヴィルヌーヴ」街道ニ對シ良好ナル效果ヲ發揮セリ。

聯隊ノ豫備タル第一大隊ノ二中隊ハ前記間隙部ニ投入セラレシカ、一中隊ハ

第八 一九一四年九月「マルメ」會戰ニ於ケル獨近衛豫備第二師團ノ「シャルルヴィル」附 一八五
近遭遇戰

敵線ノ右翼退却

左大隊ノ右翼ニ、他ノ一中隊ハ右大隊ノ左翼ニ向ヒ前進方向ヲ取レリ。聯隊長ハ兩大隊ノ間隙益々増大セルヲ見午後四時三十分更ニ豫備隊ノ殘餘(二中隊)ヲ「シャルルヴィル」東端ニ向ヒ第一線ニ増加セリ。(以下附圖第四參照)此間歩兵第二大隊方面ニ於テ豫備野戰砲兵第二十聯隊ノ二中隊ハ步兵線ノ直後タル標高二二三高地上ノ陣地ニ進入シ、兩兵種ノ模範的協同ヲ以テ「シャルルヴィル」「ラ・ヴィルヌーヴ」道ニ沿ヘル佛軍ニ對シ猛烈ナル火力ヲ集中スルヤ、敵線中ニ動搖起リ「ヴィルヌーヴ」ノ後方ニ退却スル佛兵ヲ認ムルニ至レリ、乃チ獨軍ハ先ヲ爭フテ追撃ニ移リシカ偶々友軍重砲兵遙ニ斜右後方ヨリ第一線ヲ誤射スルアリテ追撃ノ氣勢ニ一頓挫ヲ來セリ、敵ハ此機ヲ利用シ「シャルルヴィル」「ラ・ヴィルヌーヴ」道ノ南方八百乃至千米ニ在ル小林附近ニ退却シ、新ニ活潑ナル射撃ヲ開始シ加之敵砲兵亦參加スルニ至リシヲ以テ獨軍ノ追撃ハ中止セララルルニ至レリ。

黃昏ト共ニ敵ノ射撃力減退シ敵ハ更ニ後退スルモノノ如シ、唯「ヴィルヌーヴ」ノミハ依然一部ノ敵ニ依リ維持セラレアリ、即チ豫備第十五聯隊第二大隊ハ隊伍ヲ整頓シ步兵第七十八聯隊ノ兵卒ハ之ヲ固有ノ聯隊ニ復歸セシメタリ。

豫備步兵第十五聯隊
豫備步兵第二大隊
「ル・ブー・デュ・ヴァル」
方面ニ吸收セララル

豫備步兵第十五聯隊第二大隊(附圖第三參照)ハ「ル・ブー・デュ・ヴァル」附近ニ達スル頃ヨリ獵兵大隊ノ戰鬪ニ起因シテ激烈ナル歩兵火ヲ受ケ、次テ又敵ノ砲撃ヲ受クルニ至レリ、大隊長ハ情況ヲ十分明瞭ニ知得スルヲ得ス、獵兵ノ主力カ何處ニ位置スルヤヲ知ラス、敵ニ就テ何物ヲモ認ムル能ハサリキ、然レトモ「ル・ブー・デュ・ヴァル」ノ彼方ヨリ響キ來ル戰聲ノ爲不知不識其方面ニ引キ寄せラレ、西南方ニ前進シ「ル・ブー・デュ・ヴァル」西南方ニ於ケル獵兵及豫備步兵第九十一聯隊ノ戰鬪中ニ投シ直ニ團結ヲ失ヘリ。

5 師團豫備隊ノ戰鬪加入(附圖第四參照)

師團長ハ午後四時三十分師團豫備ヨリ一大隊(豫備步兵第五十五聯隊第二大隊)ヲ第三十八旅團ニ増加セリ、聯隊長ハ自ラ同大隊ヲ率キ「ル・ブー・デュ・ヴ

第八 一九一四年九月「マルヌ」會戰ニ於ケル獨近衛豫備第二師團ノ「シャルルヴィル」附 一八七
近衛選戰

アル「シャルルヴィル」街道ノ西側ニ於テ戰鬪ニ加入セシカ、直ニ獵兵、豫備歩兵第九十一聯隊及豫備歩兵第十五聯隊ノ兵員ト混淆シ火戰ニ參加セリ、損害時ト共ニ増加シ所々ニ於テ試ミタル前進ハ結局失敗シ後方部隊ノ加入亦情況ヲ有利ニ轉換スルヲ得サリキ。

此間豫備歩兵第二十六旅團長中佐「コッタ」戰死シ少佐「フオン・ウイスマン」代ツテ旅團ノ指揮ヲ取レリ、少佐ハ通過困難ナル「ル・ブー・デュ・ヴァル」西南方ノ森林地帯ニ於ケル砲兵援助ノ不十分ナルニ鑑ミ、機關銃ニ依リテ戰況ノ進展ヲ計ラントシ、豫備歩兵第五十五聯隊ノ機關銃中隊ヲ「ル・ブー・デュ・ヴァル」西南方ニ、同聯隊ノ第一大隊ヲ同村ノ東南方ニ進メシカ、大隊ハ巧ニ地形ヲ利用シ機關銃ノ協力ノ下ニ「シャルルヴィル」北端ニ突撃シ之ヲ占領スルヲ得タリ。

此成功ハ同地西方ニ於ケル決戰ニ有利ナル端緒ヲ與ヘ、街道以西ノ敵ノ右翼ヲ動搖セシメタリ、獵兵、豫備歩兵第九十一、第十五及第五十五聯隊ノ散兵ヨ

「シャルルヴィル」西方ノ佛軍全線ノ退却

リ集成セラレタル突撃部隊、四銃ノ機關銃、二門ノ隨伴火砲ノ援助射撃ノ下ニ前進ヲ開始スルヤ、佛軍ハ「シャルルヴィル」西方ノ全線ニ互リ退却セリ、獨軍ハ之ヲ追撃セシモ後ニ命令ニ依リテ停止セリ。

四、當面佛軍ノ情況

師團ト對戰セシハ佛歩兵第二十師團ニシテ充實セル歩砲ノ部隊ヲ有シ、當日「ブチー・モラン」北岸「ヴォーシャン」ニ攻撃目標ヲ採リ全力ヲ盡シテ攻勢ニ轉セシカ、衝突ノ初ヨリ一步モ前進スルヲ得ス却テ其大部ハ此激烈ナル戰鬪ノ夜「ラシイ」西北高地即チ交戰セシ地域ノ南方四吉米附近ニ防禦工事ヲ施セリ。

五、戰鬪ノ終局及損害

斯ノ如クシテ近衛豫備第二師團苦戰ノ一日ハ暮レタリ、午後三時ヨリ同六時ニ至ル僅少ナル時間内ニ於テ受ケタル師團ノ損害ハ比較的大ナリ、殊ニ獵兵大隊、豫備歩兵第九十一聯隊ノ第二、第三大隊及同第五十五聯隊第二大隊ニ於テ然リトス、是等ノ諸隊ハ師團ノ全損害計一千百名ノ大部ヲ負擔セリ。

(1) Lachy

第八一九一四年九月「マルメ」會戰ニ於ケル獨近衛豫備第二師團ノ「シャルルヴィル」附 一八九
近衛戰

此夜師團諸隊ハ混淆セル部隊ヲ整頓シ概シテ其占領セシ地區ヲ守備シ夜ヲ徹セリ。

六、本戰團ニ對スル觀察

1 『獨國連合兵種ノ指揮及戰鬪』ハ其遭遇戰ノ部ニ大部隊ニ在リテハ殆ト常ニ攻撃命令及攻撃展開ニ先シ展開準備ノ態勢ニ就クヘキ旨ヲ稱道セリ、
「ブチー・モラン」北岸上ニ於テ獨近衛豫備第二師團ノ取りタル配置ハ即チ展開準備態勢ナリトス、此態勢ハ爾後ノ攻撃展開ヲ便ニスル爲横廣ニ排開セル一種ノ準備態勢ニシテ此時期ニ於テ各隊ハ未タ的確ナル攻撃任務ヲ受領シアラサルモノトス。

獨軍師團長トシテ「ブチー・モラン」北岸上ニ先ツ全師團ヲ展開準備位置ニ就カシムルノ可否ハ暫ク措キ、何レノ場合ニ於テモ「ブチー・モラン」南岸地區ニ一タヒ諸隊ヲ統制シ爾後ノ前進ニ統一アラシムルコトヲ緊要ナリトス、獨軍指揮官ハ此注意ヲ缺キシ爲獵兵大隊ハ比隣團隊ニ比シ約三十分早く攻撃前進

ヲ開始シ孤立苦戰ノ一原因ヲ作レリ。

2 本例ニ於テ師團ノ攻撃前進方向ハ數次ノ變更ヲ見タリ、此現象ニ依ツテ見ルモ遭遇戰ノ初期ニ於テハ情況ノ分明シ難キモノアルカ故ニ、縱ヒ我主力ヲ使用スヘキ方面決定セル場合ト雖モ、早期ニ具體的ニ攻撃目標ヲ確定シ得サルコトアルヘク、統一展開ノ場合ニ於テハ第一段分進、第二段攻撃展開ノ順序ヲ履ムヲ通常トスヘキヲ知ルニ足ラン。

3 獨軍ノ多數大隊ハ開濶セル戰鬪地域ニ於ケル敵火ヲ避ケ、言ハハ本能的ニ戰場ニ存セシ唯一ノ蔭蔽地（ル・ブー・デュ・ヴァル）小森林）ニ投セリト認ムルヲ得、是等ノ事實ハ即チ本戰團ヨリ得タル實際的教訓ニシテ熾盛ナル敵火ノ下ニ在リテハ所命方向ノ維持困難ナルヲ示スモノナリ。

4 獨軍部隊一タヒ森林内ニ牽引セラルルヤ、各將校率先シテ勇敢ニ行動セシモ容易ニ部下ヲ驅ツテ森林内ヨリ進出セシムルヲ得サリキ、是レ亦一ノ教訓ナリ、蓋シ至近ノ距離ニ接近セシニ拘ラス敵兵ノ認識困難ナリシヲ以テ優勢

ナル火力ヲ以テ敵ヲ壓倒シ得サリシト、他面林縁附近ニ於テ既ニ交戰中ナリシ他部隊トノ混淆ヲ來セシカ爲、的確ナル指揮ヲ失セシ結果タラスンハアラズ。

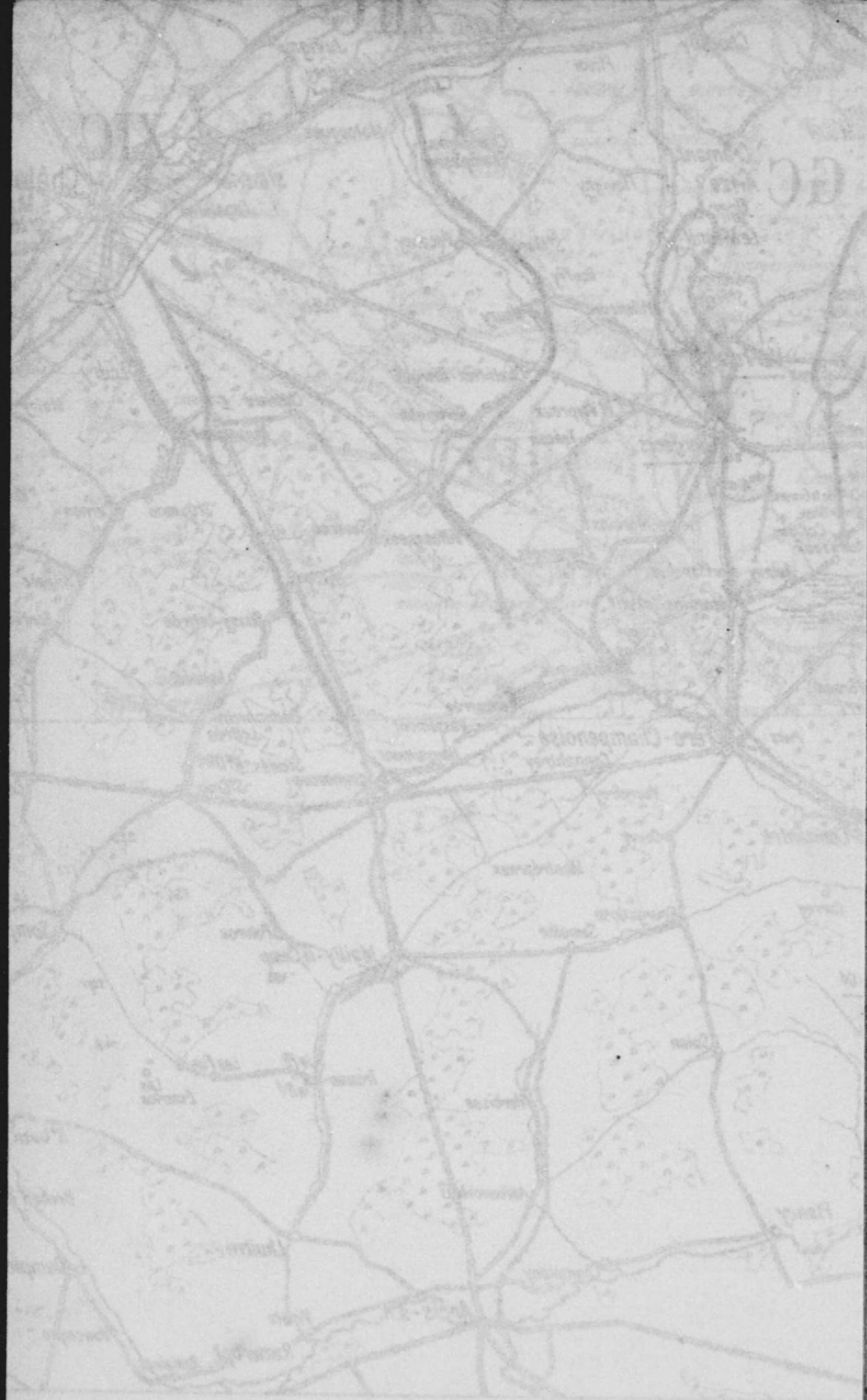
5 本戰鬪ニ於ケル接觸乃至戰鬪初期ノ情況ヲ觀ルニ若干ノ地點ニ砲彈ノ炸裂スルヲ除ケハ戰場ハ概シテ空漠ノ感ヲ呈シ、容易ニ目標ヲ發見スルヲ得ス、前進シテ敵ノ機關銃火ヲ受クルニ及ヒ初メテ近ク敵歩兵ノ存在ヲ知り、而モ機關銃等ノ精確ナル位置ノ發見ハ當初困難ナルヲ經驗セリ、是レ輓近戰ニ於テ敵ノ戰鬪準備先ニスル場合ニ於テ屢々發生スル現象ナリ。

獨り敵ノミナラス、友軍隣接若ハ前線部隊ノ位置ノ確認亦平時演習ニ比シ頗ル困難ナリ、蓋シ各部隊ハ疎散ナル隊形ヲ取り極力遮蔽ニ努ムルヲ以テナリ。

敘上ノ如キ狀態ニ於テ獨軍豫備歩兵第十五聯隊第二大隊カ「ル・ブー・デュ・ヴアル」ノ彼方ヨリ響キ來ル銃聲ノ爲不知不識ノ間ニ該方面ニ牽引セラレタル

ノ理由ヲ首肯シ得ヘシ。

6 獨軍苦戰ノ原因トシテハ戰鬪ノ主要時機ニ於テ步砲協同ノ缺如セシコトヲ舉ケサルヘカラス、例ヘハ午後一時四十五分以來「ラ・ボンムローズ」附近ノ陣地ニ在リシ豫備砲兵第二十聯隊第二大隊ハ日没ニ至ル迄ニ一一五高地上一一彈ヲモ送ラサリキ、是レ遮蔽セル地形ニ於テ觀測機關ヲ第一線ニ追隨セシムルノ著意ヲ缺キシニ因ル、之ニ反シ地形開濶シテ步砲ノ協同密接ニ行ハレタル東正面ニ於テハ大ナル損害無ク攻撃比較的有利ニ進展セリ。



GC

Map of the region showing a network of roads and rivers. The map is oriented vertically on the left page of an open book. In the upper right corner of the map area, there is a small rectangular box containing the letters 'GC'.

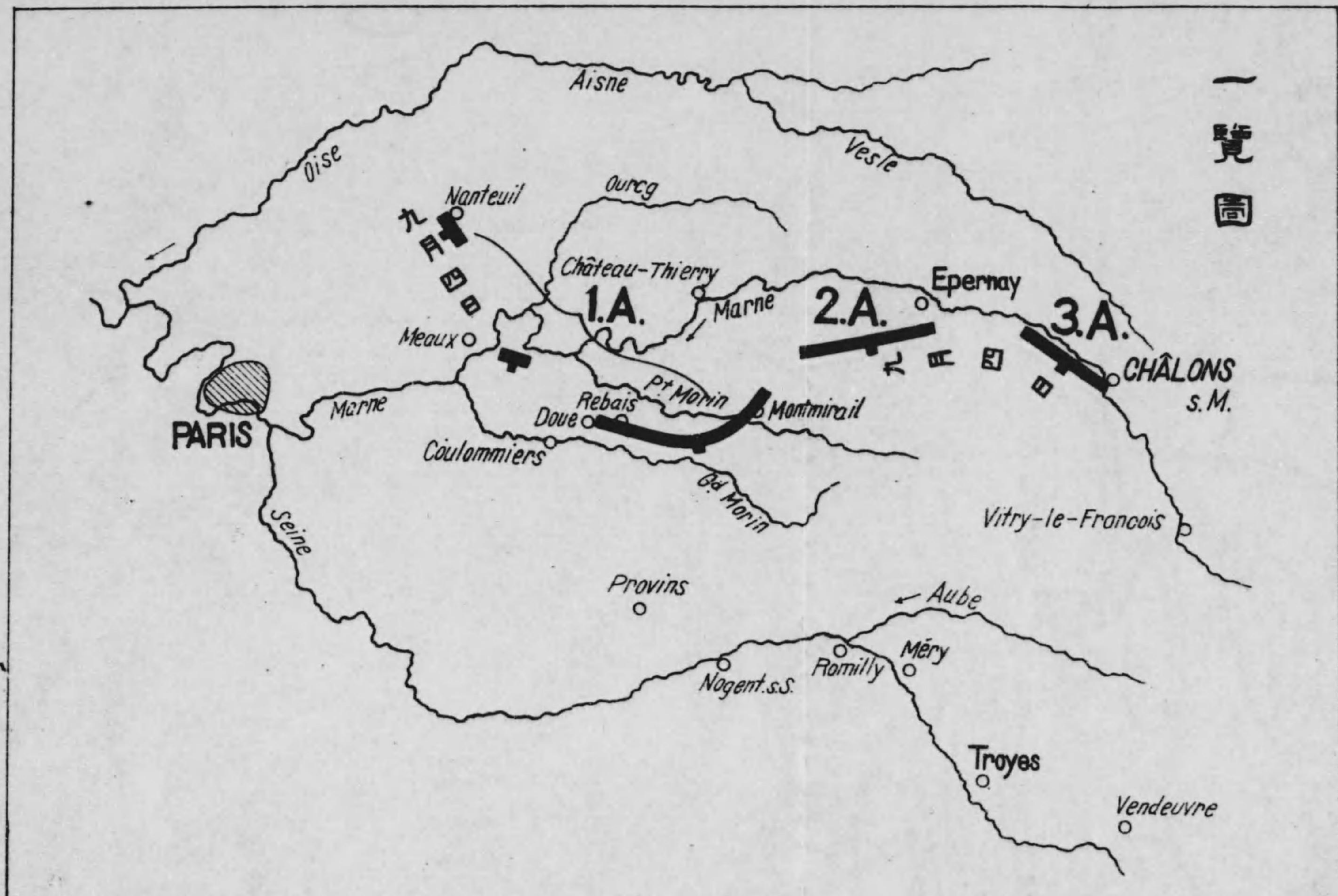
一覽圖

圖要勢態軍翼右獨方地岸南又ルマ

(日六月九至乃日四月九)

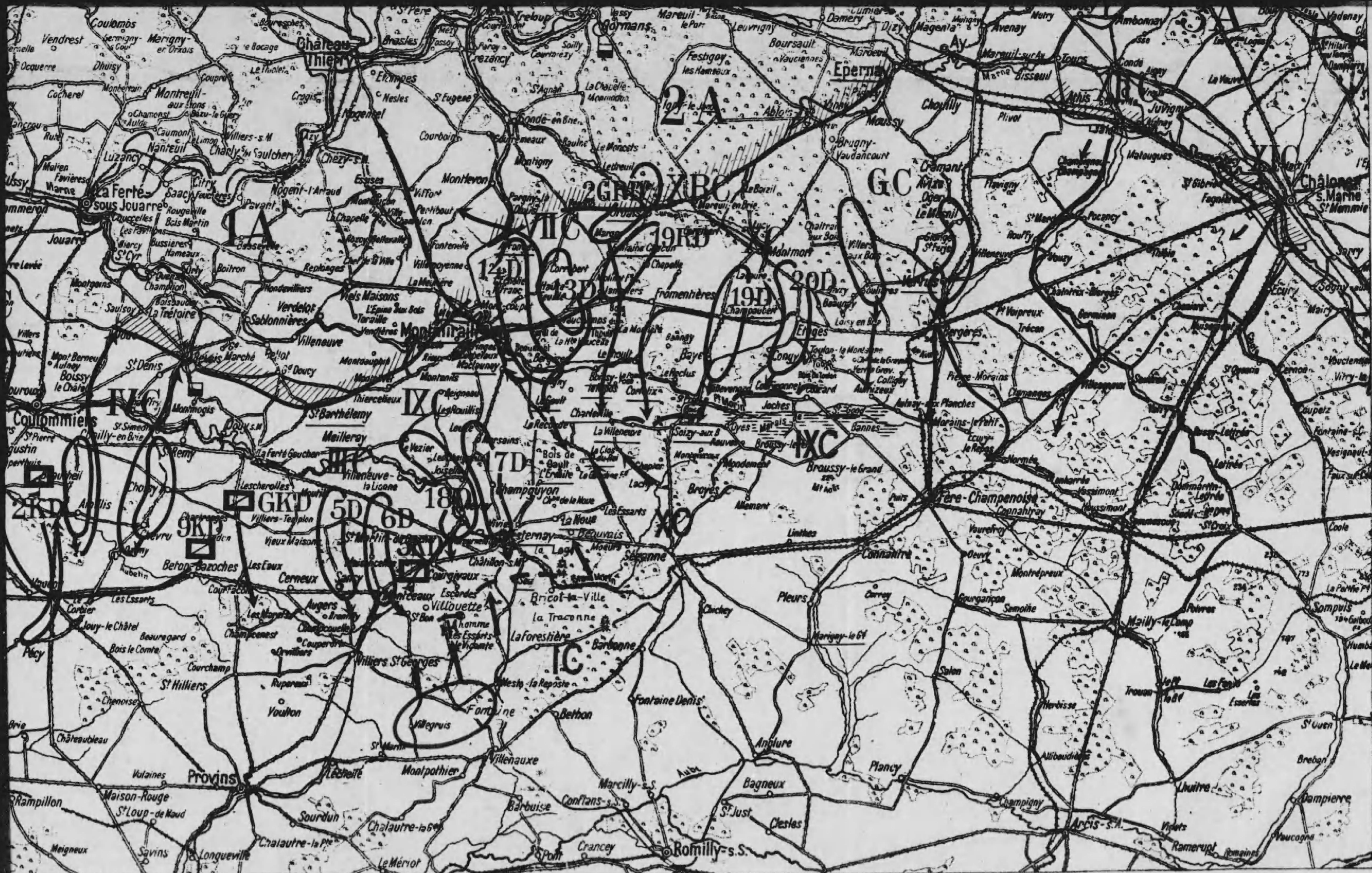


第八
附圖
第一



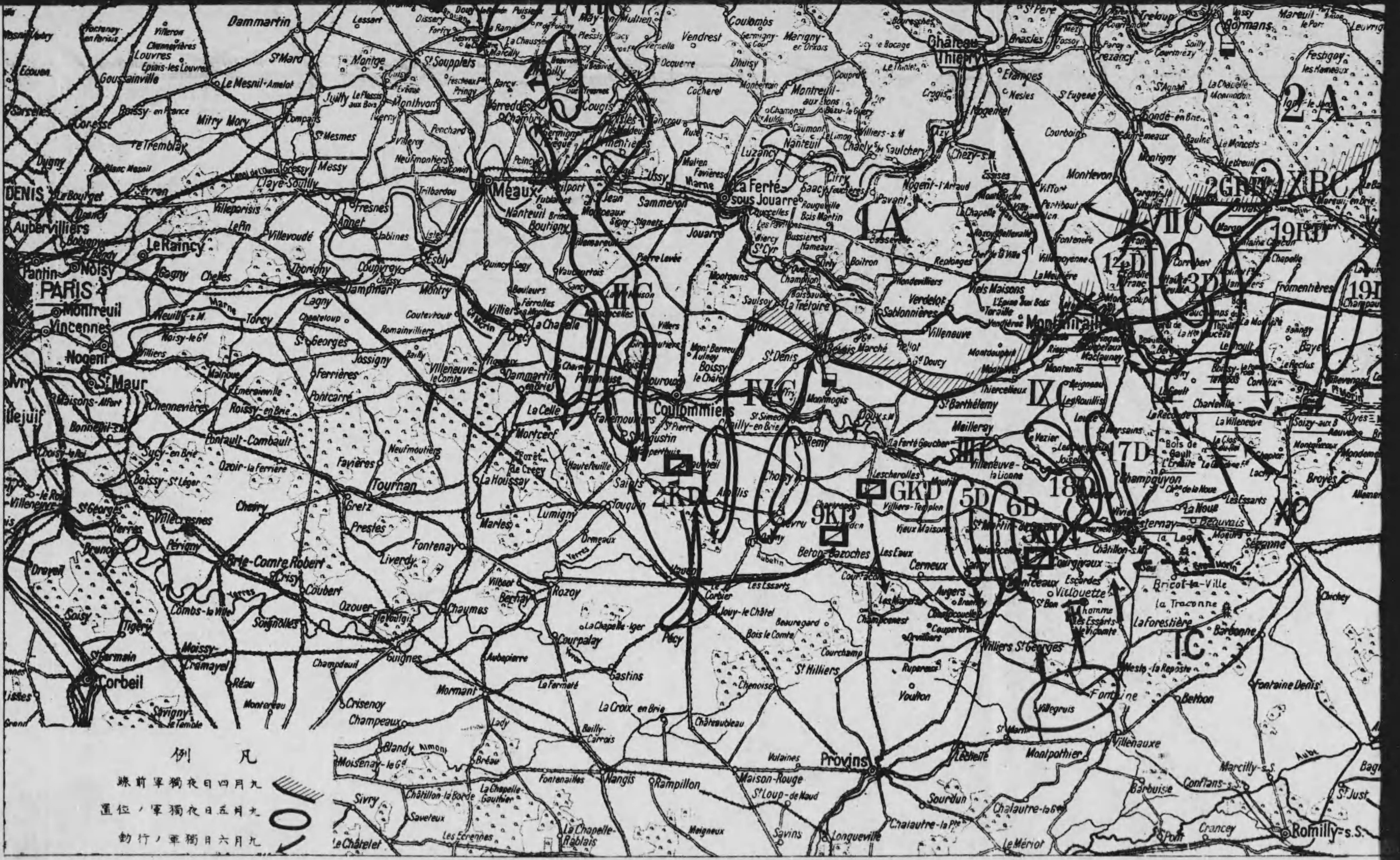
圖要勢態軍翼右獨方地岸南又
(日六月九至乃日四月九)





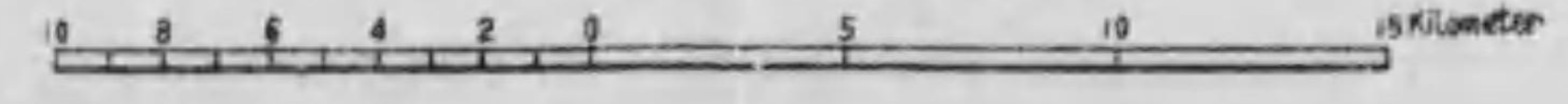
一 / 分万十三尺椽

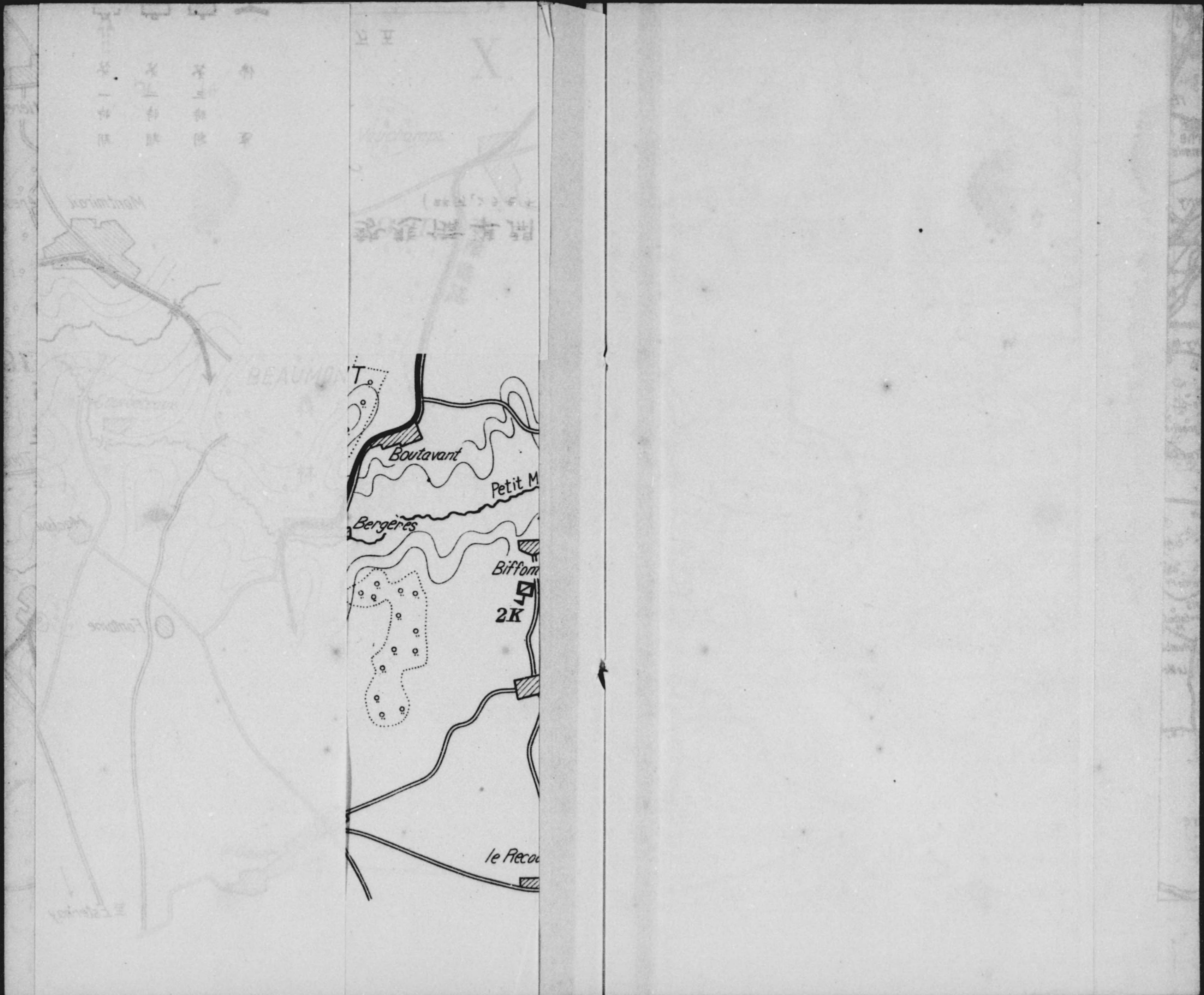




例 凡
 線前軍獨夜日四月九
 置位、軍獨夜日五月九
 動行、軍獨日六月九

一、分万十三尺梯





Handwritten notes in Chinese characters, likely providing a legend or key for the map's symbols and features.

Additional handwritten notes in Chinese characters, possibly describing specific locations or features on the map.

BEAUMONT

Boutavant

Petit M

Bergères

Biffon

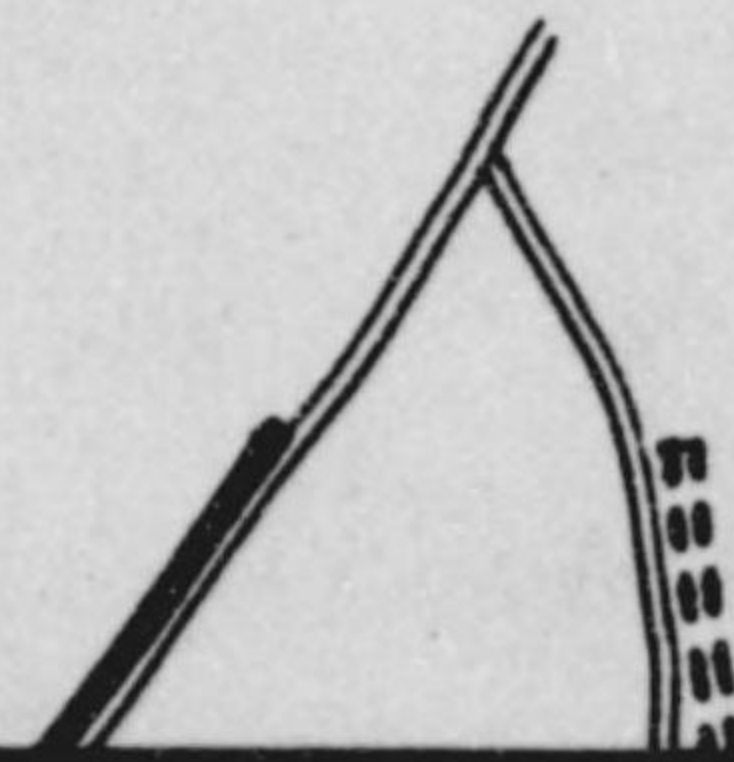
2K

le Pécou

獨近衛豫備第二師團展開準備態勢要圖

(一九四一年九月六日 阿比摩河畔)

↑
五萬分一



第八
附圖第二

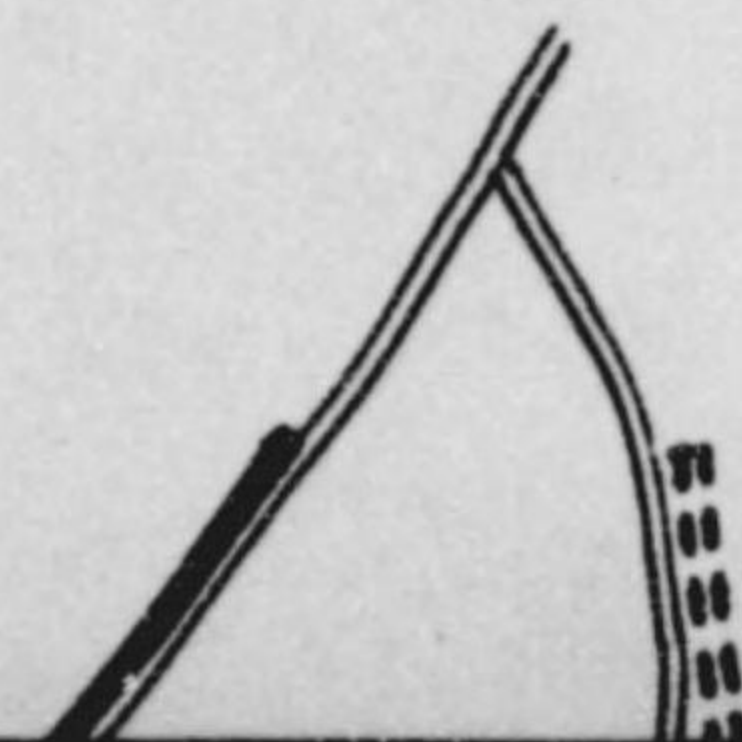
獨近衛豫備第二師團開展準備態勢要圖

(一九一四年九月六日 阿比摩河畔)

例 凡



五 万 分 一

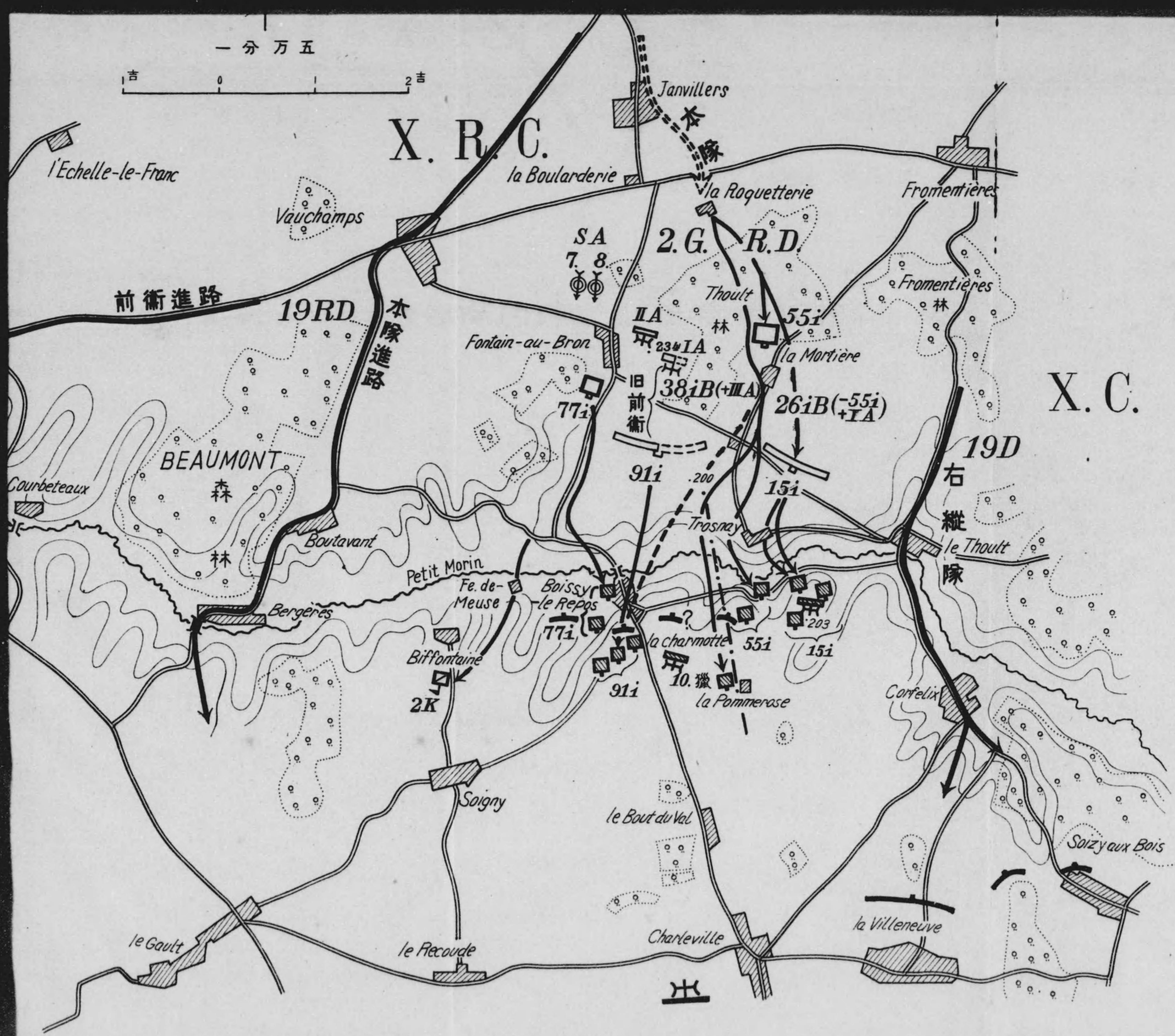


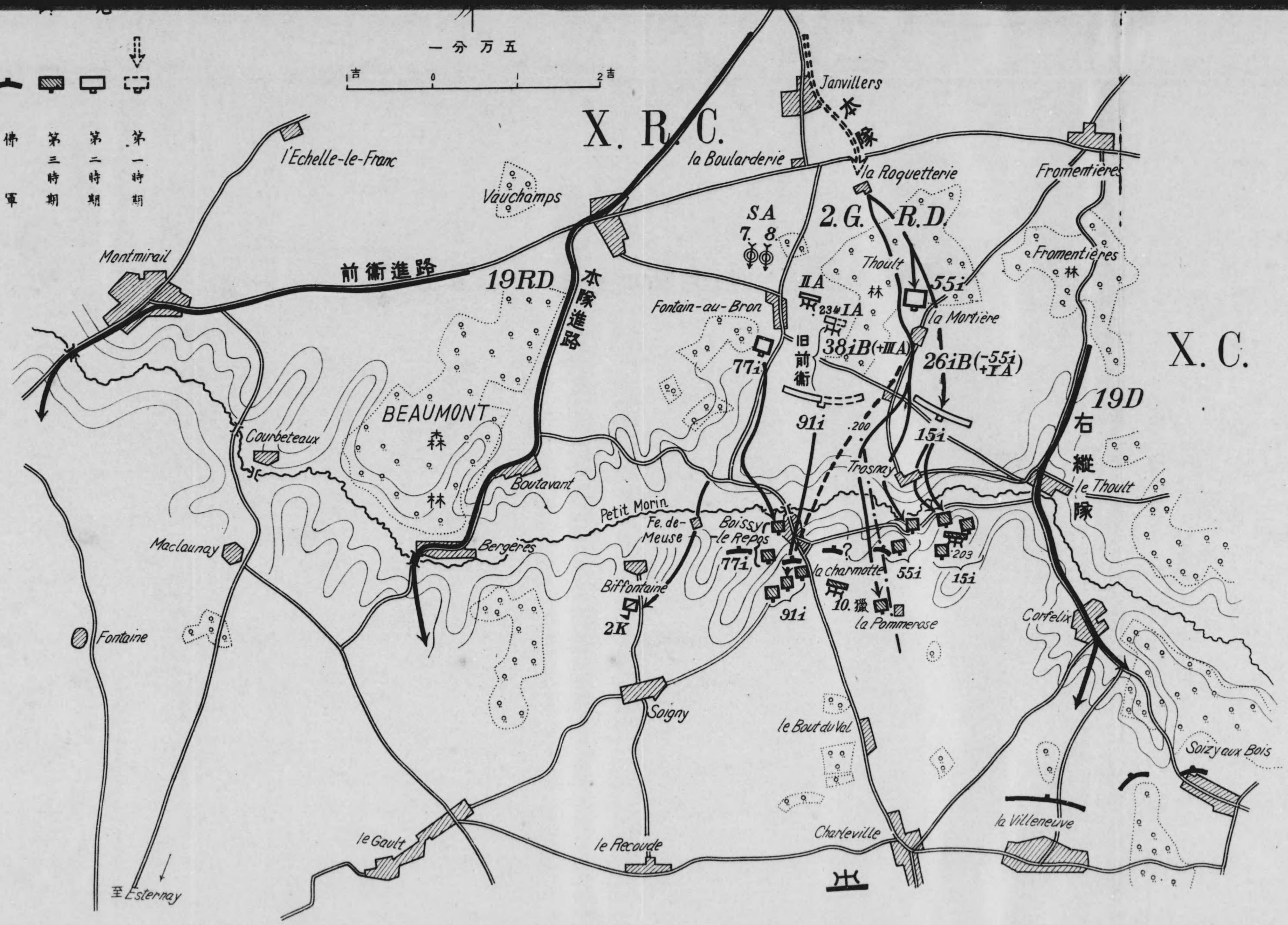
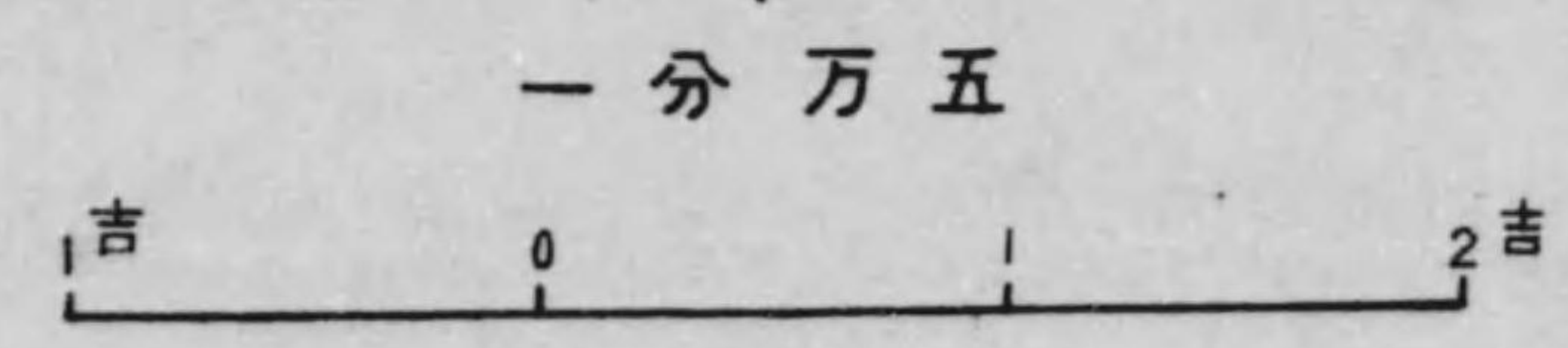
一分万五

0 1 2 吉

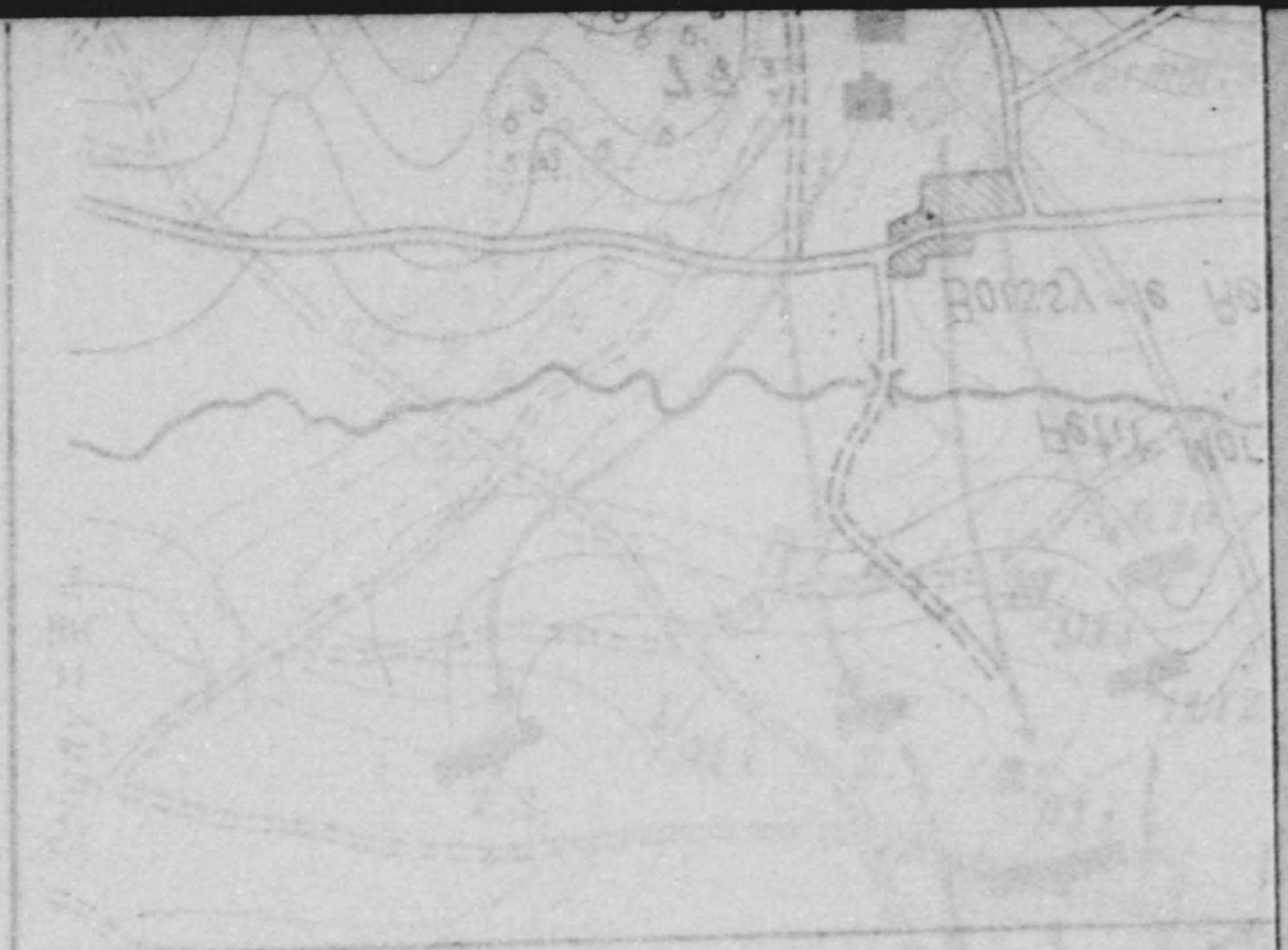
X. R. C.

X. C.

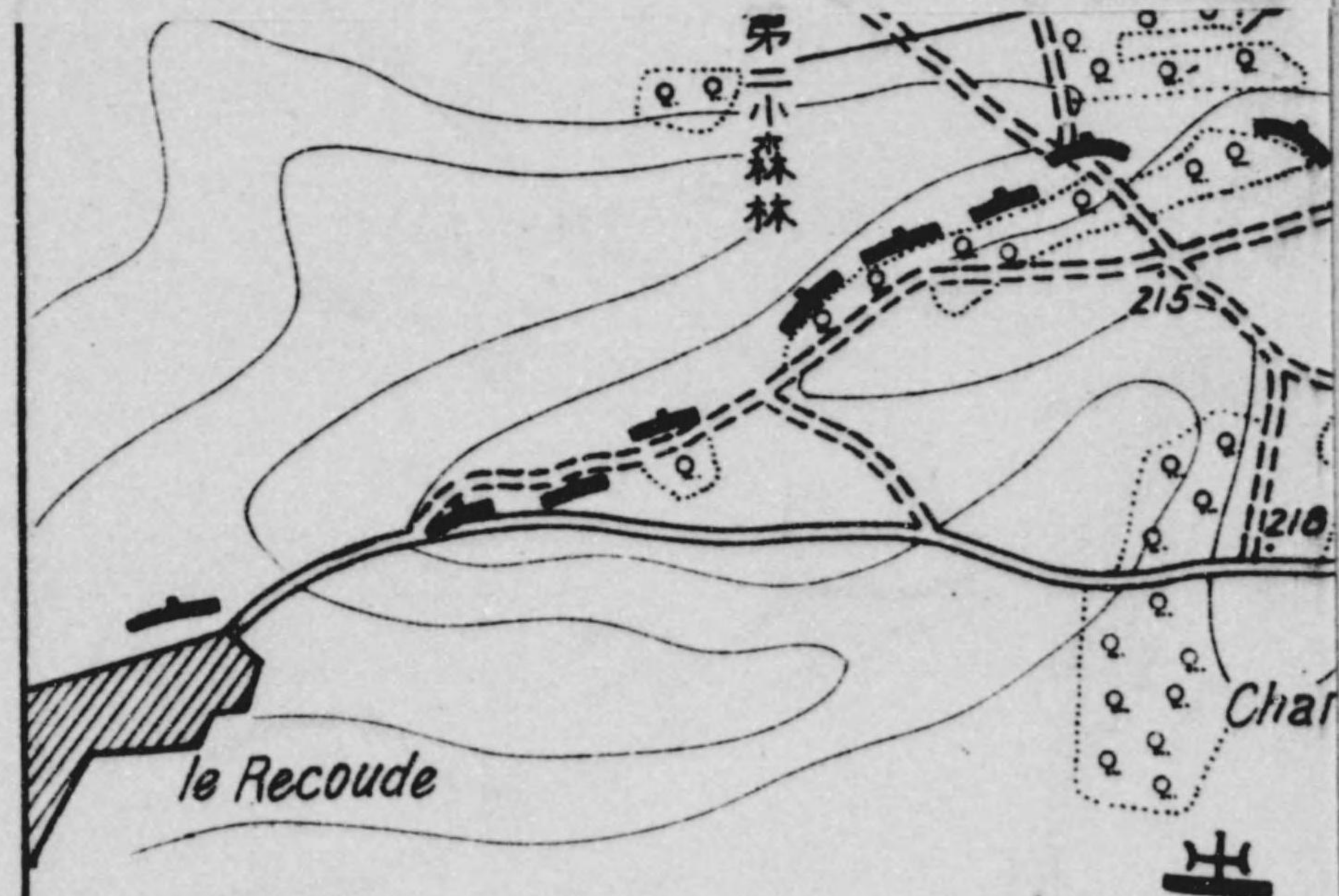




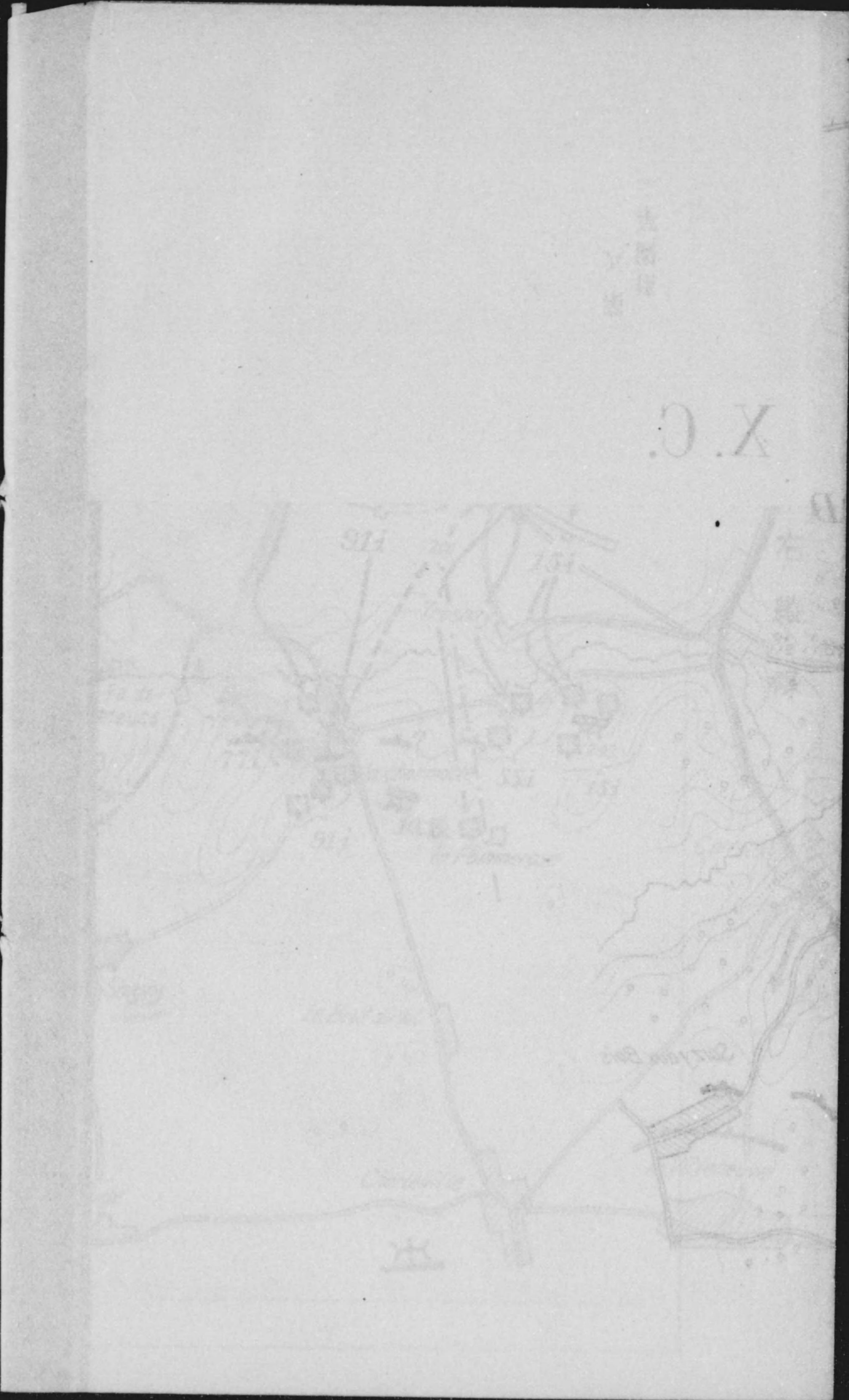
至 Esternay



(一廿)圖音海海

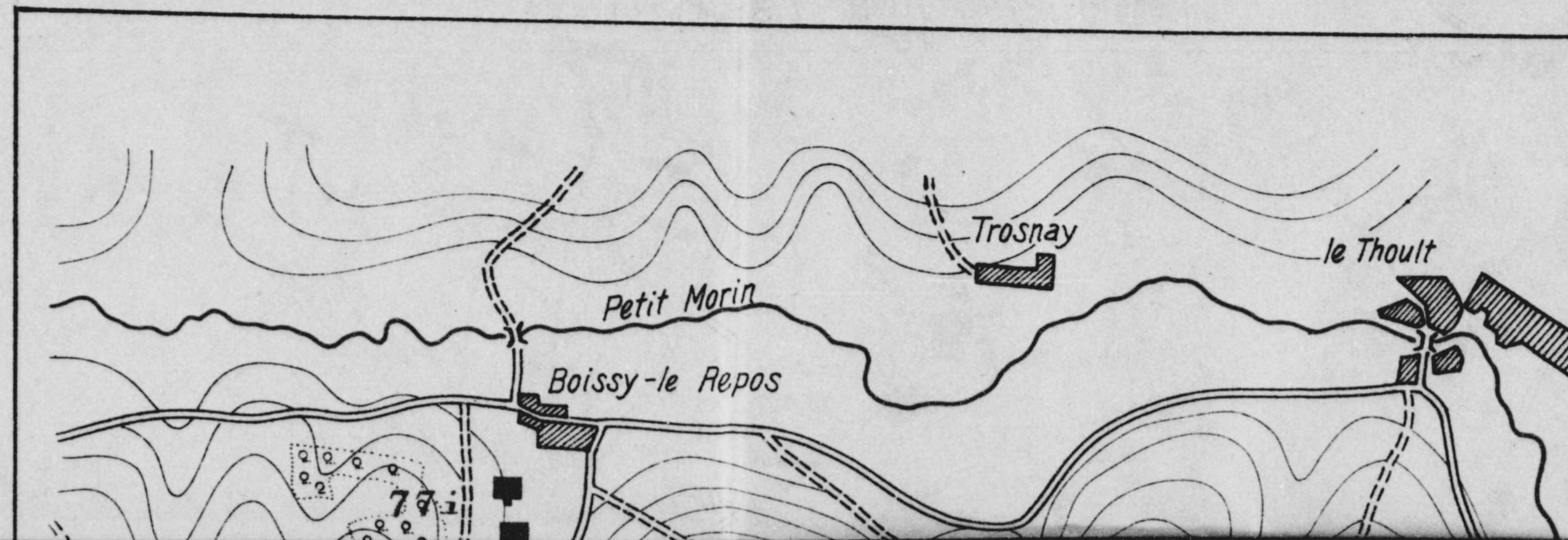


0 500 1000 1500 2000 米

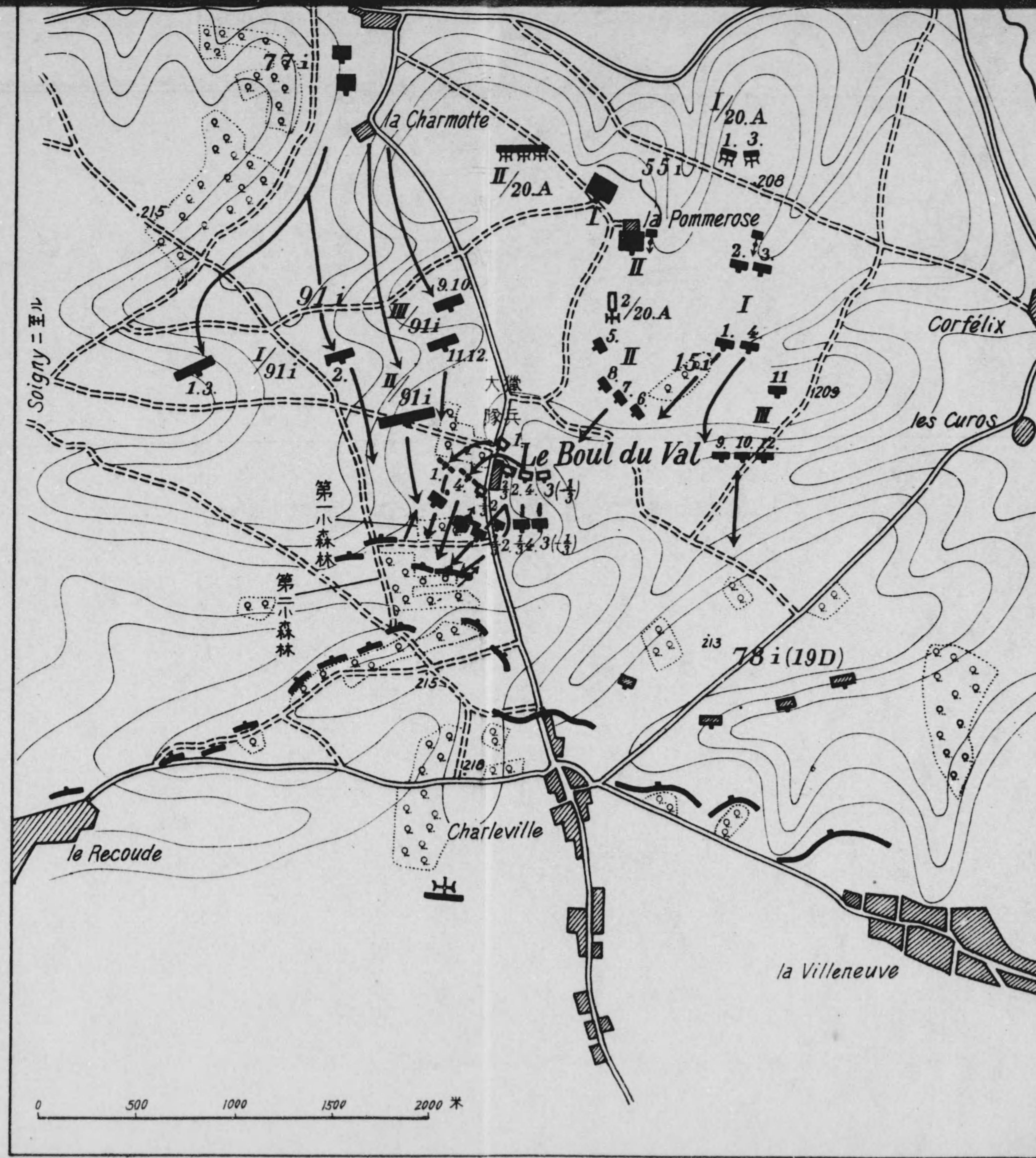


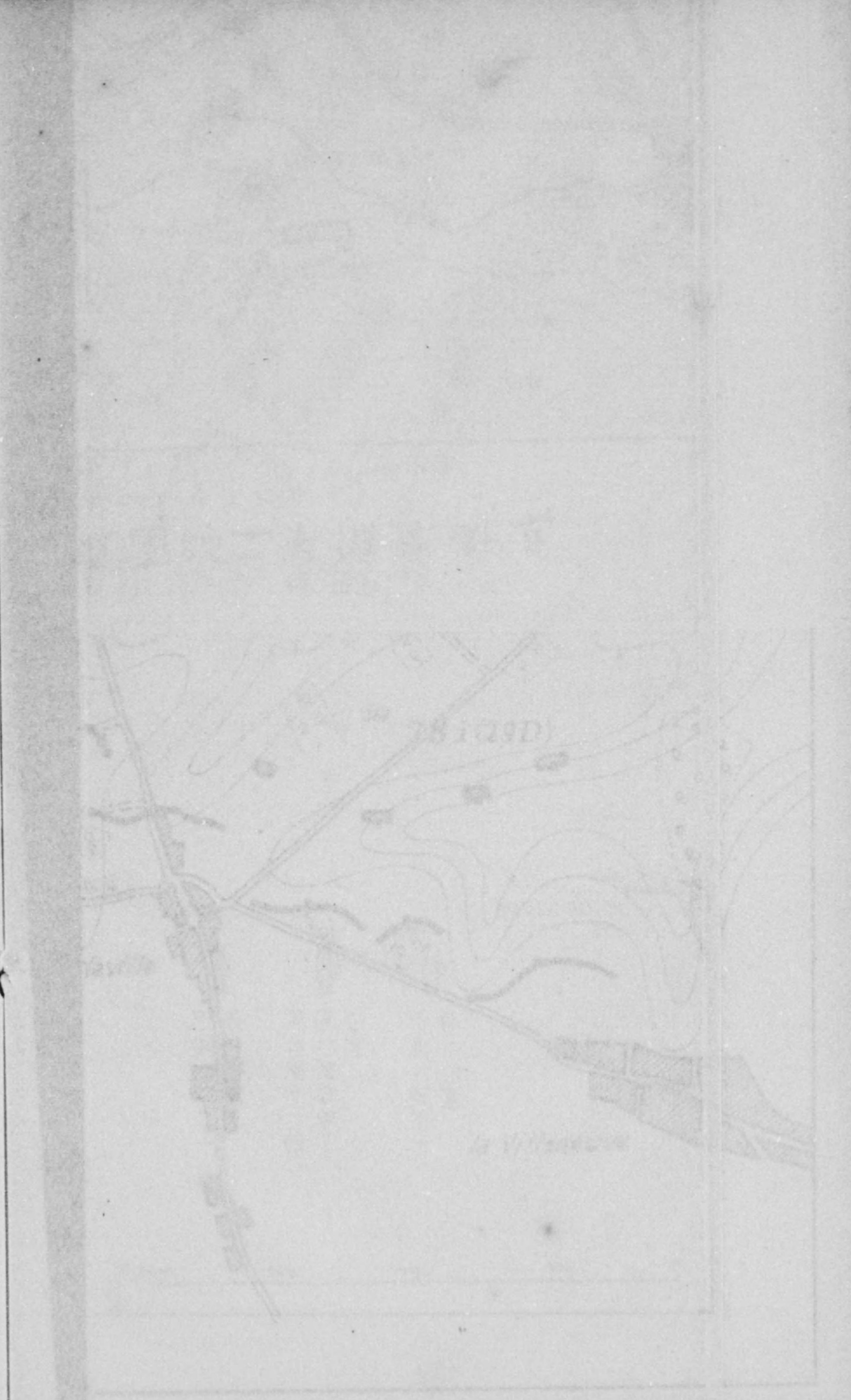
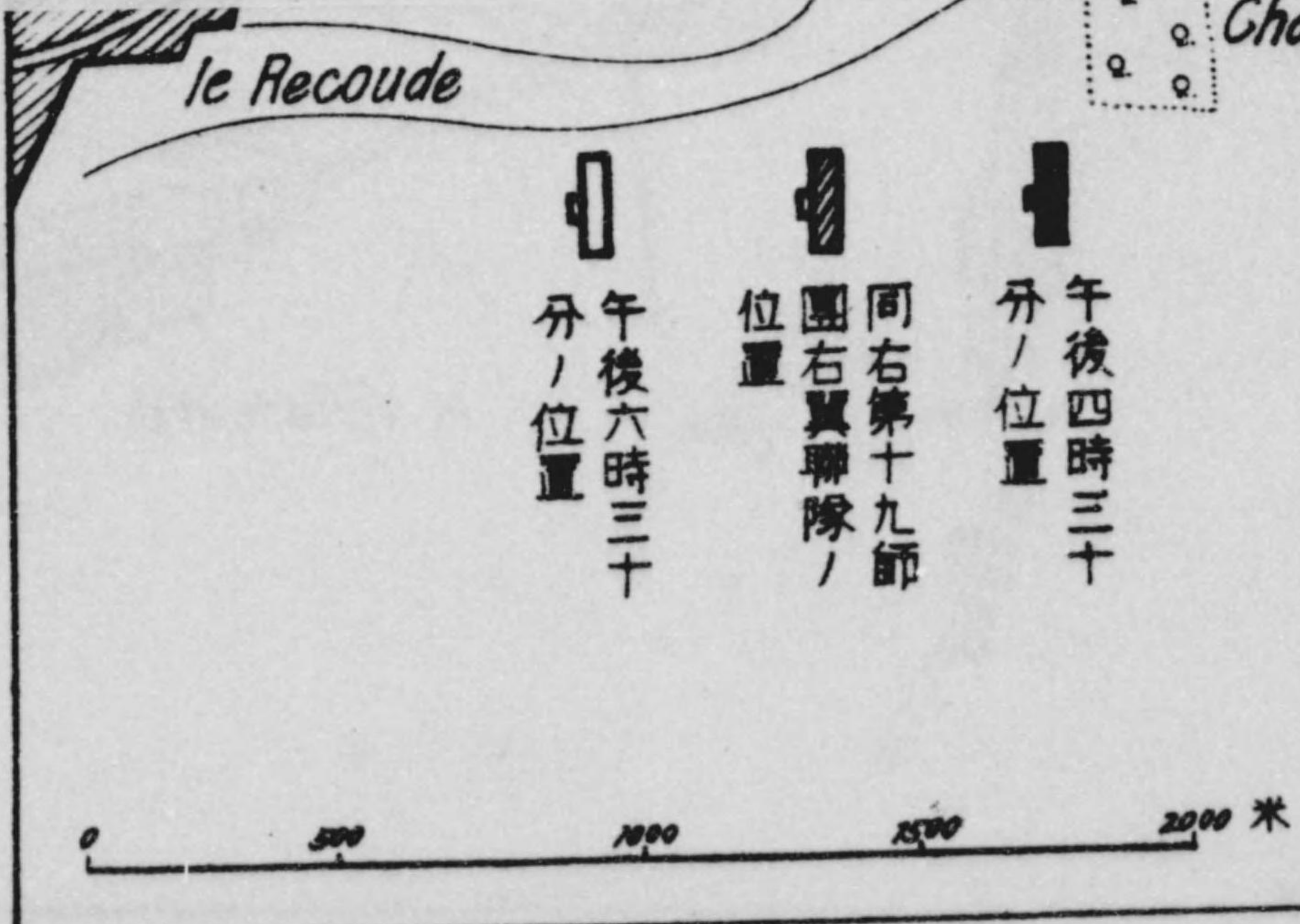
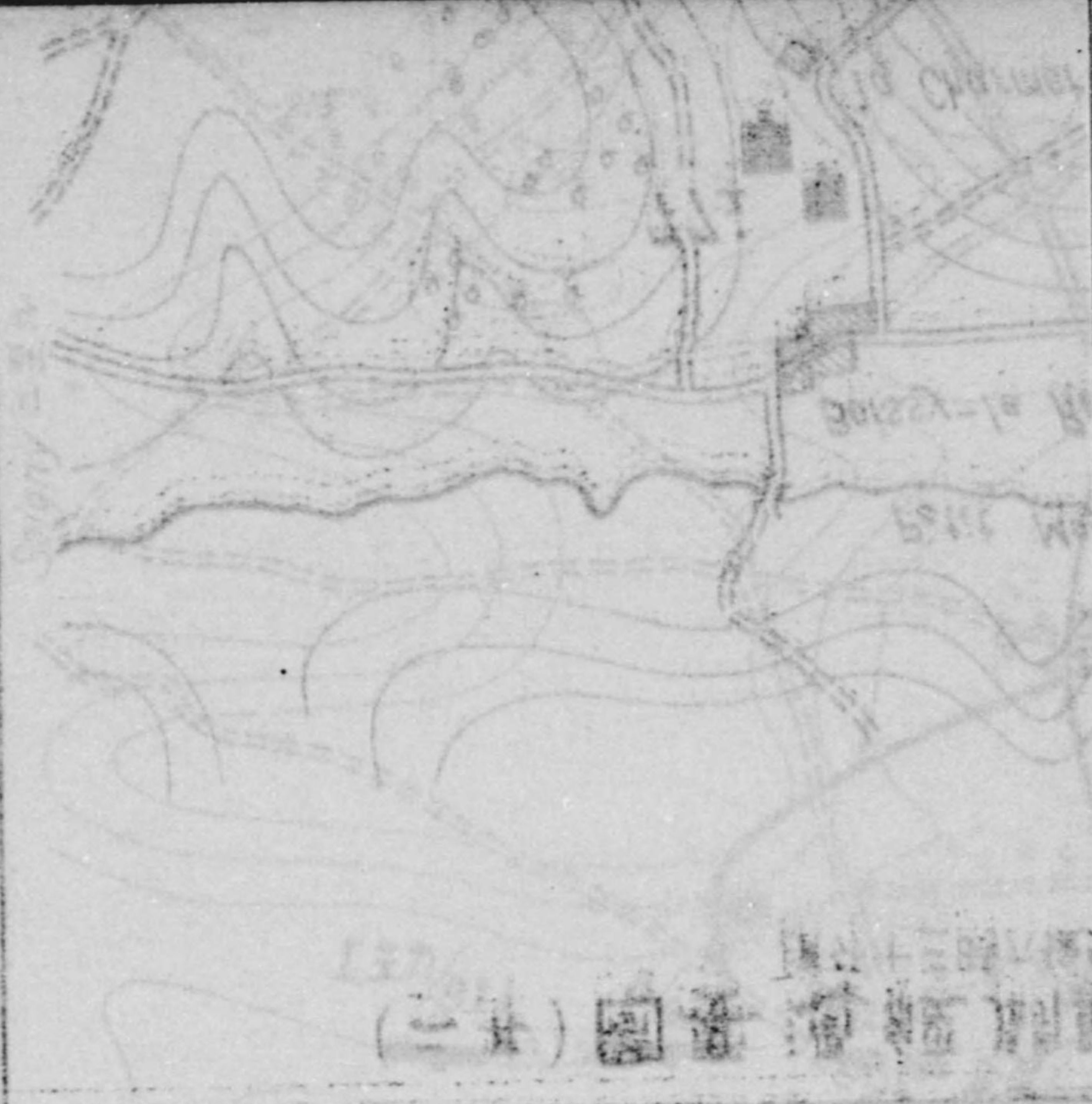
(一其)圖要過經鬪戰團師二第備豫衛近

(頃分十四時二後午日六月九)



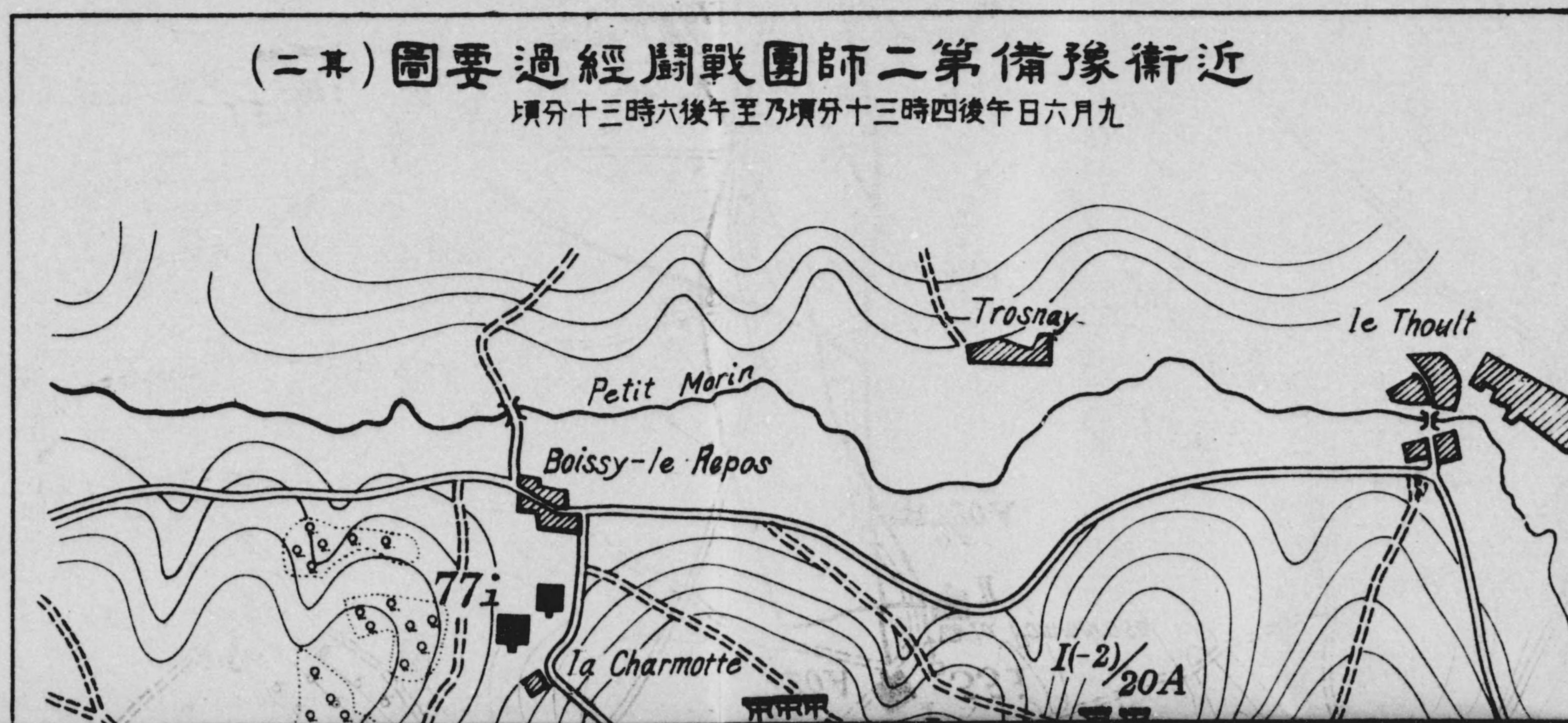
第八
附圖第三



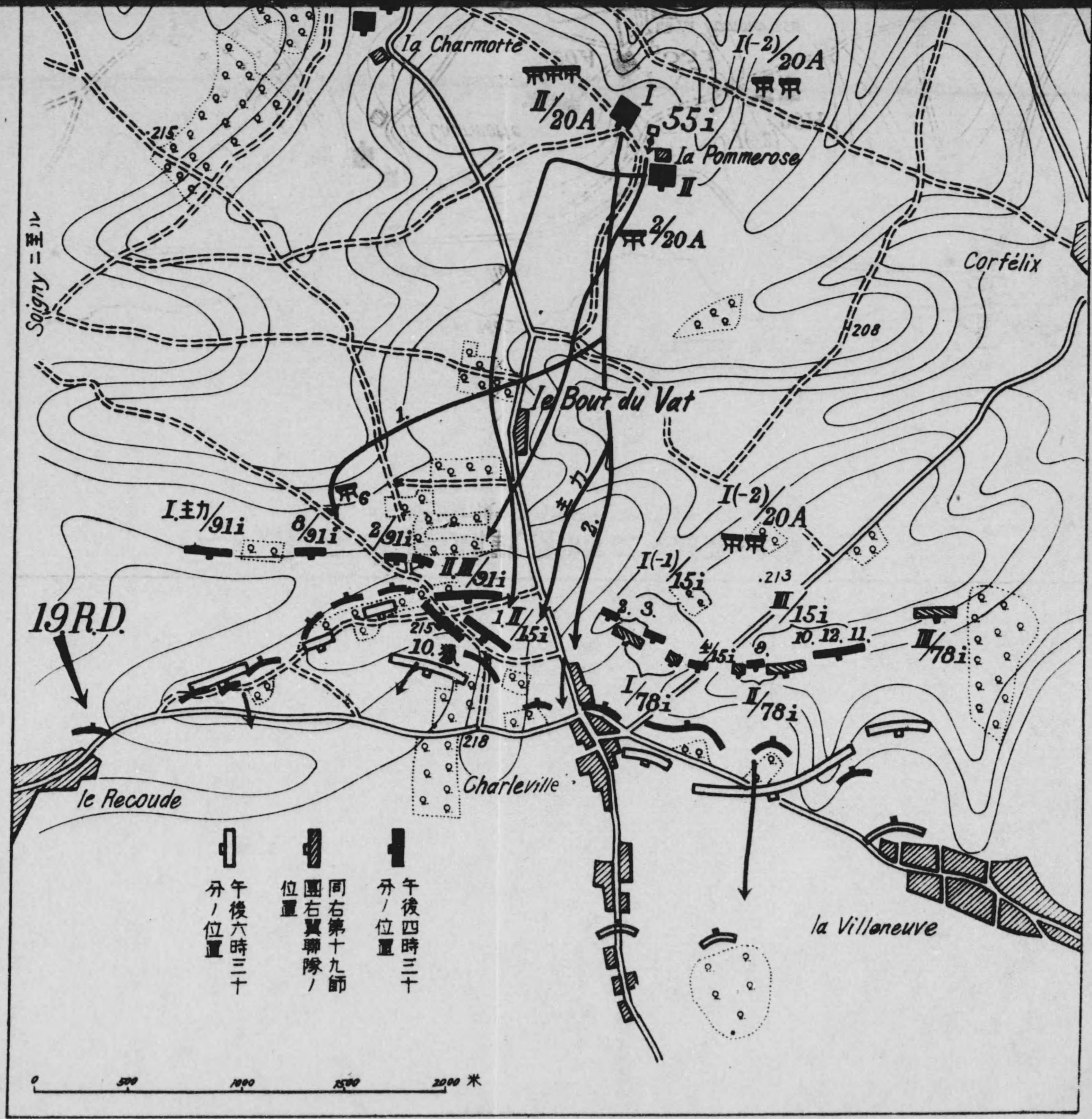


(二其)圖要過經鬪戰團師二第備豫衛近

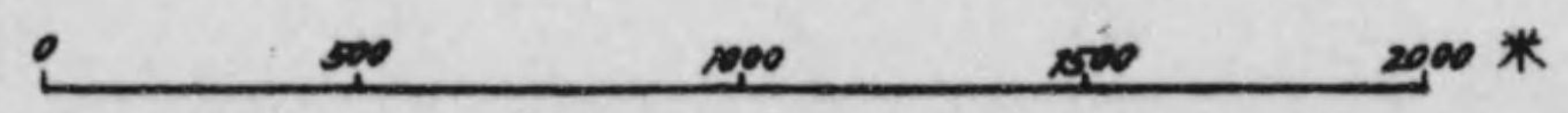
頃分十三時六後午至乃頃分十三時四後午日六月九



第八
附圖第三



午後六時三十分 / 位置
 同右第十九師團右翼聯隊 / 位置
 午後四時三十分 / 位置



第九

一九一四年「ロツツ」會戰中「ブレジヌイ」南方地區ニ

於ケル西伯利狙撃第六師團ノ遭遇戰

一、一般情況ノ梗概及戰鬪ノ端緒(附圖第一乃至第四參照)

一九一四年十月露軍ハ獨軍ヲ「ワルシャウ」地方ヨリ撃退シ、之ヲ西南方ニ追撃セシモ、忽チニシテ獨軍ト觸接ヲ失ヒ、十一月下旬第一軍ヲ以テ「ムラワ」「ウロツラフスク」ノ線ニ、第二軍ヲ以テ其南方「ワルタ」河ノ線ニ達セリ。(附圖第一參照)

獨軍ハ「ワルシャウ」地方ノ作戰失敗スルヤ、西南方ニ退却シ、國境地方ノ鐵道網ヲ利用シ、第九軍ヲ「ヤロチン」「トルン」ノ線ニ集結シ、新ニ東普ヨリ二軍團ヲ加ヘ「フオン・マッケンゼン」大將指揮ノ下ニ十一月十一日ヨリ東南方「ロツツ」方向ニ攻勢前進シ、行ク行ク露第一軍ノ左翼及同第二軍ノ右翼ヲ撃破シ、主力ヲ以テ暴露セル露第二軍ノ右翼ヲ席卷シツツ破竹ノ勢ヲ以テ突進シ、露第二軍ヲ同第一軍ヨリ分離シテ之ヲ「ロツツ」附近ニ於テ包圍セントスル形勢ヲ示セリ、

十一月十日
八日露獨
兩軍ノ態

十一月十八日ニ於ケル露獨兩軍ノ態勢概要附圖第二ノ如シ。

是ヨリ先十一月十五日露方面軍司令官「ルズキイ」將軍ハ第二軍方面ノ形勢重大ナルヲ察知シ、速ニ獨軍包圍兵團ノ背後ヲ衝キ頽勢ヲ挽回センコトヲ企圖シ、急遽「ロウイツ」支隊ヲ編成シ之カ遂行ニ當ラシム。

露「ロウイツ」支隊ノ編成

此支隊ハ「マクシモウイツ」支隊(混成旅團)、第六十三師團ノ一旅團、第四十三師團及西伯利狙撃第六師團ヨリ成リ、西伯利狙撃第六師團以外ノ諸兵團ヲ以テ十一月十八日迄ニ「ロウイツ」地方ニ集合シ、十九日西南方ニ前進運動ヲ開始シ、二十日「ムロガ」川ノ線ニ、二十二日「ストルイコフ」エフ・ブーチュクノ線ニ達セリ。(附圖第三參照)

西伯利狙撃第六師團ノ前進

西伯利狙撃第六師團ハ遠ク東普地方ヨリ鐵道ニ依リ輸送セラレシヲ以テ主力ニ遅レテ「ゼルコウイツ」(「ロウイツ」東南方地區)ニ集合シ、二十一日初メテ前進ヲ起シ、「ロウイツ」支隊ノ最左翼縱隊トシテ「ブレジヌイ」ニ向ヒ追及セリ、其兵力歩兵十四大隊、砲兵五中隊ヲ基幹トス。

「ブレジヌイ」ノ占領

師團ハ二十一日夕「ブレジヌイ」附近ニ到達シ、敵ノ一部同地ヲ占領セルヲ知リ前衛ヲ以テ市街ニ向ヒ夜襲セシモ成功セス、翌二十二日更ニ全力ヲ以テ攻撃ヲ遂行シ、敵ヲ西南方ニ驅逐スルヲ得タリ。然レトモ師團長以下戰勝ニ酔ヒ果敢ナル追撃ヲ斷行セサリシヲ以テ忽チ敵ト觸接ヲ失ヒ、午後遅ク南進ヲ起スヤ、幾何モ無クシテ日没トナリ、「プシャヌフカ」、「ガルクローウエク」附近ニ宿營セリ。(附圖第四參照)

此日師團ノ左翼ニ於テ集成騎兵師團及高加索騎兵師團ハ「コリュシユキ」附近ニ進出セリ。(附圖第三參照)

露軍ノ「ブレジヌイ」及「ストルイコフ」占領ハ「ロツ」ノ周圍ニ於テ交戰中ナリシ獨第二十軍團及「シエツフェル」兵團ノ背後ニ大ナル脅威ヲ與ヘ、殊ニ「シエツフェル」兵團(フォン・シエツフェル)大將ノ指揮スル豫備第二十五軍團及近衛第三師團)ヲシテ全ク孤立セシムルニ至レリ、茲ニ於テ獨第二十軍團ハ二十二日夜「ストルイコフ」附近ニ兵力轉用ヲ斷行シ、又「シエツフェル」兵團ハ「ブレジ

獨「シエツフェル」兵團

ノ任務及ヌイヲ占領シ第二十軍團ノ背後ヲ掩護スヘキ軍命令ニ接シ、此夜戰場ヲ撤シ、
轉進

二十三日豫備第五十師團(半部缺如セリ)ヲ以テ「カルピン」ヨリ其東方鐵道線ニ
沿フ地區ヲ、豫備第四十九師團ヲ以テ「ボロウオ」附近ヲ經テ又近衛第三師團ヲ
以テ「ボロウオ」西方地區ヲ經テ共ニ「ブレジヌイ」方向ニ前進シ、騎兵集團ヲシテ
騎兵第六師團ヲ以テ南方、騎兵第九師團ヲ以テ東方ニ對シ夫々背後及側翼ノ
警戒ニ任セシム。

十一月二十三日「ロウイツツ」支隊ハ「ロツヅ」南北ノ線ニ向ヒ攻勢前進ヲ繼續
セシモ「マクシモウイチ」支隊ハ「ストルイコフ」附近ニ於テ獨第二十軍團ノ一
部ニ依リ阻止セラレ前進スルヲ得サリキ。

二十三日ニ於ケル西伯利狙擊第六師團ノ前進部署左ノ如シ。(附圖第五參照)

一、右縱隊(師團主力)

長 步兵第二旅團長

前衛

二十三日
ニ於ケル
西伯利狙
擊第六師
團ノ前進
部署

司令官 狙擊第二十四聯隊長

狙擊第二十四聯隊第三、第四大隊

本 隊(同行軍序列)

狙擊第二旅團旅團司令部、第二十三聯隊、第二十四聯隊第一、第二大隊

野砲兵第二大隊

野砲兵第一大隊第二中隊

狙擊第二十二聯隊ノ二大隊 (註、狙擊第二十二聯隊ノ殘餘缺如ス)

「ガルコフ」、「ガルコフ」西南大森林東側ヲ經テ「ウオリヤラコフ」ニ向ヒ

前進

二、左縱隊

長 狙擊第二十一聯隊長

狙擊第二十一聯隊

野砲兵第一中隊

第九一九一四年十一月「ロツヅ」會戰中「ブレジヌイ」南方地區ニ於ケル西伯利狙擊第六 一九九
師團ノ遭遇戰

「ブシヤノウイツエ」、「ボロウオ」、「カルピン」ヲ經テ「ワルジン」ニ向ヒ前進

三、師團司令部ハ右縱隊ト共ニ前進ス。

兩縱隊ハ各前衛ノ先頭ヲ以テ午前七時「ガルコフ」ブシヤノウイツエノ線ニ達セリ、當時迄ニ師團長ハ敵ノ有力ナル一兵團二十日頃「ブレジヌイ」ヲ通過シ南進セルコト竝「ボロウオ」、「カルピン」道上及「イオルダノフ」、「アンドレポリ」附近ニ掩護隊ヲ有スル獨軍輜重アルコトヲ知リシモ「ロツヅ」方面ニ於ケル詳細ノ戰況殊ニ「シエッフエル」兵團カ北進中ニアルヲ知ラサリキ。

右縱隊前衛ハ薄霧ニ覆ハレツツ「コリュシユキ」、「ロツヅ」鐵道線ヲ越エ、續イテ「ガルコフ」南方森林中ニ進入シ其南端ニ達スルヤ、北進中ナル獨軍縱隊ノ先頭ト接觸シ、「ボロウオ」村落内ニ在リシ獨軍輜重ハ震駭シテ南方「カルピン」ニ向ヒ退走セリ。左縱隊前衛亦「ブシヤノウイツエ」附近ニ於テ微弱ナル敵ヲ驅逐シ同地南方高地ニ達スルヤ、獨軍ノ他ノ部隊ノ先頭ニ出會セリ。

西伯利狙擊第六師團兩縱隊先頭獨軍ト接觸ス

一、戰鬪經過(附圖第五、第六參照)

右縱隊前衛(狙擊第二十四聯隊第一、第二大隊欠)ハ「ボロウオ」西側森林南端附近ニ東南及西南面シテ展開シ、左縱隊前衛ハ「ブシヤノウイツエ」南側高地上ニ展開セリ。

戰鬪二地區ニ於テ發展ス

右兩前衛ノ掩護下ニ師團ハ二戰鬪地區ヲ形成シ、狙擊第二十四聯隊ハ右翼隊トナリ、狙擊第二十一聯隊ハ左翼隊トナリ逐次戰鬪ニ加入セリ。

砲兵ハ各一中隊ヲ以テ「ブシヤノウイツエ」南側及「ジャコウイツエ」北側ニ、主力ヲ以テ「ガイ」附近ニ陣地ヲ占領セシカ、主力砲兵ハ著シク第一線ト離隔シ(四乃至七吉)歩兵戰鬪ニ協力シ得サルノミナラス對砲兵制壓ヲ行フヲ得サリキ。

戰鬪初期ニ於ケル右縱隊長及師團長ノ動作

戰鬪ノ初期ニ當リ右縱隊長(狙擊第二旅團長)ハ旅團ノ迅速ナル展開ヲ指導シテ先制ノ利ヲ占メントスル意思ヲ缺キ、狙擊第二十三聯隊(四大隊ト機關銃一隊)ヲ「ガルコフ」附近ニ控置シ、自ラ同地ニ止マリ師團長亦狙擊第二十二聯隊(二大隊)ヲ豫備トシテ「ブシヤヌフカ」北方地區ニ位置セシメ、司令部ヲ「ガイ」ニ

第九一九一四年十一月「ロツヅ」會戰中「アレジヌイ」南方地區ニ於ケル西伯利狙擊第六 師團ノ運送戰 二〇一

進メシモ殆ト戰鬪ヲ指導セシ形迹ナシ。

1 右翼隊方面

右翼隊ノ主力(狙撃第二十四聯隊第三、第四大隊)ハ忽チニシテ南部「ボロウオ」^{「ブコウイツエ」}間「ミヤスガ」川兩岸地區ニ互リ展開セル敵ト猛烈ナル火戰ヲ交ヘ、第二大隊及機關銃隊ハ「ガルコフ」南側(聯隊主力ト第二十一聯隊トノ中間)鐵道線路ニ沿フ地區ニ加入セリ、第一大隊ハ豫備隊トナリ、主力ヲ以テ「ボロウオ」西北林番舎附近ニ位置シ、一部(第二中隊)ハ右側掩護ノ爲「ガルコフ」西方林番舎附近ニ派遣セラレタリ。

右翼隊南方戰線ハ火力ヲ以テ當面獨軍ヲ制壓シ、之ニ多大ノ損害ヲ與ヘシモ正午稍過ヨリ獨軍ハ重、野砲ノ猛火ヲ森林ニ集中シ、其機關銃及小銃火亦逐次増大セルニ反シ露軍ハ機關銃ヲ有セス、砲兵ノ協力ヲ缺キシ爲形勢逆轉シ森林緣端ノ線ヲ保持スルヲ得スシテ百步乃至二百步ノ後退ヲ行ヒ、爲ニ著シク通視ヲ妨害スルニ至レリ。

右翼隊南方正面ノ苦戰

狙撃第二旅團主力ノ逐次加入

砲兵第二大隊ノ協力不十分

午後一時頃狙撃第二十四聯隊主力ノ兩翼側危殆トナリシヲ以テ、聯隊長ハ豫備隊ノ主力(第一、第四中隊)ヲ同聯隊主力ノ左翼ニ増加シ、旅團長ハ狙撃第二十三聯隊ノ第二大隊ヲ「グーラゼリオナ」方面ニ、其第三大隊ヲ「ボロウオ」西北、狙撃第二十四聯隊第二大隊ノ南方ニ加入セシム。

砲兵第二大隊ハ朝來一發モ射撃セサリシカ、午後二時ニ至リ「ガルコフ」西北側ニ陣地ヲ變換シ、初メテ左翼隊前面ノ敵ヲ射撃スルニ至リシモ右翼隊ニ對シテハ尙甚シク離隔シ、且森林ニ依リ通視ヲ妨ケラレ何等ノ援助ヲ與フルヲ得ス。

斯クテ右翼隊ハ時ト共ニ優勢ナル敵ノ爲ニ包圍セラレ情況益々非トナリ、就中「ユスチノフ」及「グーラ・ゼリオナ」附近ニ於テ現在地ノ保持困難トナレリ。

獨軍ハ當初「ガルコフ」、「コリュシュキ」方面露軍兵力ヲ過大視セシモ、後方ヨリ露第一、第五軍ノ追躡シ來ルアリ、急速ニ攻撃ヲ敢行セリ、即チ近衛第三師

右翼隊崩潰ス

團長ハ部下師團及第四十一師團ノ一部ヲ以テ獨斷攻撃ヲ開始シ、之ト前後シテ豫備第二十五軍團亦「ボロウオ」東方ノ森林ヲ利用シ露軍ニ近接シ「ルジエツエ」及「コリュシユキ」ノ兩村落ニ對シ猛烈ナル攻撃ヲ強行セリ。獨軍ハ正面ヲ強壓スルト共ニ漸次露軍ノ兩翼側ニ溢出シ、露軍ハ抗戰大ニ努メタルモ遂ニ堪フル能ハス、日没ヲ待タスシテ崩潰スルニ至レリ、斯ノ如クシテ午後五時ニハ「ガルコフ」、「グーラ・ゼリオナ」間ノ森林ハ全ク獨軍ノ有ニ歸シ、露軍ハ鐵道線路ノ線ニ陣地ヲ占領セリ。

2 左翼隊方面

左翼隊ハ此日午前「ルジエツエ」ヲ占領セシモ、爾後ノ前進ハ優勢ナル獨軍ノ步兵部隊及野砲並重砲ノ集中火ヲ蒙リテ停頓スルニ至リ、次テ獨軍ハ逐次兵力ヲ増大シ左翼ヲ包圍スル形勢ヲ示セシモ、此方面ハ小規模ナカラ歩砲ノ協同比較的良好ニ行ハレ「コリュシユキ」停車場ニ在リシ露裝甲列車亦第一線歩兵ニ有力ナル援助ヲ與へ、殊ニ午後三時師團長ノ部署ニ依リ「ジャコウイ

左翼隊夕刻迄戰線ヲ維持ス
師團豫備隊ノ戰闘加入

ツエ」方面ニ差遣セラレシ師團豫備隊ノ狙撃第二十二聯隊（二大隊ニシテ野砲第二中隊ヲ屬セラル）「ベンドゼリン」西北ノ森林中ニ突入スルアリテ敵ノ包圍ヲ抑止シ、夕刻迄現戰線ヲ維持スルヲ得タリ、但シ右豫備隊ノ二大隊ハ「ベンドゼリン」森林ニ進入スルト共ニ三面ヨリ包圍セラレ死傷算ナク殆ト全滅スルニ至レリ。

此日高加索騎兵師團及「ドン・コザック」騎兵隊ハ露軍左側地區ニ在リシモ、何レモ積極的ニ參戰セサリキ。

3 二十三日夜ノ情況及二十四日ノ戰闘（附圖第六參照）

敘上ノ如ク師團ノ戰闘力ハ既ニ消磨シ、全師團ノ銃數ヲ合スルモ僅ニ一聯隊ニ充タサル状態ニ在リ、露軍ハ此劣弱ナル兵力ヲ以テ鐵道線路ニ據リ「ユスチノフ」東方獨立家屋ヨリ「ルジエツエ」ニ亙ル五吉ノ廣正面ヲ占領セシモ隊伍混淆、指揮紊亂シ、加フルニ夜暗漸ク迫リシヲ以テ夜襲ニ對スル抗戰準備ノ如キハ殆ト之ヲ整フルニ至ラサリキ。

獨近衛第三師團
三師團露
軍陣地ノ
右側ヲ溢
出突進シ
「ブレジヌイ」ヲ
占領ス

獨近衛第三師團ハ此夜ニ二縱隊トナリ、森林東西兩縁ニ沿ヒ「ガルクーウエク」ヲ經テ「ブレジヌイ」及「アダモフ」方面ニ前進シ、鐵道線路附近ノ微弱ナル露軍ノ抵抗ヲ排除シテ前進ヲ繼續シ、午前三時頃何等ノ抵抗ヲ受クルコト無ク「ブレジヌイ」ヲ占領セリ、一方露軍師團長ハ相次ク悲報ニ喪神シテ失綜シ砲兵旅團長代ツテ其職ヲ執レリ。

二十四日
ノ獨軍攻

獨東方縱
隊ノ一部
「ガイ」ニ
進入ス

二十四日拂曉露軍ハ攻撃ヲ開始セシモ、忽チ獨軍砲兵火力ニ依リ頓挫シ却テ午前八時頃ヨリ獨豫備第二十五軍團ノ攻撃ヲ受ケタリ。露軍ハ頑強ニ抵抗シ獨軍ニ多大ノ損害ヲ與ヘシモ、正午頃ヨリ獨軍ノ東方縱隊（豫備第五十師團）ハ西伯利狙擊第六師團ノ左翼ヲ迂回シ、其一部ヲ以テ狙擊第二十一聯隊ノ左側ヲ壓迫シ、又近衛第三師團ハ「ブレジヌイ」方向ヨリ露軍陣地ノ背後ニ向ヒ攻撃ヲ開始シ午後二時ニ至ルヤ獨東方縱隊ノ一部ハ遂ニ「ガイ」ニ進入セリ。斯クテ午後四時三十分頃狙擊第二十三、第二十四及第二十一聯隊ノ殘部ハ鐵

敗殘ノ露
軍三面ヨ
リ包圍セ

道沿線及「ガルコフ」附近ニ於テ抗戰セシモ、遂ニ南、北、東ノ三方面ヨリ全ク包圍セラレ、正面、背後及左翼ヨリスル砲火、機關銃火、小銃火ノ彈巢トナリ現在位置ニ停止スルコト不可能トナリ、各隊個々ニ脱出ノ手段ヲ取り一部ハ夜暗ヲ利用シテ包圍圈ノ間隙ヨリ脱逸スルヲ得シモ他ハ捕虜トナレリ。

三、兩軍ノ損害

露軍師團ハ茲ニ全ク潰滅シ、狙擊第二十四聯隊ノ第三、第四大隊、狙擊第二十三聯隊第二大隊及狙擊第二十二聯隊（二大隊）ノ如キハ二十三日ノ戰鬪ニ於テ既ニ殆ト全滅セリ、二十一日（「ブレジヌイ」附近ノ戰鬪）以來二十四日ニ互ル師團ノ全損害ヲ掲クレハ左ノ如シ。

死傷	將校	約六〇%	下士卒	約五〇%
捕虜	將校	四四名	下士卒	三、五〇〇

獨軍ノ損害亦甚大ニシテ三師團ノモノヲ合算シ

死 一、五〇〇 負傷 二、八〇〇

四、本戰鬪ニ關スル觀察

觀察

- 1 苟モ戰勝ヲ期セントセハ所望ノ方面ニ對シ適時兵力ヲ徹底的ニ集中スルヲ要ス、特ニ神速ナル突破ヲ企圖スル場合ニ於テ然リ、獨軍カ企圖スル突破正面ニ徹底的ニ兵力ヲ集中セシハ成果ヲ良好ナラシメタル一原因ナリ。
- 2 遭遇戰ニ於テハ戰鬪ノ初期ヨリ大ナル兵力ヲ第一線ニ展開スルト共ニ砲兵及自働火器ヲ速ニ排列シテ優勢ナル火力ヲ發揚シ、單ニ態勢上ノミナラス火力組織ノ上ニ於テモ先制ヲ占ムルコト緊要ナリ、然ルニ露軍側ハ其前進部署ニ於テ砲兵及機關銃ヲ前方ニ位置セシムルノ著意ヲ缺キ、又前衛ノ接觸乃至戰鬪開始ノ期ニ於テハ主トシテ地形ノ關係上殆ト兩縱隊別個ニ交戦セサルヘカラサル情況ニ鑑ミ、先ツ何レノ方面ニ主攻撃ヲ指向スヘキヤノ決心ヲ確立シ之ニ基キ神速ナル軍隊ノ部署ヲ必要トセシニ係ラス、師團長、右縱隊長ノ活動足ラス、又堅確ナル決心ノ見ルヘキ無ク、徒ニ強大ナル第二線部隊ヲ控置シテ先制ヲ放棄シ、敵ノ意思ニ追隨シテ所要ニ充タサル兵力ヲ彌縫的ニ

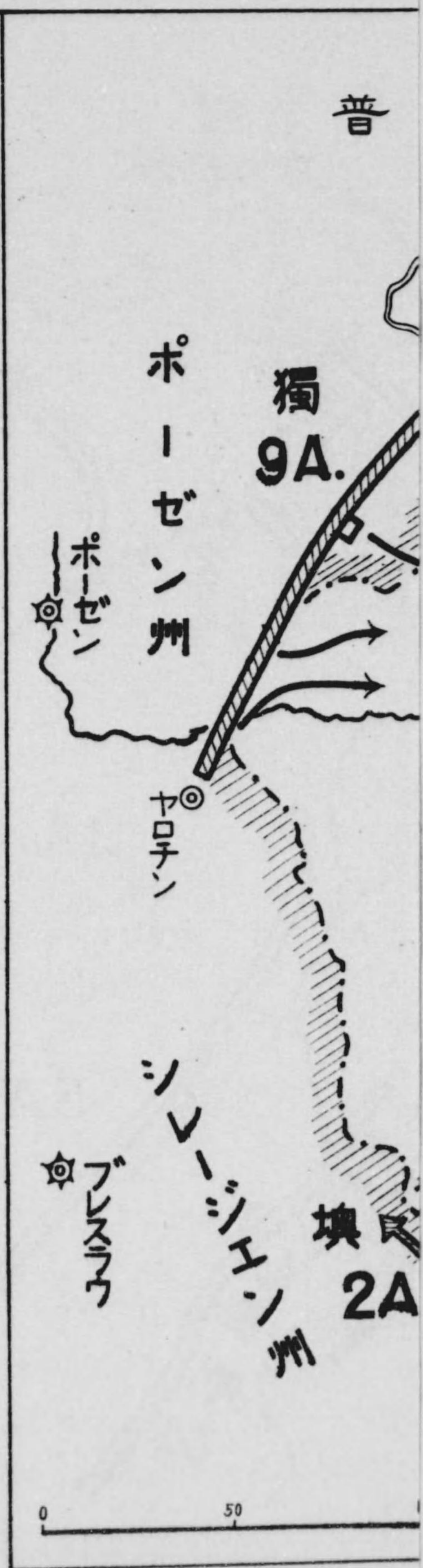
被脅威地區ニ注入スルノ過失ヲ犯セリ。

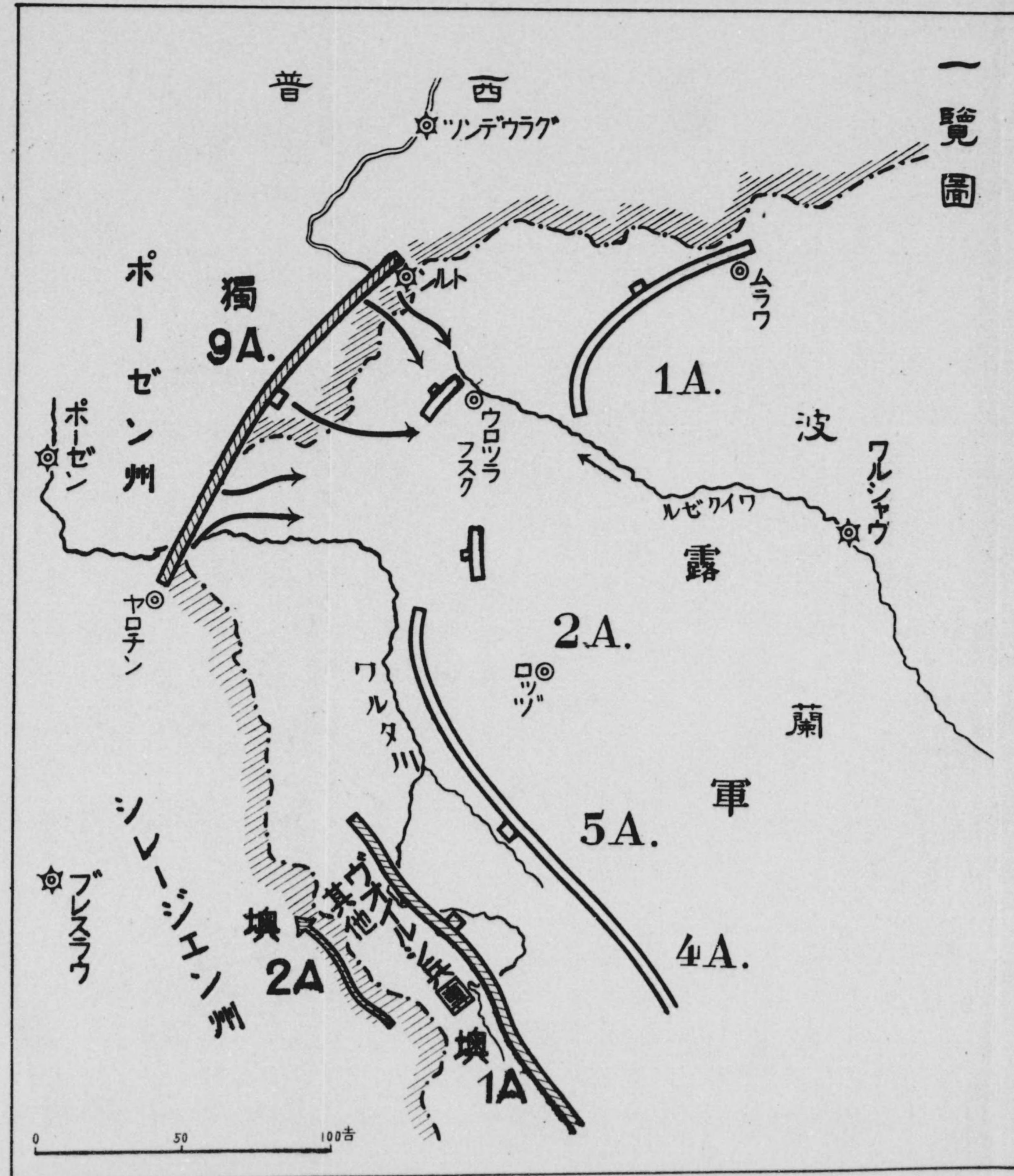
- 3 遭遇戰ニ在リテモ爲シ得ル限り部隊ノ建制ヲ保持シ、各團隊ヲシテ夫々其特性ニ基ク固有ノ戰鬪威力ヲ最高度ニ發揮セシムルノ著意ヲ必要トス、本戰鬪ニ於ケル露軍ノ部署ハ此點ニ對スル顧慮乏シク、終始錯雜不徹底ナル指揮系統ヲ以テ不統一ナル戰鬪ヲ行ヘリ。
- 4 露軍側砲兵ノ配置ハ過度ニ後退ニ過キ步兵戰鬪ニ所要ノ協力ヲ與フルヲ得ス、又砲兵ノ協力ヲ胸算シ得ストセハ機關銃ニ依リ其缺ヲ補ハサルヘカラサルニ、右翼隊ノ機關銃隊ハ全部「ガルコフ」方面ニ使用セラレ、「ボロウオ」西方右翼隊主力ノ戰場ニ於テハ小銃火ノミヲ以テ獨軍ノ優勢ナル重、野砲及機關銃火ニ對スルノ己ム無キニ至レリ、是レ右翼隊カ先ツ動搖シ遂ニ崩壞セシ有力ナル原因ナルヘシ。

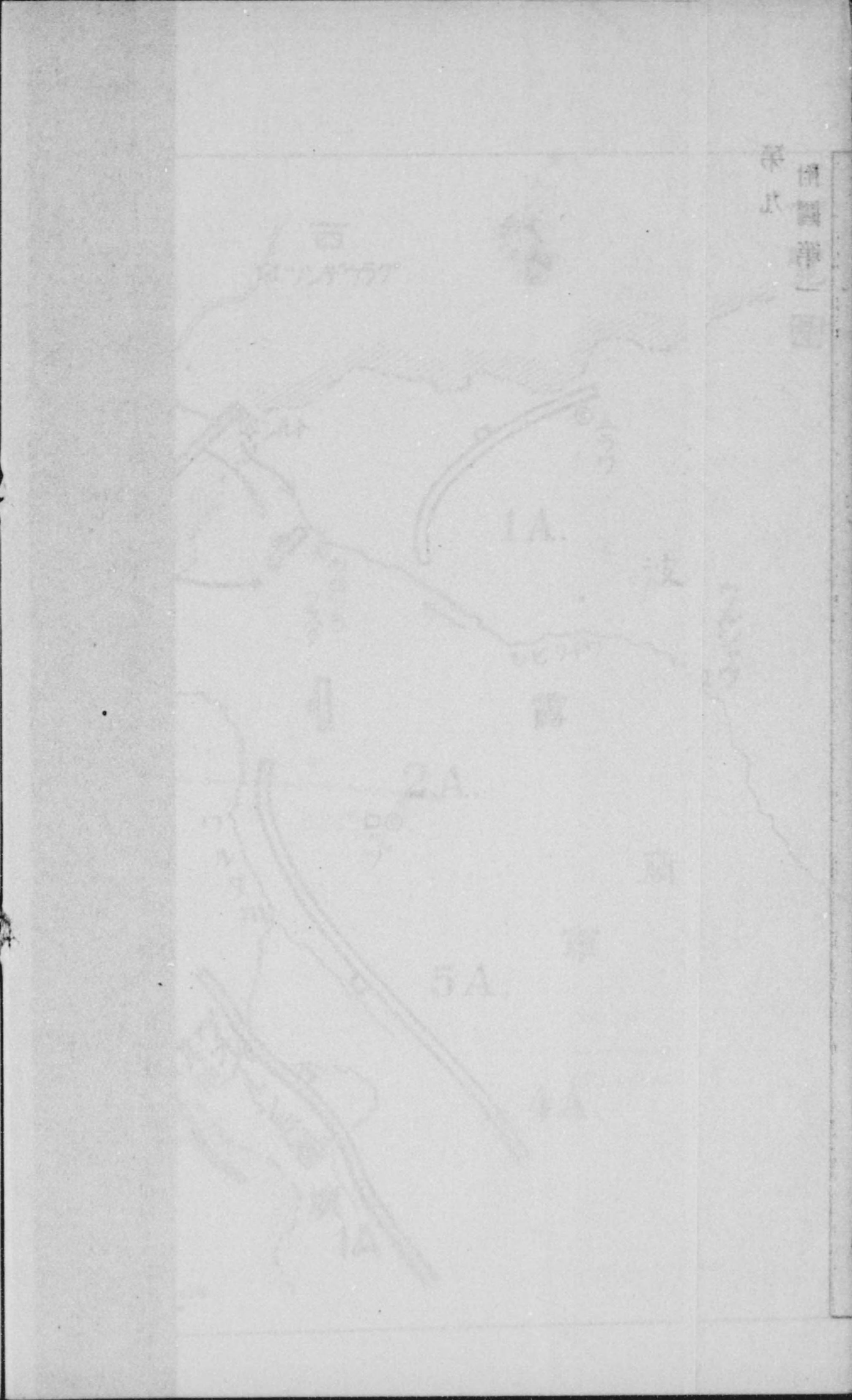
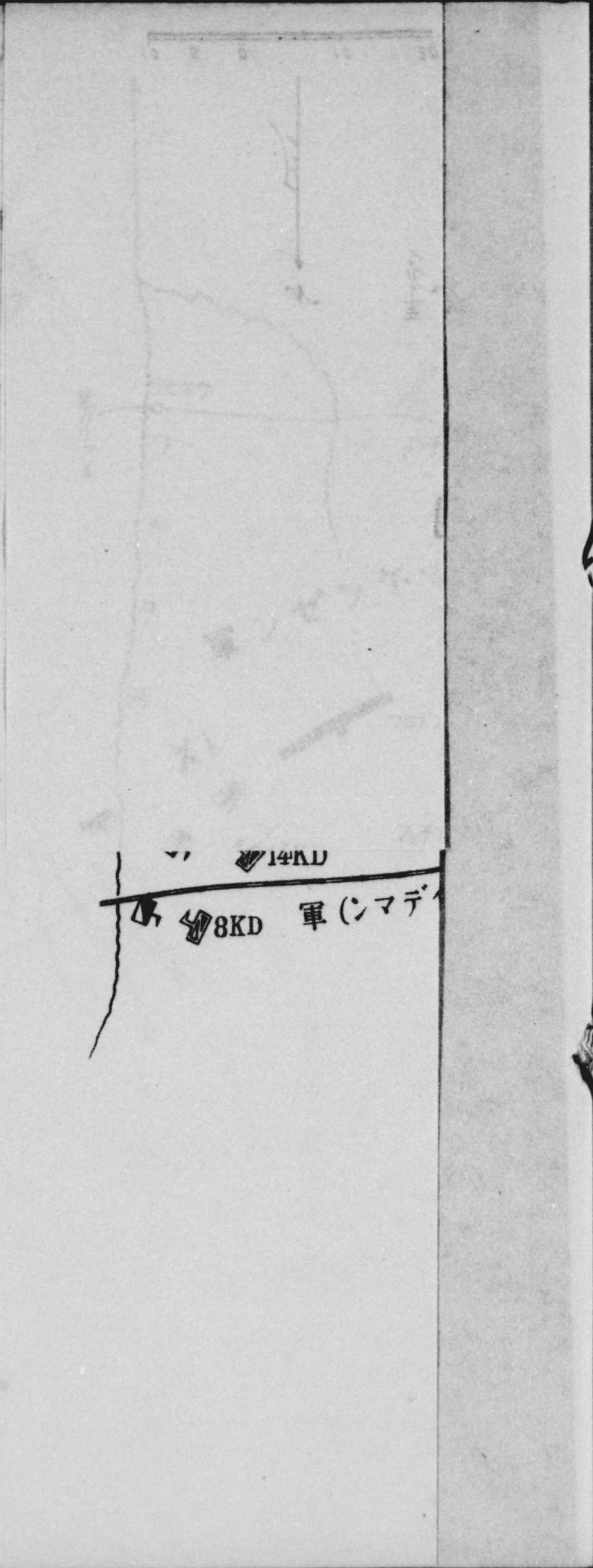
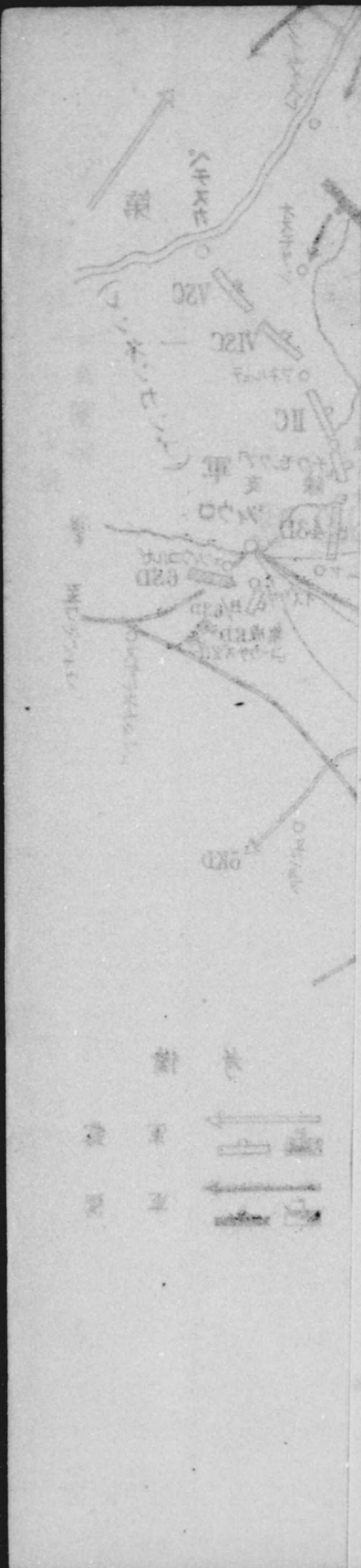
- 5 更ニ露軍側ノ敗因ヲ釀成セシモノハ獨軍ノ包圍的行爲ナリ、二十二、二十四日ノ戰鬪ヲ通シテ觀察スルニ正面ノ戰鬪ハ一般ニ鞏強ニシテ寡弱ナル兵

カヲ以テ稍々長時ニ互リ優勢ナル敵ヲ阻止スルヲ得タリ、殊ニ二十三日ノ戰況ニ依レハ此種不規的遭遇戰ニ於テモ尙且包圍的行爲ニ依リ戰捷ヲ促進スヘキヲ知ル、尙本例ハ獨軍側ヨリ見テ戰術的包圍ト戰略的退路遮斷トヲ完成シタル所謂二重包圍ノ一戰例ニシテ此點ニ關シテ研究ノ一資料ヲ提供スルモノナリ。

6 戰鬪悲況ニ陥ルヤ露軍師團長ハ決斷冷靜ヲ缺キ、遂ニ喪心シテ戰場ヨリ失綜セリ、又多數ノ比隣兵團近ク戰場附近ニ存在セシニ係ラス、何レモ拱手シテ何等救援ノ措置ニ出テサリシカ如キハ露軍指揮官ノ無關心ヲ驚カサルヲ得ス、之ニ反シ獨兵團長ハ殆ト絶望ノ形勢ニ於テ指揮ノ堅確、部署ノ適正ヲ失ハス生死ヲ賭シテ突破ヲ敢行シ、各級指揮官亦困難ノ極所ニ在ツテ毅然トシテ百難屈セサルノ概ヲ示シ獨斷及協同概ネ宜シキヲ得、遂ニ戰捷ヲ獲得スルヲ得タリ、戰運力遂ニ獨軍側ニ幸セル蓋シ故無キニアラサルナリ。







第 二 次 日 軍 進 軍 圖

露獨兩軍態勢一般圖

(一九一四年十一月十八日於此)

第九
附圖
第二

